

賞ノ沙汰ナキハ如何ナル理由ニ因ルヤ

右及質問候也

官有地拂下ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十三年三月三日

提出者 早川 龍介

贊成者 安藤 新太郎
外三十人

官有地拂下ニ關スル質問主意書

一 東京市京橋區明石町六十一番及六十二番

市街宅地千六百四十八坪八合

此ノ拂下代金三万六千二百七十四圓二十六錢

此ノ一坪當リ金二十二圓ニテ拂下ケタリ

一 明治四十二年四月酉土發第三二二號ヲ以テ 東京府知事阿部浩ノ名ヲ以テ久

保田與四郎外六名拂下ヲ爲シタリ

一 京橋區ノ土地ハ最低價格一坪ニ付金四十五圓以上最高價格金二百五十圓ナ

リトス

一 拂下地タル明石町六十一、六十二番ノ地ハ一坪ニ付金八十圓ノ價格ヲ相當ナ

リトスル事ハ評價人ノ鑑定スル處トス然ルニ前記ノ如ク低廉ナル價格ヲ以テ拂下

ヲ爲シタル其理由ハ如何詳細ナル説明ヲ望ム

右及質問候也

○議長(長谷川場純孝君) 會議ヲ開キマス、御詔ヲ致シマス、追々會期モ切迫致シマシタガ、委員ニ付託サレテアル事件ガ多數アリマスルニ依リ、爾今本會議ノ日ニモ議院ノ許可ヲ經ズニ委員會ヲ開キ得ルコトニ致シ、尙議案ノ都合ニ依ッテハ委員會ノ日ニモ本會議ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷川場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ其通り決シマス、尙特別委員ノ辭任ハ一々議場ニ誇ラテ之ヲ許可シ、而シテ其補缺ヲ指名スル順序ニナツテ居リマスガ許可ヲ經ズニ委員會ヲ開キ得ルコトニ致シ、尙議案ノ都合ニ依ッテハ委員會ノ日ニモ本會議ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

○議長(長谷川場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ其通り決シマス、糖業政策ニ關スル再質問、提出者中川虎之助君

(中川虎之助君登壇)

○中川虎之助君 本員ハ政府へ政府へ糖業政策ニ付テ再質問ノタメニ登壇ヲ致シタノデスマ、先達本員ノ質問九箇條ニ對シテ政府ニ一週間バカリ間ヲ置イテ答辯ヲセラレマシタガ、此九箇條ニ私ノ質問ニ對シテノ政府ノ答辯ハマルニ要領ヲ得ナイノミナラズ、隨分出放題ナ、嘘詐リヲ列ベダ答辯アリマスカラ、據處ナク再質問ヲスルコトニシタノデゴザイマスガ、此九箇條ヲ一々辯駁致シマスト非常ニ時間が掛リマスカラ、此九箇條ニ對シテ一々辯駁致シテ質問ヲシテノアリマスケレドモ、之ヲ略シテ、要スルニ九箇條ヲ綜合シテ私ノ質問ニ對シテ政府ノ答辯ハドウ云フノアルカト云フト、糖業政策

(11)

ハ圓滿ニ、又上乘ニ政府ハ施行シテ居ル、決シテ保護ニ厚薄ハナイ、偏重偏輕ハナイ、内地ノ農民糖作業モ、又内地ノ精糖工業モ、臺灣ノ砂糖事業モ、總て調和發達シテ健全ニ有望ニ出來ルノアル、斯ウ云フ答辯アル、ソコテ政府カラ出シタ答辯ハ、我帝國ノ糖業政策ハ旨ク出來テ居ルカラ、オ前ノ心配スルヤウナコトハ一ツモ無イト云フノ過ギナ

イノデス、所ガ私ガ茲ニ一ヶ數字ヲ以テ質問ヲセネバナラニコトガアルト思ヒマスガ、實ハ今日時間がアツラ九箇條ニ對シテ一々言ヒタイノテアリマスケレドモ、是ハ長クナリマスカラ略シテ、偏重偏輕が有ルカ無イカ、又非常ニ偏頗が有ルカ無イカ、得手勝手ヲ

非常ニシテ居ルカ居ラヌカハ茲ニ數字ヲ以テ御話ヲシマス、政府ノ人ハ成ベク今日ハ出テ來テ貰ヒタイデスケレドモ、出テ居ラヌハ甚ダ遺憾デアル、私ハ此臺灣ヲ引合ニ出シテ御話ヲシナケレバナラヌガ、第二十一議會ノトキ非常特別稅ノ稅法中ノ改正案ガ議セラレマシタキ、臺灣ノ側ハ脫稅ヲ本位トシテ居ル、證據ニハ斯ウ云フコトガアル、第二種

糖ト云フノハ臺灣ノ彼ノ各砂糖會社デヤツテ居ルトコロノ分蜜糖ト云フ砂糖ニアリマスガ、是ハ一種糖ヨリ以下ノ呂申製出シタクトモ出來ヌノテ皆一種ヨリ以上ノ砂糖が出来ル機械ニナツテ居ル、所ガ其臺灣ノ臺灣製糖會社ノ當時ノ社長タル鈴木藤三郎氏

ガ衆議院議員デ居ツテ、其當時ノ二十一議會ノトキノ豫算委員長ヲセラレタ栗原亮一氏、及其時ノ委員ニ櫻井駿氏ナドモナツテ居ツテ、政府ガ二種ノ砂糖ハ一圓六十錢ノ稅率ニ消費稅ハ据置イテオクト云フ案ヲ出シテアルニ、ソレヲ四圓四十錢ニ增率ヲシタノテアル、諸君、一圓六十錢ニ据置クト云フ原案ヲ、四圓四十錢ニシテ故ラニ餘計ニ出ス

ト云フ修正ヲシタノハ何ノタメアルカト申シマスト、臺灣ハ脫稅が勝手氣儘ニ出來ルカ

ラ、二種ノ砂糖ノ稅ヲ凡ソ一倍カラニ殖シテ置イタラバ、外國カラ來ル砂糖ニモ稅法

通リ厲行が出來ル、又内地ノ四國、九州、沖繩、五畿、駿遠、小笠原ニ出來ル砂糖モ同シク稅法ノ通り厲行サレル、單リ臺灣ダケ稅法ヲ厲行セラレナカランシテ、稅率ヲ高

クシテ置イタラバ、百斤ニ對シテ一圓六十錢ヲ四圓四十錢ニシタダケ利益ガアリマスカラ、一圓八十錢ダケ脫稅ノ御蔭テ儲カル、ソレアルカラ臺灣テ事業ヲシテ居ル者ガ、脫

稅が出來ルト云フ意味ノ下ニ、政府ガ一圓六十錢ニ据置クト云フモノヲ故ラニ四圓四十錢ニ増率シテ、是が決定稅率ニナツテ二十一議會ニ極ツノアリマスガ、是が即チ脫

稅本位テアルト云フ證據アル、ソレカラ他ノ國カラ來ル砂糖ヤ内地ノ方ハ稅法ヲ厲行シ、臺灣ハ厲行シナ、ソコニ一圓六十錢ダケ特別別利益ヲ得ラレルヤウニシタノアリ

マスガ、是が脫稅本位ノ起ル本デアル、是ハ前提ニ聽イテ戴キタイ、モウ一つ昨年度ノコ

トニ付テ諸君ニ聽イテ戴キタイノハ、四十一年期ニ是ハ四十一年ノ十一月カラ四十

二年ノ八月マテ、七八九〇ノ四箇月ハ算外ニシテ、又蜜モ算外ニシテ、此四十一年ノ

中ニドレダケ臺灣ノ砂糖が出來テ、ドレダケ稅金が取レテ、ドウ云フ風ニナツテ居ルト云フ

ノガ一億二千二十四万四百斤、之ヲ合計シマスト一億七百五十六万四千九十一斤ニナル、之ヲ土人ノ拂ヘタ舊式ノ砂糖ヲ假ニ一種糖ト云フ一番下級ノ稅率三圓ニ致シ

マシテモ、此土人ノ舊式ノ砂糖ノ稅ガ二百六十一萬六千七百十圓七十六錢ニナル、

ソレカラ分蜜糖ト云フ會社ガ拂ヘル砂糖、是ハ二種モアレバ、三種モアル

○ト部喜太郎君 砂糖ノ講釋ヲスルノアリマスカ、政府ニ對シテ糖業政策ニ付テ

質問デアリマスラバ、長イ短イハ論シマセヌケレドモ、砂糖ノ講釋ハ御免ラモリタ、質

問ガアルナラ質問ニ要點ヲ御述ヘニナルコトヲ希望スル、決シテ辯論ヲ妨害スル意味デハ

アリマセヌガ、砂糖ノ講義ハ御免ラモル

○中川虎之助君 講義ヲスル譯アハナイガ、御話ヲセヌト分ラニコトガアル、其分蜜糖ガ五圓五十錢ノ稅率が是が六百六十一万二千一百一十一圓ニナル、サウスルト併セマスルト九百二十二万九千九百三十一圓七十六錢ナル、此中テ四十二年度ノ砂糖ノ消費稅ノ豫定額が四百五十万六千五百五十五圓、差引キマシタラ四百七十二万三千三百七十七圓七十六錢、是ハ卽チ實收が如何ナツテ居ルカ分ラヌガ、要スルニ若シ豫定額ノ通デアッタナラバ是ダケガ——其四百七十二万三千三百七十七圓七十六錢が脫稅ニナルノデアル、併シ實收入が此以上幾ラカ豫定ヨリ餘計アルモノトスレバ少々狂ヒガ附ク、其上ニ保護金ト云フモノガ八十一万四千三百圓ト云フモノガ諸君が協賛ヲ與ヘタ金ガアル、之ヲ合計スルト丁度五百五十三万七千六百七十七圓七十六錢所が是ダケノ金高ニナリマスカ、昨年ハ決シテ一種ノ砂糖ハカリ或ハ一種ノ砂糖バカリト云フノデナイ、一種モアレバ三種モアル、是ハ私等が當リ前實地ノ調査ヲシテ、當リ前稅法通り課稅スルモノト致シマスレバ產額ノ一億七百五十六万四千九十二斤ニ對シテ昨年ノヤウナ色相ノ砂糖デアッタナラバ、五圓六十六錢六厘ノ平均率ヲ掛ケテ宜ト本員ハ信ズルノデアル、サウスレバ千百七十六万五百八十一圓四十五錢二厘、斯ウ致シマスルト尙其消費稅ノ豫定額ヲ引キマシタコロノ殘が七百二十五万四千二十一圓四十五錢二厘、斯ウ云フ殘額が出て來ル、是ヘ持ツテ行シテ糖業補助金ノ昨年ノ八十一万四千三百圓ヲ加ヘレバ八百六万八百三十二圓五十四錢五厘、斯ウ云フ割合ニナリマスガ、是ハ其消費稅ノ豫定額ハ確ニ昨年ハ臺灣で増シテ居リマス、實收入ノ方ハ増シテハ居リマスケレドモ、免モ角モ何百万圓ト云フモノガ保護トモナレバ手心トセナツテ居ルノデアル、左様シマスルト云フト此砂糖ハ諸君第一ハ稅率ノ權衡ト云フが大事ナンデ、第一ハ砂糖色相ヲ查定スルトヨロノ統一ト云フノガ大事ナンデ、第三ハ糖業保護ノ公平ニ平等ナケレバナラヌト云フコトガアル、第四ハ關稅ノ稅率ノ設定方ニ適當ヲ得セシムルト云フコトデアル、ソコデ稅率ノ權衡ト保護ノ平等ト色相查定ノ統一ト關稅ト、此四ツが旨々行カナケレバ精業政策ト云フモノハナラナイノデアル、所ガ内地ノ砂糖產地ニ對シテハ政府ハ私ヘノ答辯ニ對シテハ十分内地ノ發達ヲ世話ヲシテ居ル、保護ヲシテ居ルト、斯ウ言ハレテ居リマスケレドモ、内地ノ何ガアル、内地ノ砂糖ニ對シテハ文久ノ世話モシテ居ラナイノデアル(「會期切迫ノ場合成ルベク簡單ニ願ヒマスト」呼フ者アリ)簡単ニヤリマス、チヨット聽イテ下サイ、ソコデ其邊ノ偏輕がナイトカ、或ハ公平ニシテアルトカ云フコトハ皆嘘ニアル、私ハ桂侯爵閣下ハ確ニ今日列國角逐場裡ニ立ツテ能ク經世安民ノ大業ヲ託スルニ足ル帝國ノ麒麟兒ト思ウテ居ツタ、所ガ豈圖ヤ駕馬ト言ヒタイガ、駕馬デハナイ、私ニ對スルノ答辯ヲ見ルト確ニ大奸物ト本員ハ斷言スルノデアル、冗談デハナイト思フ、尙モ斯様ナ詐リノ答辯ヲ爲シテ一方ニハ八百萬トカ七百万トカ云フヤウナ脫稅ヤ恩典ガアル、一方ニハ文久モ世話ヲシナイデサウシテ公平ニシテアル、偏頗ナニ圓滿ニ出來テ居ル、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、ソレカラ又精製糖會社ニ對シテ政府が協定歩止リト云フコトヲシテ居ルガ、此間ノ砂糖稅改正ノ委員會ニ於テ政府委員ハ斯ウ云フコトヲ言シテ居ル——管原主稅局長ガ中村啓次郎君ノ問ニ對シテ答ニ、大藏省が此精製糖ノ會社ノ中デ日精會社ニ對シテ出來タ砂糖ヲ其儘検査ヲスルノガ本當ノ消費稅法ノ規則アルノニ、ソレヲ出來ヌ先ニ何程ト協定スル、白イ分が何程、四種ガ何程、三種ノ砂糖ガ何程、二種ノ砂糖ガ何程トスル先ヘ言合セテ置イテ、出來タ砂糖ハ検査ヲシナイ、ソコデ稅ノ高イヤツツ多クシテ居ルノデアル、稅ノ廉イヤツハ少ナクヤルヤウニシテ製造シテ居ル、ホンマニ出來タトキハ検査ヲシナイ、其タメニ此間委員會ニ於テ私ノ傍聴シタコロニ依ツテ見ルト、管原主稅局長ガ四種ノ

砂糖ガ二十八、三種ノ砂糖ガ四十四、二種ノ砂糖ガ十四、蜜ガ八、サウスルト九十六、斯ウ云フ協定ヲシテ居ルト云フコトニ承ッタガ、實際ハドウデアル、實際ハ四種ガ四十六、三種ガ四十六蜜ガ八、斯ウナリマスト差引勘定稅法ヨリ四種ノ砂糖ハ十圓デアル、二種ノ砂糖ハ八圓五十錢、二種ハ五圓五十錢、蜜ハ三圓デアル之ヲ算盤ヲシテ見マスレバ一圓四錢ト云フモノガ協定シタ査定ノ違法ヨリ利益ヲ與ヘテ居ル、當リ前ノ検査ヲスルト云フヤリ方デアレバ、百斤ニ付テ一圓四錢、日精會社ハ特典ヲ此項受ケテ居ルコトニナルか、果シテ斯ウ云フコトニ若シアツタナラハデス、サウスルト日精會社モ滅亡シ掛ケテ居ルガ、又回復スルヤウニナルカモ知ラヌ、併ナガラ外ノ會社ハ此恩典ニ均霑スルコトガ出来ナイトナッテ來ルト云フト、大藏省ハ日精會社ト又々結託シテ斯様ノ稅法ヲ無視シタコトニ仕掛けテ居ルト言ハナケレバナラヌノデアル、サウスルト日精會社ニ對シテ此項斯ウ云フ特別ナ取扱ヲ復タ仕始メタ、臺灣ニ對シテハ今年ハ二百五十何万圓ト云フモノ糖業補助ト云フコトニテ諸君が協賛ノ下ニ保護金ヲ支出セラレテ居ルガ、内地ノ農民糖業ニハ何等モシテヤツテナイ、サウスルト云フト、九州、琉球、四國アタリノ砂糖ハ殊更ニ迫害シテ、殊更ニ全滅ヲサスト云フコトニ見ナケレバナラヌ、然ルニ偏重偏輕ハナイトカ、公平ニ世話ヲシヨルトカ云フコトヲ政府ハ能ク言ハレル、是ナドハ私ハ甚ダ不審ニ堪ヘヌノアル、殊ニ昨年二十五議會ノ砌リ、私が砂糖ノ消費稅改正法律案ヲ四ツ出シタ、其トキニ政府が私ノ案内ノ中デ、白下糖ト黒糖トニ對シテ反対ヲセラレタトキニ出シテ來タ、是ハ政府が抱ヘタ茹弱版デアル、是ニモ大キナ嘘ヲ書イテアル、私ノ案ハ白下ト黒糖ヲ樽入ニスル分ニ限テ稅ヲ百斤ニ付テ一圓ゾ、負ケテ吳レト云フ案ニナツテ居タ、所ガ其樽入ニシタナラバ外國糖が樽入ニナツテ來ル、外國糖ヲ樽ニ入レタラソレガダメニ稅ガ——俄ニ大藏省ノ財源が減ツテシマフ、其減ル高ガ九十万八千五百五十一圓、外國產ダケデモ減ル、内地產ノ方が百五十五万六千六百三圓是モ減ル、内地ノ減ルノハ當リ前ダガ、外國產が樽入ニナルコトハ斷ジテナインデアル、然ルニ九十万八千五百五十圓財源が減ルト云フコトヲ言ハレタガ、唯ノ一ツモ外國糖が樽入ニナツテ來ルコトハナノデアル、斯ウ云フ素人ダマシノ嘘ノモノラ樽ヘテ、始終内國ノ砂糖ノタメニ妨害ヲ政府ガシテ居ルノハ不都合千万ト私ハ思フ、樽入ニナツタ外國糖が唯ノ一樽デモアリマスカ、斷ジテアリハシナインデアル、然ルニ百万圓餘リモ是ガダメニ財源が減ルト云フ、斯様ナコトヲ抱ヘテ來テ反対ヲシタノデアル、ソコデ諸君方モ砂糖問題ト云フコトニ付テハ、度々御聽キニモナツテ御承知ニハナツテ居ラウガ、是ハ國庫ノ財源ヲ何百万圓モ横領スル者ハ勝手ニ横領シ、又脫稅本位以テ法律ヲ衆議院ニ勝手ニ改正ヲシ、ソレニ言論ノ府タル本院が無暗ニ贊成ヲシテ盲從スル、何ノコトハナイ、警視廳が拘摸ヤ強盜ト馴合ッテ大藏省ノ金庫破リヲシテ居ルトチットモ變リハシナイ、斯様ナコトハ何ボ横領シテ默ッテ居ルニモセヨ、勝手氣儘ニ斯様ナ惡ルイコトヲサスト云フコトハ、諸君ニ於テ間違アルト私ハ思フ、又政府モ不都合千萬ト私ハ斷言スル、是ハチヨット讀ミマスガ、東京ノ砂糖市場會長ト云フ——砂糖ノ商賣ヲヤッテ居ル東京ノ砂糖市場會長ニ根岸龜吉氏ト云フノガアル、之ニ向ケテ我輩が問合セラシタ其時分ニ書面ガ來テ居ル、是ハ唯今控訴院ノ方ヘ此書類ハ回ツテ居ルノデアル「臺灣分蜜糖ノ内地ニ移入スルモノ色相品位ニ對シ東京砂糖市場會長ニ照會セシ處同會長根岸龜吉氏ハ左ノ如ク回答セリ今回御尋越ノ臺灣各會社製造ニ係ル分蜜糖ハ和蘭標本十號以上十七八號迄ノ品位ニシテ消費法第一種第二種ニ該當スルモノト相認メ候間此段御了承相成度及御回答候也」此通り去年ノ砂糖ハ今年ノ砂糖ヲシタノデアル、サウシテ稅法ヲ一種ニ濟マシタノデアル、一方ニハ保護金ト云フ恩典ヲ貰テ居ル、八十万圓ヲ諸君

が協賛シテ、四國、九州ニハアナタ方協賛ヲシテ吳レナイ、サウシテ一方ニハ日糖會社ハ
或時ハ政府ト結託シ、或時ハ又政府カラ虐待ヲ受ケル一方ハ無暗ニ脱税スル、一方ハ
脱税が出来ナイ、斯ウ來ルカラ日糖會社ハ亂暴ナコトヲヤッタ、亂暴ナコトヲヤッタ揚句ハ遣
揖ツタ酒匂常明ハ死ンダ、會社ノ株券ハ百七十圓臺ノモノガ「二十圓ニ下落シタ、是ハ
誰ガシタ、詰ルトヨロハ政府ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、政府が惡ルノアル、又其會社
ノ株券ヲ拂込以上ニ政府ガ擔保ニ取ッタリ、或ハ會社ノ債券ヲ擔保ニ取ッタ、吾々砂糖
屋カラハ二箇月以内ニ税金ヲ取ル、此方ハ何年モ掛ラケレバ取レヌコトニシタノハ、確ニ
大藏省ト日糖ト結託シタコトが分ツテ居ル、臺灣ガ亂暴スルト云フト大藏省ハ度參事
官ヲヤッタ、ヤッタケレドモ臺灣製糖會社ノ役員ハ日糖會社ノ舊役員ニアツテ、日糖ト大
藏省トノ關係ヲ知ッテ居ルカラ、大藏省カラ臺灣ヘヤカマシク言ウテモ御手許拜見、オ前
ノ方デモ斯様ナコトヲシテ居ルカラ此方モヤルト云ツテ又一層亂暴ヲヤッタ、亂暴ヲヤッタ
結果ハ臺灣ハ成立ヅヤウニナタガ、之ニ反シテ四國、九州、琉球ノ貧乏人ノ造ツテ居
ルモノハ減茶々ニシヤウト云フヤリ方ヲシテ居ル、諸君、行爲ハ言語ヨリ雄辯ダ、事實
ハ説明ヨリモ確デアル、而モ此證據ハ大藏省カラ出テタモノデアル、皆官文書、公文書ニ
ソレヽ載ツテ居ル、本員ハ出放題ハ言ハナイ、然ルニ政府ハ之ヲ公平ニヤツテ居ルナド、
出放題ヲ言ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ諸君が言ハシテ置クノハ諸君モ惡ルイ（「惡ルクナイ」下
呼フ者アリ）惡ルイヽ議會が切迫シテ來テ大晦日が來タカラ、今日ノ
質問ニ對シテ政府ハ、内地ノ百姓ヲ世話ラシテ居ルトス様ナ嘘ヲ云ウテ居ルコトハ嘘ト
シテ、惡カツタコトハ惡ルカツタ、今後ハ屹度ヤリ方ヲ變ヘマスト云フナラ
了簡スル、然ラザレバ本員ハ了簡セス、因テ政府ハ答辯ヲドウゾ今日デモシテ欲シイ、シ
ナケレバ大晦日ダカラ居催促ラスル、馬鹿々々シイ、マアチヨット斯ンナモノダ
（拍手起り笑聲起ル）

○議長（長谷場純孝君） 明治三十七八年戰役行賞ニ關スル質問提出者大内暢
三君

○大内暢三君 此質問ノ要旨ハ極メテ簡單ニシテ且明瞭デアリマスカラ、既ニ主意書
ニ於テ十分盡シテ居ルト思ヒマスカラ、私ハ辯論ヲ用井ルコトヲ致シマセス、政府ハ其主
意書ニ依ツテ適當ノ答辯ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 大内君ハ質問ノ要旨ハ主意書ニ盡シテ居ルカラ、ソレニ依ツ
テ速カニ答辯ヲアランコトヲ望ムト云フノデアリマスカ

○大内暢三君 サウデス

○議長（長谷場純孝君） 官有地拂下ニ關スル質問提出者早川龍介君

○早川龍介君 チヨット私ハ是ヨリ申シテ置キマスガ、書面ニ是ハ具サニ盡シテアリマス
カラ、自分ハ演説ヲ致シマセス、書面ニ對シテ政府ノ答辯ヲ求メマス

○議長（長谷場純孝君） 國有土地森林原野下戻法ニ關スル質問提出者三浦盛
徳——三浦盛德君——横山金太郎君

○議長（長谷場純孝君） 提出者三浦盛德君横山金太郎君ノ兩人トモ缺席デアリ
マスカラ延期スルコトニ致シマス、日程第一、宅地地價修正法案、政府提出、貴族院
回付ヲ議題トナシ、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第一 宅地地價修正法案（政府提出貴族院回付）

〔小字及――ハ貴族院修正〕

宅地地價修正法案
官報號外 明治四十二年三月九日 衆議院議事速記録第十七號 中川虎之助君ノ再質問演說 宅地地價修正法案

第三條 宅地ノ修正地價ハ本法ニ依リ定メタル賃貸價格ノ十倍トス但シ質
前項ニ依ル修正地價總額カ現在地租總額ヲ百分ノ二箇半ヲ以テ除シタルモノヲ超ユルトキハ現
在地租ヲ百分ノ二箇半ヲ以テ除シタルモノヲ以テ修正地價總額トシ前項ニ依ル修正地價ニ按分
シテ每筆ノ地租ヲ定ム

二割ヲ以テ其ノ地價トス
前項ニ依ル修正地價總額カ現在地價ノ十八倍郡村宅地ニ在リテハ現在地價ノ七倍
在地租ヲ百分ノ二箇半ヲ以テ除シタルモノヲ以テ修正地價ノ二十倍ヲ超ユルトキハ現在地價ノ二十倍ヲ以
テ其ノ地價トス

二割ヲ超ユルトキハ市街宅地ニ在リテハ現在地價ノ十八倍郡村宅地ニ在リテハ現在地價ノ七倍
在地租ヲ百分ノ二箇半ヲ以テ除シタルモノヲ以テ修正地價ノ二十倍ヲ超ユルトキハ現在地價ノ二十倍ヲ以
テ其ノ地價トス

本法ニ於テ賃貸價格ト稱スルハ貸主カ公課、修繕費其ノ他土地ノ維持ス
必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ之ヲ賃貸スル場合ニ於テ貸主ノ收得ス
ヘキ金額ヲ謂フ

○高木正年君 私ハ極ク簡單アリマスカラ當席ヨリ申シマス、私ハ此場合已ムナク
貴族院ノ回付案ニ贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス、元來申シマスレバ私ハ宅地價法
案ニハ反對ノ意思ヲ有ツテ居ルモノデアリマス、其次第ハ本員ノ委員會ニ於テ表白致シ
テ居リマスカラ、殊更ニ此處デハ申シマセヌ、唯私が此貴族院回付案ニ於テ貸主ノ收得ス
トヲ比較ノ上デ貴族院案ニ贊成スルノデ、其理由ヲ簡單ニ申サウト思ブノデアリマス、政
府案ニ市街宅地ノ百分ノ二十ト云フ重キ課稅か、舊來地價ノ高カリシ處ニ於テ此ノ
如キ重大ナル負擔ヲ繼續シツ、アルガタメニ、之ヲ低減セントシテ此修正法案ナルモノヲ
提出致シタ承知シテ居リマス、然ルニ市街宅地ニ於テスマラ其大部分ハ此宅地價修
正法案ニ依ツテ著シク負擔ノ増加スルト云フコトハ争フヘカラザル事實デアリマス、況ヤ郡
村宅地ニアツテハ此標準トシテ賃貸價格ナルモノガ、其發展シタルトコロノ郡村宅地ニ於
テスマラ僅ニ十分ノ四乃至——其二三ヲ除イタ外ハ所謂住居シテ居ル地内デアリマス、ソ
レ故ニ此宅地法案ニ依ツテ修正セラル、場合ニ於テハ、是ノ廣キトコロノ宅地ハ之ヲ縮
小シ、從ツテ郡村ノ宅地ハ種々ナル變化ヲ來スト同時ニ、其重キ負擔ノタメニ勢ヒ今日
ノ狀態ヲ維持スルコトノ出來ナイ場合ニ遭遇スルノデアリマス、殊ニ僻遠ナル郡村宅地ニ
於テハ實際賃貸價格ノ認ムキモノナクシテ、政府ノ所謂小作料ニ依リ、又ハ賣買地價
ニ依ツテ之ガ標準ヲ立テルモノトスレバ、決シテ是等ノ地方ノ負擔ニ於テモ輕減セラル、
トコロノ理由ヲ認メナインデアリマス、彼ノ地租改正ノ場合ニ於テハ是等ノ宅地ハ小作
料ニ依リ、若クハ其他ノ標準ニ依ツタノデアルガ、此小作料ナルモノ、著シク騰貴シタ今日ニ
アツテハ、宅地價修正法案ノ前途ハ所謂多クノ重稅ヲ負擔スルト云フ結果ニユルト云フ
トヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、是が故ニ政府ノ出シタル宅地價修正法案ナルモノ
ハ、公平ナルモノデナイト云フコトハ既ニ私ノ言ウタトコロデアリマス、之ヲ貴族院案ト比
較シテ考ヘマスレバ、貴族院案ニ市街宅地ニ於テモ二十倍ト云フノヲ十八倍ニ引下ケ
ト幾分カニ於テ低減シ、郡村宅地ニアツテハ之ヲ七倍ト云フコトニ引下ケテ、稍ニ郡村ト
市街トノ間ニ平均ヲ保タスト云フコトハ最モ私ノ悦ブトコロデアリマス、殊ニ私が
贊同ヲ躊躇シナインハ、政府提出ノ宅地價法案ニアツテハ、現在ノ宅地稅千六百万
圓ガ縱令二千万圓ニナツテモ一千五百万圓ニ増加シテモ、其結果ニ於テ本院ハ何等ノコト
モ言フコトハ出來ナインデアリ、國民ハ何ノ苦情モ唱ヘルコトノ出來ナインテアルガ、貴族院回
付案ハ是ニ於テ特ニ注意ヲ拂ハレテ、此ノ如ク稅額ノ増加シタル場合ニ於テハ、其增加
シタルモノヲ按分比例ニヨリ削減シテ、現在ノ地租額ニ増加セザル程度ニ於テ之ヲ修正
スルト云フコトガ、最モ本員ノ意ヲ得タルモノト考ヘル次第アリマス、此ノ如ク自分ハ

○伊藤大八君 本案ニ對シテハ此場合ニ貴族院ノ修正ニ同意スルノガ、穩當ト思ヒマスカラシテ、之ニ贊成スルコトニ致シタウゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 別ニ反対ノ通告モゴザイマセヌカラ、貴族院ノ回付サレタトコロノ宅地價修止法案ニ同意スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」^ノ聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ 同意スルコトニ決シマス、日程第一、韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第二 韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料 第一讀會

ニ關スル法律案(政府提出)

韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

明治三十三年法律第七十五號第一條ノ規定ハ韓國ニ在勤スル鐵道院所屬判任以上ノ官吏ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ明治四十二年一月以降ノ在職月數ニモ之ヲ適用ス

(政府委員工學博士平井晴二郎君登壇)

○政府委員(工學博士平井晴二郎君) 唯今日程ニ上リマシテ 法律案ニ付キマシテ 一應説明ヲ致シマス、是ハ客年十二月韓國鐵道ノ所管が鐵道院ニ移リマシタ結果、鐵道官吏が是マテ享受シテ居タルコトノ官吏恩給年金加算ニ關スル恩典ニ浴スルコトが出來ナクナリマシタ、ソレヲ本案ヲ以テ引續キ此恩典ヲ與ヘントスルモノデアリマスカラ、速ニ御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第三、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第三 右議案ノ審査ヲ付スヘキ委員ノ選舉

○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」^ノ聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ其通り決シマス、日程第四、家畜市場法案、政府提出、貴族院送付ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

(大浦農商務大臣)

第四 家畜市場法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

家畜市場法

第一條 本法ニ於テ家畜ト稱スルハ牛馬羊豚ヲ謂フ

第二條 家畜市場ヲ開設セムトスル者ハ市場業務規程ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ市場業務規程ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 家畜市場ノ開設許可ノ期間ハ二十年以内ニ於テ地方長官之ヲ定ム

但シ期間更新ノ出願ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノニ於テ常設家畜市場ヲ開設スルトキハ地方長官ハ其ノ申請ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ經テ必要ト認ムル地區

内ニ於ケル私設家畜市場ノ廢止ヲ命スルコトヲ得但シ產牛馬組合法ニ依リ設置シタル組合ノ市場ニ付テハ之ヲ適用セズ

第五條 前條ノ場合ニ於テハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ廢場ヲ命セラタル私設家畜市場ノ開設者ニ對シ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六條 家畜市場ニ於テハ其ノ場内又ハ其ノ附屬ノ場所ニ在ル家畜ニ非サレハ之ヲ賣買交換スルコトヲ得ス

第七條 家畜ノ賣買交換ヲ業トスル者ハ家畜市場附近ノ區域内ニ於テハ市場開催日及其ノ開催日前後ノ期間中其ノ市場ノ取扱フ家畜ヲ賣買交換スルコトヲ得ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 常設家畜市場ニ付主務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官ノ指定シタル區域内ニ於テハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ市場ノ取扱フ家畜ニ付市場ヲ開設スルコトヲ得ス

第九條 地方長官必要アリト認ムルトキハ常設家畜市場ニ付其ノ市場ノ取扱フ家畜ニ關シ指定シタル區域内ノ牛馬宿ニ於ケル賣買交換ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得ス

第十條 前三條ノ區域及期間ノ指定、變更又ハ取消ハ地方長官之ヲ告示ス

前項ノ區域及期間ハ地方長官之ヲ指定ス

第十一條 家畜市場開設者ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ市場ノ取扱フ家畜ノ賣買交換ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 家畜市場ニ於テ家畜ノ賣買交換ニ關スル行爲ヲ爲ス者ハ其ノ市場ノ業務規程ヲ知ラサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第十三條 家畜市場及其ノ附屬建設物ノ構造、設備、市場ノ取引方法、仲立業者ノ資格其ノ他之ニ準スヘキモノハ其ノ市場業務規程中ニ五十圓以下ノ過怠金ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第十四條 主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ官吏又ハ吏員ヲシテ家畜市場若ハ其ノ附屬ノ場所ニ臨檢シ市場開設者若ハ仲立業者ノ帳簿、書類其ノ他ノ物品ヲ検査シ又ハ市場若ハ其ノ附屬ノ場所ニ在ル家畜ヲ診斷シ又ハ其ノ移動ヲ停止セシムルコトヲ得

第十五條 家畜市場ノ休場又ハ廢止ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

家畜市場開設許可ノ際指定シタル期間内ニ開場セサルトキハ之ヲ休場ト看做ス

第十六條 家畜市場開設者カ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ又ハ主務大臣若ハ地方長官公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ家畜市場ノ開設許可ヲ取消シ又ハ業務ヲ停止シ若ハ制限スルコトヲ得主務大臣又ハ地方長官公益上必要アリト認ムルトキハ家畜市場及其ノ附屬建設物ノ位置構造設備又ハ市場業務規程ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十七條 許可ヲ受ケシテ家畜市場ヲ開設シ又ハ第十六條第一項ノ規定ニ依ル停止若ハ制限ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 第六條第七條第一項、第十一條、第十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者、第九條ノ規定ニ依ル禁止若ハ制限ニ違反シタル者又ハ第十四条ノ規定ニ依ル停止ノ處分ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 第十四條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者又ハ臨檢検査ノ際當該官吏吏員ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十條 家畜市場開設者又ハ家畜ニ關スル營業者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 家畜市場開設者又ハ家畜ニ關スル營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルコトヲ得ス

第二十二條 明治二十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第二十三條 本法ハ帝室、政府、北海道地方費又ハ府縣ノ行フ家畜ノ賣買交換ニ之ヲ適用セス

附則

(農商務大臣男爵大浦兼武君登壇) 唯今問題ニナリマシタルトコロノ家畜市場法案ハ本法施行前地方長官ノ許可又ハ認可ヲ得タル家畜市場ハ本法施行後三年ヲ限リ本法ニ依リ許可セラレタルモノト看做ス但シ本法施行ノ日ヨリ起算シ許可又ハ認可ノ期間二年以内ナルトキハ其ノ期間ニ依ル

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今問題ニナリマシタルトコロノ家畜市場法案ハ方法ヲ改善致シマシテ、且此市場ニ於ケル衛生上ノ設備ヲ完全ニスルコトハ我國ノ畜産業ノ發展ヲ圖ル上ニ於キマシテ最モ肝要ノコト、存シマス、然ルニ現今我邦ニ行ハレシテ居ルモノハ全國ニ六百餘箇所ゴザイマス、概シテ完全ノモノデゴザイマスカラ、是等ハマルトコロノ家畜ノ賣買ニ付テハ種々ノ弊害ガゴザイマシテ、且此市場ノ組織ヲ現今ニ爲ガ十分テナインゴザイマス、故ニ此家畜ノ市場ニ於ケルトコロノ法律ノ制度ヲ必要ナリト云フコトハ、當業者ヨリ屢々唱道シテ建議モ屢々致シタコトガゴザイマス、故ニ政府ハ

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 本案ハ議長指名ノ委員九名ニ付託スルニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマス、其通り決シマス——日程第六、政府提出銃砲火薬類取締法改正法律ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第六 銃砲火薬類取締法改正法律案(政府提出)
第一讀會
銃砲火薬類取締法
第一條 銃砲ハ左ノ各號ノ一一該當スル場合ヲ除クノ外之ヲ製造スルコトヲ得ス
一 行政官廳ノ委託ヲ受ケタル場合
二 行政官廳ノ許可ヲ受ケ輸出ノ目的ヲ以テ軍用銃砲ヲ製造スル場合
三 行政官廳ノ許可ヲ受ケ又ハ營業トシテ非軍用銃砲ヲ製造スル場合
四 行政官廳ノ許可ヲ受ケ新規發明ニ係ル軍用銃砲ヲ一定ノ期間試験ノ爲製造スル場合

第二條 火薬類ハ左ノ各號ノ一一該當スル場合ヲ除クノ外之ヲ製造シハ
一 變形若ハ修理スル場合
二 行政官廳ノ委託ヲ受ケタル場合
三 行政官廳ノ許可ヲ受ケ輸出ノ目的ヲ以テ軍用火工品ヲ製造シ又ハ變形若ハ修理スル場合
四 行政官廳ノ許可ヲ受ケ又ハ營業トシテ普通火工品ヲ製造シ又ハ變形若ハ修理スル場合
五 行政官廳ノ許可ヲ受ケ又ハ營業トシテ普通火工品ヲ製造シ又ハ變形若ハ修理スル場合
六 行政官廳ノ許可ヲ受ケ火薬、爆薬ヲ變形シ又ハ修理スル場合
七 第二號又ハ第三號ノ場合ニ該當スル者ニ於テ火薬、爆薬ヲ變形若ハ修理スル場合

前項第一號ノ場合ニ該當スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケシテ居ルモノハ全國ニ六百餘箇所ゴザイマスカラ、是等ハマルトコロノ家畜ノ賣買ニ付テハ種々ノ弊害ガゴザイマシテ、且此市場ノ組織ヲ現今ニ爲ガ十分テナインゴザイマス、故ニ此家畜ノ市場ニ於ケルトコロノ法律ノ制度ヲ必要ナリト云フコトハ、當業者ヨリ屢々唱道シテ建議モ屢々致シタコトガゴザイマス、故ニ政府ハ

銃砲ノ修繕又ハ改造ノ業ヲ營ム者ハ銃砲製造業者ト看做シ火薬類ノ變形又ハ修理ノ業ヲ營ム者ハ火薬類製造業者ト看做ス

第四條 行政官廳ハ銃砲販賣業者及火薬類販賣業者ノ道府縣ニ於ケル定員ヲ設クルコトヲ得
ノ製造シ又ハ加工シタル銃砲、火薬類ノ販賣業ヲ兼ヌル者ハ前項ノ定員ニ算入セス

第五條 銃砲、火薬類ノ製造、變形、修理又ハ販賣ニ關シ許可ヲ受ケタル者ニ於テ指定シタル期間内ニ其ノ事業ヲ開始セス若ハ事業開始後一年以上其ノ事業ヲ休止シタルトキ又ハ法令ニ違反シタルトキ又ハ安寧秩序ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ行政官廳ハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得

第六條 軍用銃砲、火薬類ノ譲渡又ハ譲受ハ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ製造若ハ販賣ノ業ヲ營ム者又ハ特ニ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 銃砲、火薬類ハ之ヲ行商シ又ハ市場若ハ露店其ノ他屋外ニ於テ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

第八條 銃砲、火薬類ノ輸出ハ其ノ製造若ハ販賣ノ業ヲ營ム者又ハ特ニ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 銃砲、火薬類ノ輸入ハ行政官廳ノ委託ヲ受ケタル者若ハ其ノ販賣ノ業ヲ營ム者又ハ特ニ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 行政官廳ハ何時ニテモ當該官吏ヲシテ銃砲、火薬類ノ製造所、貯藏所其ノ他銃砲、火薬類ヲ收藏スルノ疑アル場所ニ臨檢シ又ハ銃砲、火薬類及之ヲ收藏スルノ疑アル物件若ハ營業上ノ帳簿其他ノ書類ヲ検査セシムルコトヲ得

行政官廳ハ危害豫防ノ爲銃砲、火薬類ノ製造所若ハ火薬類ノ貯藏所ノ改築若ハ修繕ヲ命シ又ハ火薬類ニ關シ若ハ其ノ貯藏、運搬其他ノ取扱ニ關シ取締上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條 行政官廳ハ保安上、軍事上又ハ外交上必要アリト認ムル場合ニ於テ銃砲、火薬類ノ輸出若ハ輸入ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第十二條 行政官廳ハ安寧秩序ヲ保持スル爲必要アリト認ムルトキハ銃砲、火薬類ノ授受、運搬、攜帶ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第十三條 前二條ノ場合ニ於テ行政官廳ハ銃砲、火薬類ノ假領置ヲ爲スコトヲ得

第十四條 左ノ事項ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

一 本法ノ適用ヲ受クヘキ銃砲、火薬類ノ範圍

二 銃砲、火薬類ノ取引、授受、使用、運搬、貯藏其他ノ取扱

三 銃砲、火薬類製造所及火薬類貯藏所ニ關スル事項

四 銃砲、火薬類ヲ要スル工事又ハ工業ニ關スル事項

五 火薬類ノ基キテ發スル命令ノ全部又ハ一部ハ命令ノ定ム

ル所ニ依リ銃砲、火薬類ニ非サル他ノ戎器又ハ爆發質物品ニ關シ之ヲ準用スルコトヲ得

本法ノ一部ヲ適用スルノ必要ナシト認ムル銃砲、火薬類ニ關シテハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十六條 第一條、第二條、第八條若ハ第九條ノ規定ニ違反シ、許可ヲ受ケシテ第三條ノ營業ヲ爲シ又ハ第五條若ハ第十一條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 第十二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 第十條第二項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ第十條第一項若ハ第十三條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者又ハ其ノ執行ニ際シ當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 第六條又ハ第七條ノ規定ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十條 營業者又ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ銃砲、火薬類ニ關スル事業ヲ行フ者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ未成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 營業者又ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ銃砲、火薬類ニ關スル事業ヲ行フ者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ營業又ハ事業ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十二條 前二條ノ場合ニ於テハ罰金、科料又ハ沒收以外ノ刑ニ處スルコトヲ得ス

第二十三條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

ト致シマス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

刑法施行法第二十五條第一項中第一號ヲ削リ以下各號順次續上ク

爆發物取締罰則ハ本法ノ爲其ノ效力ヲ妨ガラルコトナシ

○議長(長谷川純孝君) 本案モ議長指名九名ノ委員ニ付託ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○伊藤大八君 本案モ議長指名九名ノ委員ニ付託センコトヲ望ミマス

○議長(長谷川純孝君) 本案モ議長指名九名ニ付託ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

八、關稅定率法改正法律案第一讀會ノ續フ開キマス、特別委員長野田卯太郎君

第八 關稅定率法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

〔野田卯太郎君登壇〕

○野田卯太郎君 是ヨリ本案ノ委員會ノ經過ヲ報告シマス、本案ハ重大ナ案デゴザイマスカラ委員會ヲ開クコトハ十數回アッタデゴザイマス、其間ノ質問應答ハ數千万言デゴザリマスガ、是ハ速記録テ御承知ノコト、信ジマス、其中ノ重ナル質問、且ツ政府委員ノ答ヲ報道シテ置カウト思ヒマス、第一本案ハ外務大臣ノ辯明ニ依レバ從來條約ニ依テ束縛サレテ居ルトコロノ此稅率ヲ束縛ヲ離レテ將來自由ニ國定稅率トシテ之ヲ適用スルト云フが本案ノ大趣意デゴザイマス、之ニ對シテ委員ノ質問ガアリマシテ、此案ニ付テ協定稅率ト云フヤウナモノハ何レノ國トカ協定スルコトハイカト云フコトヲ問ヒマシタレバ、外務大臣答ヘテ曰ク、我貿易ノ現狀ニ於テハ吾ヨリ協定ヲ求ムルノ必要ナシ、求ムレバ却テ我邦ノ不利益デアラウト思フ、若シ一一ノ國ト協約スル場合ガアリスルモ、從來ノ如キ片務的ノ協定ハ致サヌ、我國定稅率、即チ本案ヲ原則ト致シマシテ而シテ或ル品ヲ限り少數デ斯至シテ少數ノ品ヲ限ッテ相互ノ利益ヲ主トシテ協定スル考アル、若シサウ云フ國ガアレバサウスル積リテアルト云フ答テゴザイマス、ソレカラ尙此協定ガ若シアリマスレバニ年限ヲ付ケルヤ否ヤト云フ質問ガアリマシタ、此質問ニ答ヘルニハ簡月、若クハ一箇年内ニ豫告ヲシテ之が改廢又率ノ高下モ自由ニナルヤウナ權利ヲ保留シテ置クト云フ外務大臣ノ答ニ斯ケン此度改訂スベキ條約ノ改訂其國ハドレタケアルカト云フ問ニ外務大臣答ヘルニ、十四箇國アル、尤モ支那ト朝鮮ハ此十四箇國ノ中ニハ入ッテ居ナイ、就中韓國及關東州ニ付テハ時宜ニ依テ特別ノ處置ヲスル考アルト云フ答テアリマス、尙委員ノ質問ガアリマシテ此稅率ノ査定方針、是ハドウ云フ方針デアルカト云フコトヲ問ヒマシタトコロガ、内國ニ於テ發達スル見込ノアル、物產及ヒ製品ニ對シテハ保護獎勵ノ精神ヲ以テ此稅率ヲ按排シテ居ル、尤モ苛重ノ保護稅ヲ課スルハ消費者ノ負擔ヲモ省ミネバナラヌカラシテ、稅率ヲ多ク高クスルコトハシナイト云フ方針アル、要スルニ國家經濟ノ發達ヲ主トシテ之ヲ極メタモノニアルト云フ答ヘテアリマス、大體主モナルコトハ此位ナコトアリマシテ、餘ハ速記録デ御了承アランコトヲ希望シマス、然ルニ本案ニ於キマシテハ委員會ニ於テハ大體ニ反對ハナカッタデゴザイマスガ、修正ハ澤山アリマシタ、是カラ修正ノ箇條ヲ御報告シマス、(印刷ニアルカラ宜イ)ト呼フ者アリ)法文ニ於テ第三條ハ全部削除シマシタ、此事由ハ此從價稅ヲ從量稅ニ換算スルト云フコトヲ勅令ヲ以テスルト云フガ、此三條ノ趣意デゴザイマス、此ノ如ク稅率、即チ是ハ調查上ニ於テ往々發見シタコトアリマスガ、從價稅ヲ從量稅ニ直スニ於テハ往々政府ニ於テモ換算ノ廉ヲ今度ノ委員ニ於テモ見認メマシタ譯テス、此ノ如キモノハ至急ヲ要スルモノテナイカラ從價稅ノ從價稅ニ、六箇月ヤ一年ノ間取シテ差支ヘテ從量稅ニ直ス必をガアレバ議會ニ問フベシト云フ趣意デ此第三條ハ削除致シマシタ、爲ニ此四條が五條ニナリ、第六條ヲ第五條ニ順次繰上ゲルコトニ修正ニナリマシタ、ソレカラ第六條ガ茲ニ新入りマシテ米及穀ノ輸入稅ハ凶作ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ毎百斤六十四錢ヲ限度トシテ低減スルコトヲ得是ハ先ノ勅令ヲ削ッテ茲ニ勅令ヲ入ル、ハ不都合ナリト云フ反駁ノ論モアリマシタ、建議者ノ之ニ辯護ヲスルニハ是ハ一圓ト云フ限ガ茲ニ新入りマシテ米及穀ノ輸入稅ハ凶作ノ場合ニ於テハ勅令ノ際ニ於テ勅令ヲ以テ政府ニ許スノハ前ノ勅令ト此勅令ノ趣意ト餘程事實ニ於テ違ヒガアルト云フ辯明デアリマシタ、ソレカラ第七條ノ十「官立公立學校博物館物品陳列場其ノ他營造物」ノ下ニ「及私立專門學校」ハ字ヲ加ヘマス、法文ニ於テノ修正ハ是ダケアリマス、ソレカラ別表ニ入リマス、別表ノ二類ノ十一號米及穀、每百斤〇〇

六四「トアッタノヲ」「一、〇〇」「ト直シマス、大麥」「〇、四二」「トアッタノヲ」「〇、五五」「十六」「トアッタノガ」「〇、六〇」「トアッタノガ」「〇、七〇」「トナリマス、ソレカラ二十一ノ一大豆」「〇、五

〇」「トアッタノガ」「〇、七〇」「トナリマス、ソレカラ二十一ノ一小麥粉」「一、六五」「トアッタノガデンスドミルク」「一、一〇」「トアッタノガ」「五、五五」「トナリマシタ、但シ是ハ原案ニ據レバ砂糖ノ戻稅ヲ廢スルト云フ趣意ニナシテ居リマス、此度ノ修正デハ砂糖ノ戻稅ハ從前ノ通り付ケテ置クト云フ精神ヲ修正ニナリマシタ、ソレカラ六十四葡萄酒甲ノ「イ」是ガ「一二、

〇〇」「トアッタノガ」「一五、〇〇」「トナリマシタ、四類七十一ノ水牛皮及毎百斤「一、七〇」「アッタノガ無稅ニナリマシタ、之ヲ修正シマシタカラ「毎百斤」ヲ削テ次ハ「毎百斤」「ト云フ字ヲ押入致シマシタ、第五類九十五ノ一芳香性ノモノトアリマス、丙、何デゴザイマスカ是ハ略シマセウ(笑聲起ル)」「一五、一〇」「丁ガ」「四〇、六〇」「ニナリマス、戊ガ」「二

〇、一〇」「ニナリマス、己ガ」「一五、〇〇」「庚ガ」「四三、二〇」「辛「其ノ他」ガ是ハ「一六、二〇」「ニナリマシタ、乙——」ヤ是ハ間違テ居リマシタ、甲ハ桂皮油ト云フノテアッタ、ソレガ「一六、二〇」「ニナリマシタ、ソレカラ乙ガ」「一〇、七〇」「ニナリマス、丙、何デゴザイマスカ是ハ略シマセウ(笑聲起ル)」「一五、一〇」「丁ガ」「四〇、六〇」「ニナリマス、戊ガ」「二

〇、〇〇」「トナリマス、白檀」「五、一五」「トアッタノガ」「三、八五」「トナリマス、是ハ「百三十九デ戌、己、庚、辛、ト斯ウ分ケマシタ、是ハ「一々油デゴザイマスガ、「シトロネラ油」トカ云フノガ「一六、二〇」「ニナリマシタ、乙——」ヤ是ハ間違テ居リマシタ、甲ハ桂皮油ト云フノテアッタ、ソレガ「一六、二〇」「ニナリマシタ、ソレカラ乙ガ」「一〇、七〇」「ニナリマス、丙、何デゴザイマスカ是ハ略シマセウ(笑聲起ル)」「一五、一〇」「丁ガ」「四〇、六〇」「ニナリマス、戊ガ」「二

〇、〇〇」「トナリマス、己ガ」「一五、〇〇」「庚ガ」「四三、二〇」「辛「其ノ他」ガ是ハ「一六、二〇」「ニナリマシタ、乙——」ヤ是ハ間違テ居リマシタ、甲ハ桂皮油ト云フノテアッタ、ソレカラ乙ガ「一六、二〇」「ニナリマシタ、ソレカラ乙ガ」「一〇、七〇」「ニナリマス、丙、何デゴザイマスカ是ハ略シマセウ(笑聲起ル)」「一五、一〇」「丁ガ」「四〇、六〇」「ニナリマス、戊ガ」「二

〇、〇〇」「トナリマス、己ガ」「一五、〇〇」「庚ガ」「四三、二〇」「辛「其ノ他」ガ是ハ「一六、二〇」「ニナリマシタ、乙——」ヤ是ハ間違テ居リマシタ、甲ハ桂皮油ト云フノテアッタ、ソレカラ乙ガ「一六、二〇」「ニナリマシタ、ソレカラ乙ガ」「一〇、七〇」「ニナリマス、丙、何デゴザイマスカ是ハ略シマセウ(笑聲起ル)」「一五、一〇」「丁ガ」「四〇、六〇」「ニナリマス、戊ガ」「二

〇、〇〇」「トナリマス、己ガ」「一五、〇〇」「庚ガ」「四三、二〇」「辛「其ノ他」ガ是ハ「一六、二〇」「ニナリマシタ、乙——」ヤ是ハ間違テ居リマシタ、甲ハ桂皮油ト云フノテアッタ、ソレカラ乙ガ「一六、二〇」「ニナリマシタ、ソレカラ乙ガ」「一〇、七〇」「ニナリマス、丙、何デゴザイマスカ是ハ略シマセウ(笑聲起ル)」「一五、一〇」「丁ガ」「四〇、六〇」「ニナリマス、戊ガ」「二

〇、〇〇」「トナリマス、己ガ」「一五、〇〇」「庚ガ」「四三、二〇」「辛「其ノ他」ガ是ハ「一六、二〇」「ニナリマシタ、乙——」ヤ是ハ間違テ居リマシタ、甲ハ桂皮油ト云フノテアッタ、ソレカラ乙ガ「一六、二〇」「ニナリマシタ、ソレカラ乙ガ」「一〇、七〇」「ニナリマス、丙、何デゴザイマスカ是ハ略シマセウ(笑聲起ル)」「一五、一〇」「丁ガ」「四〇、六〇」「ニナリマス、戊ガ」「二

〇、〇〇」「トナリマス、己ガ」「一五、〇〇」「庚ガ」「四三、二〇」「辛「其ノ他」ガ是ハ「一六、二〇」「ニナリマシタ、乙——」ヤ是ハ間違テ居リマシタ、甲ハ桂皮油ト云フノテアッタ、ソレカラ乙ガ「一六、二〇」「ニナリマシタ、ソレカラ乙ガ」「一〇、七〇」「ニナリマス、丙、何デゴザイマスカ是ハ略シマセウ(笑聲起ル)」「一五、一〇」「丁ガ」「四〇、六〇」「ニナリマス、戊ガ」「二

アツタノガ「一、〇〇」「トナツタ、「ロ其ノ他」「四、七〇」「デアツタノガ「五、五〇」「トナツタ、
繩ヲ用井タルモノ」トアルノガ從價「二割」デアツタノガ「二割五分」「ロ其ノ他」「一五、一〇」
トアツタノガ「一八、〇〇」ニナツタ、乙ノ「イ」ト「云フモノガ「一二、〇〇」「トアツタノガ「一四、
五〇」「トナツタ、「ロ其ノ他」ト云フ處ニ行キマシテ從價「二割」トアルノガ「二割五分」トナツ
タ、ソレカラ五百六十一ノ「ダイヤー」ト云フノガ「一、〇〇」「デアツタノガ「一、五〇」「ト
ナツタ、五百六十三ノ自働車ノ「働」ノ字ノ人扁ガ取レマシタ、此稅が五百六十四「從
價二割」ヲ「從價三割」ニ改メマシタ、五百六十八一是ハ船舶デアリマス、之ヲ甲、乙ト入
レマシテ「船齡十年ヲ超エサルモノ總噸數每噸十五圓」乙其ノ他總噸數每噸十圓ト
「一〇、〇〇」斯ウ直シマシタ、ソレカラ六百一、是ハ製紙機械ノ名ヲ書イテゴザイマスケレ
ドモ、是モ省イテ置キマス、字ニ間違ヒガゴザイマスカラ是ハ修正案ヲ總テ速記ニ載セマス
カラ、左様御承知ヲ希望致シマス、ソレカラ十七類六百三十一ノ「三七、五〇」「トアツ
タノガ「四一、五〇」「トナツタ、六百四十四越」〇、二一〇「トアツタノガ「〇、三〇」「トナツタ、
是ダケノ修正ニアリマス、餘ハ總テ原案ニ可決シマシタ、ドウカ委員會ニ於テ修正ノ通リ
滿場一致ヲ以テ御贊同アランコトヲ希望致シマス

關稅定率法改正法律案中左ノ通修正ス
〔參照〕

〔拍手スル者アリ〕

(別表)
第四條、第五條、第六條ヲ順次繰上ケ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第六條 米及粉ノ輸入税ハ凶作ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ毎
百斤六十四錢ヲ限度トシ之ヲ低減スルコトヲ得
第七條第十號中「其ノ他ノ營造物」ノ下ニ「及私立ノ專門學校」ヲ加フ
〔小字及一ハ委員會修正〕

輸入稅表

番號品

名

單位稅率

第二類 穀物、穀粉、穀粉類及種子

二
采桑子

二	六	三	三
豆類	小麥	大麥	米及穀

一一

一 小麥粉

二七一 棉子

同	同	同	同	同	每	百	斤
<hr/>							
無							
○ 一 稅	二 六 五 五	○ 五 七 ○	○ 六 七 ○	○ 四 二 ○	○ 五 五 ○	○ 六 四 ○	

第三類 飲食物及煙草		容器共斤
六四	五五	一五、五〇
九五	七一	一一、〇〇
一 獸皮	第四類 皮毛骨角齒牙甲殼類及其ノ製品	一、九〇
二 鹿皮	第五類 油膾蠟及其ノ製品	一、七〇 稅
三 植物性揮發油	一 牛皮及水牛皮	一一、六〇 稅
四 庚	一 麝香性ノモノ	一一、五〇 稅
五 己	一 桂皮油	一一、四〇 稅
六 戊	二 乙丙丁	一一、三〇 稅
七 辛	三 ラヴァニダーバーガモット油	一一、二〇 税
八 庚	四 アニシード油	一一、一〇 税
九 己	五 レモン油	一一、〇〇 税
十 辛	六 サンダル油	一一、〇〇 税
十一 他	七 其ノ他	一一、〇〇 税
十二 其ノ他	八 葡萄酒(ポート、シャンパン等ヲ含ム)	一一、〇〇 税
十三 第六類 藥材、化學藥、製藥、其ノ調合品及爆發藥	九 葡萄酒(ポート、シャンパン等ヲ含ム)	一一、〇〇 税

(順數ヲ以テ積量ヲ計算セサルモノ
ヲ除ク)
甲 船齡十年ヲ超エサルモノ

乙 其ノ他

簡分機械及其ノ附屬水壓罐筒、砂糖乾燥機及骨炭再燃機

六〇二 製紙機械及製紙備準機械(製糖用ノ甘蔗壓榨機、

糖汁加熱機、糖汁空氣攪拌機、糖汁濾過機、糖汁清淨用瓦斯發生機、糖汁蒸發機、結晶機、廢汽冷却機及其ノ附屬排氣管

六三一 セリニロイド及同製品(別號ニ掲ケサルモノ)

總額	每噸	同	同	同	同
一五、〇〇	一五、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一割五分	一割五分
一一五、〇〇	一一五、〇〇	一一〇、〇〇	一一〇、〇〇	一一割五分	一一割五分
一一一五、〇〇	一一一五、〇〇	一一一〇、〇〇	一一一〇、〇〇	一一一割五分	一一一割五分

六四一 雜

一 塊條帶竿板及管ノ類

每百斤	四二、五〇	三七、五〇	四二、五〇	三七、五〇	四二、五〇
○一、一〇	○一、一〇	○一、一〇	○一、一〇	○一、一〇	○一、一〇

六四二 雜

〔「順數ヲ以テ積量ヲ計算セサルモノ
ノ他」ト呼フ者アリ〕

六三二 セリニロイド及同製品(別號ニ掲ケサルモノ)

每百斤	四二、五〇	三七、五〇	四二、五〇	三七、五〇	四二、五〇
○一、一〇	○一、一〇	○一、一〇	○一、一〇	○一、一〇	○一、一〇

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定アラ
ンコトヲ希望致シマス
〔賛成キタ「ト呼フ者アリ〕

○早速整爾君 議長、議長
○議長(長谷場純孝君) 修正意見デスカ、修正意見ハ二讀會ニ於テナサルヤウニ、先
ア本案ハ直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ付テ採決致シマス、直ニ二讀會ヲ開クト云フコ
トニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ直ニ二讀會ヲ開キマス、外務
大臣

關稅定率法改正法律案

第二讀會

〔外務大臣伯爵小村壽太郎君登壇〕

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 唯今議題トナツテ居リマスル關稅改正法律案ニ
對スル修正ニ關シマシテ一言政府ノ所信ヲ述べテ置キマス、此改正案ノ本文ニ於キマシ
テノ修正案ガゴザイマスルが、事變又ハ凶作ニ際シマシテ一時ノ危急ヲ濟フガタメニハ
政府ハ其責任ヲ以テ臨機緊急ノ處置ヲナシ得ルコトゴザイマスル、本文第六條ノ修正
ニハ同意シ兼ネル譯デゴザイマス、況ヤ此修正案ニ據リマスト凶作ノ際ニ米穀ニ對スル
輸入稅率ヲ輕減スルノ程度ガ制限シテアリマスルカラ、尙同意ヲ表シ兼ネル次第ゴザ
イマスガ、政府當局ノ中ニハ或ハ寵商ナル者ガアツテ、是ト結託スル弊ガアルト云フ

コトハ當ニ多數黨ノ諸君ハ十分ニ知ルトコロデアル、然ルニ若シ此ノ如キコトノ規定ヲ
置キマスレバ政府當局ヲシテ其不正ノ結託ヲ致シマスルノニ渡シニ船ヲ持ヘ、若クハ川
ニ橋ヲ搭ヘルト同ジコトデアルト思フノデアル、元來凶作ト云フコトハ一ノ程度問題デ
アツテ、此凶作ト云フモノハ見ヤウニ據リマシテハ如何ニモ解釋ハ出來ルノデアル、凶作
ト平作ト豐作ト云フコトハ事實ニ對スル銘々ノ認定デアリマス、此ノ如キ不定ノ事實ヲ
茲ニ定メテ置キマシテ、サウシテ斯様ナトコロノ一便宜ヲ與ヘタナラバ、之ヲ橋ニ致シマシテ
何トカ名ヲ付ケテ凶作デアルト政府當局ガ不都合ナ事ヲスルコトガアリハシナイカト疑
フノデアル、今日以後此ノ如キ弊害が出ヤシマイカト疑フノデアル、憲法ノ規定ニ於テ之
ヲ見ル以上ハ既ニ蛇足デアルノミナラズ、此ノ如キ規定ヲ設ケル必要ハ毫セ存在シナイト
私ハ信ズルノデアル、而シテ種々ノ弊害が生ズルコトノ根源デアルト信ズルノデアリマス、
畢竟此關稅定率ヲ引上ケルト云フ場合ニ於テイロ／＼ノ異論者ガアル、其異論者ヲ壓
倒セん／＼ノ方策ニ出タル規定デアルト私ハ思フノデアリマス、已ムヲ得ズ此ノ如キ修正ヲサ
レタノデアリマセウケレドモ、法律ノ體裁ノ上カラ申シマシテモ、亦政策ノ濫用ト云フ上カ
ラ申シマシテモ、憲法ノ條規ノ上カラ申シマシテモ、此ノ如キ規定ハ甚ダ必要デナイト私
ヲ希望致シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ逐條審議ニ係リマス、關稅定率法第一條ヲ議題ニ
供シマス——別ニ御異議ガナイト認メマスカラ原案ニ決シマス——第二條——御異見
ガナイト認メマスカラ原案ニ決シマス——第三條ハ即チ委員長ノ報告ハ之ヲ削除ニナッ
テ居リマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告告り通御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ「ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマス、第三條ハ全部削除ニナリマシタ、
シマス——御異議ガナケレバ原案ニ決シマス——第五條

〔「委員長報告通リ」ト云フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 徒然アリマスカ「ト云フ者アリ」

○議長(長谷場純孝君) 五條ハ元ノ原案ノ五條——御異議ガナケレバ原案ニ決シ
マス——茲ニ委員長ノ報告告之第六條ノ「米及粉ノ輸入稅ハ凶作ノ場合ニ於テハ勅令
ヲ以テ期間ヲ指定シ每百斤六十四錢ヲ限度トシハ低減スルコトヲ得」ト云フ修正ガ
アリマス、之ニ對シテ反對ノ通告ガアリマス——阪本彌一郎君

○阪本彌一郎君 簡單デゴザイマスカラ此處デ遠ベマス

○議長(長谷場純孝君) 簡單ナレバ著席ノ儘テ宜シウゴザイマス

○阪本彌一郎君 本案ニ付ギマシテハ唯今外務大臣ガ其一部ヲ申述ベテ居リマスガ、
此緊急勅令ニ據リマシテ關稅定率ヲ六十四錢マデ低減スルコトヲ得、斯ウ云フ規定ヲ
置キマスルコトハ私ハ甚ダ必要ナ規定デアルト信ズルノテアリマス、憲法ノ第八條ニ據リ
マスレバ「天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其災厄ヲ避ケル爲メ緊急ノ必要ニ由リ帝國
議會閉會ノ場合ニ於テ法律二代ルヘキ勅令ヲ發ス」ト云フ規定ガアル、此規定ハ私ハ本
條ヲ修正サレタトコロノ規定ノ場合ニ適用スベキ場合ト信ズルノテアリマス、公共ノ安全
ヲ保持シ、又ハ其災厄ヲ避ケルタメニハ必要ニ應ジマシテ緊急勅令ヲ發スルト云フコトハ
憲法ニ認メマシテ居ル事柄ニアリマス、然ルニ其事柄ヲ特ニ茲ニ書ク必要ハナインテアリ
マス、テ特ニ之ヲ書クト云フコトニテ種々ノ弊害ガアルノテアリマス、吾ミガ信ジテ
居リマストコロノ賢明ナル多數黨ノ諸君ハイツモ政府ヲ御信賴ニナルカラソレデ宜ウゴ
サイマスガ、政府當局ノ中ニハ或ハ寵商ナル者ガアツテ、是ト結託スル弊ガアルト云フ

コトハ當ニ多數黨ノ諸君ハ十分ニ知ルトコロデアル、然ルニ若シ此ノ如キコトノ規定ヲ

置キマスレバ政府當局ヲシテ其不正ノ結託ヲ致シマスルノニ渡シニ船ヲ持ヘ、若クハ川

ニ橋ヲ搭ヘルト同ジコトデアルト思フノデアル、元來凶作ト云フコトハ一ノ程度問題デ

アツテ、此凶作ト云フモノハ見ヤウニ據リマシテハ如何ニモ解釋ハ出來ルノデアル、凶作

ト平作ト豐作ト云フコトハ事實ニ對スル銘々ノ認定デアリマス、此ノ如キ不定ノ事實ヲ

茲ニ定メテ置キマシテ、サウシテ斯様ナトコロノ一便宜ヲ與ヘタナラバ、之ヲ橋ニ致シマシテ

何トカ名ヲ付ケテ凶作デアルト政府當局ガ不都合ナ事ヲスルコトガアリハシナイカト疑

フノデアル、今日以後此ノ如キ弊害が出ヤシマイカト疑フノデアル、憲法ノ規定ニ於テ之

ヲ見ル以上ハ既ニ蛇足デアルノミナラズ、此ノ如キ規定ヲ設ケル必要ハ毫セ存在シナイト

私ハ信ズルノデアル、而シテ種々ノ弊害が生ズルコトノ根源デアルト信ズルノテアリマス、
畢竟此關稅定率ヲ引上ケルト云フ場合ニ於テイロ／＼ノ異論者ガアル、其異論者ヲ壓
倒セん／＼ノ方策ニ出タル規定デアルト私ハ思フノデアリマス、已ムヲ得ズ此ノ如キ修正ヲサ
レタノデアリマセウケレドモ、法律ノ體裁ノ上カラ申シマシテモ、亦政策ノ濫用ト云フ上カ
ラ申シマシテモ、憲法ノ條規ノ上カラ申シマシテモ、此ノ如キ規定ハ甚ダ必要デナイト私
ヲ希望致シテ置キマス

○森田勇次郎君 議長

○議長(長谷場純孝君) 森田君ハ第六條ニ付テ御異見デアリマスカ

○森田勇次郎君 左様

○議長(長谷場純孝君) アナタハ茲ニ第七條ニ第十二對シテ修正案が出て居リマス
ガ、併ナガラ是ニアナタノ御提出ニナッタモノト委員長ノ報告ト同シモノト思ヒマスカ

ラ……

○森田勇次郎君 唯今ノ第六條ニ付テ意見ヲ述べマス

○議長(長谷場純孝君) 森田勇次郎君

○森田勇次郎君 第六條ノ修正案ノ説ニハ全然私モ反対ヲ表シマス、政友會ノ諸君ハ既ニ第三條ヲ削除シテ從價稅ヲ從量稅ニ換算スルト云フコトヲ勅令ニ任シテ必要ナルキハ凡ソ議會提出スベキモノデアル、議會デ是等ノコトヲ議定スルダケノ期間ハアルモノ

デアルト云フ御趣意デ此修正ノ簡條ヲ述ベラレタ、而シテ年ノ豐凶ヲ見定メル場合ハ丁度議會ノ開會中デアリマス、即チ毎年十一月カラ翌年二月頃マテノ間ニ年ノ豐凶が定マルノデアリマス、故ニ此場合ニ凶作デアルコトが明白ニナッテ、輸入米ヲ入ルベキ必要アリト認メタ場合ニハ此議場ニ於キマシテ此關稅ヲ論ズルコトガ出來ルト思ヒマス、第二條ヲ削除サレタ精神ハ直ニ此簡條ニ移シテ論ズルコトガ出來マセウ、何モ法律デ定ムベキモノヲバ勅令ニ一任スルト云フ必要ハナカラウト思ヒマス、況シテヤ此輸入稅ノ稅金ヲ毎百斤六十四錢ヲ限度トシテ低減スルコトヲ得ト云フノハ、唯今外務大臣ノ言ハレタ如ク甚ダ其當ヲ得ナイモノト思ヒマスカラ、此修正ノ簡條ニハ私ハ反対シマス

○宮古啓三郎君 本員ハ此修正案ニ賛成デアリマス、唯今阪本君ノ議論ヲ承ツテ見

マスト云フト、第一ニ誤ッテ居ルヤウニ思フ、ソレハ第六條ヲ以テ緊急勅令ヲ以テ低減ヲスルト云フコトニ考ヘラレテ居ルカノ如ク思ヒマス、併ナガラ第六條ノ修正案ハ決シテ緊急勅令デ以テ低減セントスルノデナイン、普通ノ勅令ヲ以テ低減スルノデアリマス、固ヨリ緊急勅令ハ憲法八條ニ於テ規定シテアルトコロデアリマスカラ、如何ナル場合ニ於テモ

其必要ヲ感シマシタ際ニ於テハ緊急勅令ヲ發スルコトハ固ヨリ出來ルノデアリマス、併ナガラ第六條ヲ修正ヲ加ヘマシタノハ緊急勅令ヲ發スルマデノ必要ノナイモノデアリマス、程度ノ問題デハゴザイマスガ、緊急勅令ヲ發スルト云フコトハ頗ル重大デゴザイマシテ、固ヨリ

リ餘程非常ナ場合ニアラザレハ發スベキモノデナイン、併ナガラ夫程ノ程度ニ至ラザル場合ニ於テモ

テ必要ヲ感シタ際ニ於テ、第六條ニ依テ之ヲ覆スルコトノ出來ルコトニシタノ

度ノ問題デハゴザイマスカラ此ノ如クノ緩和ノ方法トシテ規定ヲ設ケルコトハ聊カ差支

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 多數、委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ
○議長(長谷場純孝君) 多數、委員長ノ報告通り御異議ト致シマス、委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ委員長ノ報告通り決シマス、第

起立者

多數

○議長(長谷場純孝君) 多數、委員長ノ報告通り決シマス、此場合森田君ニ御諮詢致シマスが、先刻申シマンシタアナタカラ此處ニ定規ノ贊成者ヲ得テ御提出ニナッテ居ル第七條第十號、是ハ丁度委員長ノ報告ト同シヤウニナシテ居リマスが、是ハ御撤回ニナリマスカ

○森田勇次郎君 宜シウゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) サウ致シマスト即チ第七條、第七條ノ第一ヨリ第一一二マ

デ、即チ第七條ノ全部ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ委員長ノ報告通り決シマス、第

八條、第九條、第十條、第十一條及附則共ニ委員會ニ於テノ修正モアリマセヌカ

ラ原案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ第八條ヨリ以下附則マデ原案ニ

決シマス、第十二條別表輸入稅表第一類ヲ先ダ議題ト致シマス

○議長(長谷場純孝君) 第一類ニ付テハ委員會ノ報告ニ反対ノ通告ガアリマスカラ

シテ、其順序ニ依シテ森田勇次郎君

○森田勇次郎君 極メテ簡單ナ理由デゴザイマス、第一類第五、第六、第七、第八、

此四種ヲ總テ一割トシテアルノト同シ權衡ヲ以テ二割トアルノヲ一割ニ改メタイト云フ

趣意デゴザイマス、深イ理由ハゴザイマセヌガ、牧畜ノ保護ト云フ上カラシテ牛ニ一割ノ

高率ヲ掛けテアルト云ヘバ、山羊、綿羊、豚ノ如キ牧畜ガ未ダ我國ニ於キマシテハ寧ロ

牛馬ニ比スレバ幼稚ナモノデアリマス、此場合高イ稅ヲ掛けテ防グト云フ必要ハナカラ

ウ、之ヲ畜産業ヲ奨励スルト云フ上カラ云ヒマシテモ、良イ種類ノモノヲ廉ク入レテ廣ク

普及セシム方が畜産業が發達スルデアラウト云フコトノ上カラ半減說ヲ取ッタ所以アリ

マス、御贊成アランコトヲ請ヒマス

〔反對〕贊成ノ聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス、森田君ノ修正案ハ定規ノ贊成ガアリマス

カラ決ヲ採リマス、第五綿羊每頭「三、〇〇」トアルノヲ「一、五〇」トシ六、山羊同「二、

三〇」トアルノヲ「一、一五」トシ、七以下從價「一割」トアルノヲ「一割」トス様ニ修正ス

ルト云フ動議デアリマスガ、之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 第一類ハ委員長ノ報告通り決シマス、第二類ヲ議題ニ供シ

マス

○森田勇次郎君 第十二號米及糀ト云フノヲ修正案デハ毎百斤六十四錢ヲ一圓ト云

フコトニ改メラレタノデアリマスガ、各國ノ關稅政策ノ有様ヲ見マシテモ此米ニ付キマシ

テハ、何レモ玄米及糀ト云フモノニ六割以上ノ等差ヲ置イテ定メテ居

リマス、關稅ノ總テノ上カラ未製品、既成品、半製品ト云フモノニハ無論等差ガナケレ

バナラヌ皆ノモノデアリマス、玄米テ輸入ヲ致シテ之ニ加工シテ白米トスルト云フ上カラ

其加工ニ對シテ生ジテ來ル種々ナル副產物、或ハ糠トカ粉米ノ如キ是等ヲ利スルバカリデ

ナク、精米工賃ヲ我國ニ於テ利スルコトモ出來マス、故ニ成ルベクハ玄米ノ輸入ヲ獎勵シテ白米ノ方ヲ防グト云フ方に課スルガ宜イト思フノデアリマス、然ルトヨロ玄米、白米

總テノ之ヲ同一率ニ課スルノハ如何ニモ理由ノナイコト、思ヒマスカラ、之ニ等差ヲ定メテ玄米毎百斤ヲ一圓ト致シテ、サウシテ白米ハ之ニ相當ナル等差ヲ付ケマシタナラバ、其

宣シギラ得ルト斯様ニ思ヒマス、故ニ此點ヲ主張スルノデゴザイマス

〔反對〕贊成ノ聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 早速整爾君

(拍手起ル)

○早速整爾君 諸君、私ハ此穀類ノ稅率ニ對シテ修正ヲ加フルノ意見ヲ持ッテ居リマ

ス、十一ノ「米及初ハ之ヲ無税トスル、ソレカラ十二ノ大麥ガ「每百斤四十一錢」トアリマスノヲ「十五錢」ト修正ヲスル、次ノ「バールバー」ガ「每百斤四圓」トアリマスノヲ「二十錢」ト修正ヲスル、十六ノ小麥ガ「每百斤六十錢」トゴザイマスルノヲ「四十五錢」ト修正ヲスル、ソレカラ「十一ノ豆類ニ參リマシテ大豆ヲ無税トスル、ソレカラ「一」「五十錢」トアリマスノヲ「三十一錢」トスル、三ノ「四十錢」ヲ「三十錢」トスル、四ノ「五十錢」トアリマスノヲ「三十二錢」トスル、五ガ「四十五錢」トアリマスノヲ「二十錢」ト修正ヲスル、是ガ私ノ修正ノ簡條ニゴザイマスル、聊其修正ヲ加ヘント理由ヲ申述ベマスル、先ツ米ニ付テゴザリマスルガ（千田軍之助君「サウ云フ時代後レノ議論ハ駄目タ」ト呼フ）此米ノ輸入税ノ起リマシタノハ元ト收入ノ主義ニ基イテ戰時ニ非常特別稅ヲ設ケタル際テゴザイマス、政府ガ非常特別稅法ニ據テ輸入米ニ關稅ヲ課シマシタル理由ハ負擔ノ權衡ヲ計ルト云フコト、主トシテハ收入ヲ得タイト云フ考カラ起ツモノト私ハ考ヘテ居ルノテゴザイマス、然ルニ今日ニ於キマシテ此輸入米ニ關稅ト云フモノハ、ツマリ農業保護ノ必要上カラ起ツモノアルト總テニ解釋ヲセラレテ居ル、而シテ現ニ委員長ノ御報告ニモアリマスル如ク、農業ヲ保護スル必要ガアルト云フコトノタメニ此輸入米ニ關稅ヲ引上ケルト云フ意見サヘ今日ハ起テ參ツタノテゴザイマス（ソレハ前カラアル「ト呼フ者アリ」）私ハ農業ノ保護ト云フコトニ關稅ハ其精神ニ於テ不同意ヲ唱フルモノノテハゴザリマセメ（精神ニ於テ同意モ行動ガ達ツテハ何ニモナリマセメ）ト呼フ者アリ農事ノ改良發達ヲ計リ、農業ノ獎勵ヲシナケレバナラヌト云フコトノ如キハ私モ其精神ヲニスルノテゴザイマスケレドモ、米ノ輸入税が果シテ農業保護ノ目的ヲ達スルノ主義ニ適フヤ否ヤト云フコトハ私共ノ大ニ疑フ懷クトロデアル、私ハ此輸入税ニ依テ農業ノ保護ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイト云フコトヲ先づ諸君ニ向ツテ斷言ヲシナイト思フ、（ノウ）ノウ（ヒヤ）（ト呼フ者アリ）私が申スマテモナク輸入米ハ唯内地ノ此米ノ供給ノ不足ヲ補フニ止ルモノアル、年ノ豐凶ニ依ツテ内地ノ生産額ニ消長ガゴザイマスルケレドモ、僅々二百万石バカリノ此供給ノ不足ヲ補フタメニ、外國カラソレニ充ツルダケノ米ヲ輸入スルト云フコトニ止シテ、内地米ノ不足ノ代用ニ過ギナインデアリマス、而シテ日本ニ輸入スルトコロノ外國米ハ總テ内地ノ米トハ性質ヲ異ニシテ居ル劣等ノ米ニアツテ、勿論其價が非常ニ廉イ、其數量モ多額デハゴザイマセメ、且性質ニ於テ劣等ナル此外國米ハ初メカラ日本ノ米ノ競争者デナイ、日本ノ米ガ此外國ノ米ヲ敵トシナケレバナラヌト云フ程ノ性質ノモノテハゴザイマセメ（ノウ）（ト呼フ者アリ）全ク其需用ノ方面ヲ異ニシテ居ルト云フ點カラ申シマシテモ、内地ノ米ガ海外カラ輸入スル米ヲ敵トシテ關ハナケレバナラヌト云フ理由ハ少シモ之ヲ認メルコトが出來ヌノアル（ノウ）（ト呼フ者アリ）農業ノ保護ヲシテ居ルニスル者ハ關稅ヲ増加シテ而シテ内地ノ米ノ價ノ低落ヲ防グ、若クハ米ノ價ヲ騰貴セシメントスルノガ、其農業保護論ノ趣意ノヤウデゴザイマスケレドモ、私ハ此關稅ト云フモノヲ課スルガタメニ米ノ價ニ影響ヲスルト云フ程度ハ誠ニ薄弱デアル、或ハ寧口米價ニ對シテハ關稅ノ影響ハ無イト斷言ヲシテモ差支ナイト私ハ思フノアル、極ツテ居ル「ト呼フ者アリ」是ガ即チ諸君ガ分テ居ルト仰シヤル如ク事實上爭フコトノ出來ナイト（ゴザイマスル）（ソレハ争ヒマセメ）（ト呼フ者アリ）關稅ノタメニ米ノ價ノ上ニドレダケノ影響ガアルカト云フコトハ、諸君モ明白ニ之ヲ事實上論定サル、コトハ出來ナイ

デアラウト思フ、（「比較スレバ直ク分ル」謹聽タク）（ト呼フ者アリ）是故ニ昨年ノ如キハ非常ナル豐作トシテ誠ニ米ガ良ク出來タ、米が良ク出來ルト同時ニ米ノ價が非常ニ低落シタ、關稅果シテ何ノ作用ヲ爲シタカ、關稅ガアルガタメニ米價ノ低落ヲ防グト云フコトノ出來ナイト云フコトハ、現ニ昨年ノ實例ニ依ツテ其一斑ヲ認メルコトが出來ルノテゴザミスル、唯ノ凶年ノ場合ニ米價ニ影響スルコトハ勿論、關稅ノ作用ト云フモノガ米ノ價ノ上ニ影響スルト云フコトハ私共モ之ヲ認ムルノテゴザイマスルケレドモ、併ナガフ凶年ノ場合ニ於テハ外國ノ米ノ輸入ハ諸君ト共ニ之ヲ迎ヘナケレバナラヌト云フ場合アル、即チ諸君が専念ヲ設ケントセラル、趣意モ、凶年ノ場合ニハ即チ外國ノ米ノ輸入ヲ迎ヘナケレバナラヌト云フ次第ゴザイマスルカラ、豐年ノ場合ニハ關稅ハ何ノ作用モ致シマセヌ、因作ノ場合ニハ關稅ヲ廉クシナケレバナラヌト云フコトニナレバ、茲ニ關稅ヲ増加シナケレバナラナイト云フ理由ハ全ク消エテシマフノアルト私ハ思フノアリマス、假リニ一步ヲ讓リマシテ、此關稅ハ米ノ價ニ影響ヲスルモノト私ハ假ニ定メマスガ、果シテ關稅ニ依ツテ米價ヲ騰貴セシムルト云フコトニ相成リマスレバ、ソレヨリ私ハ誠ニ飛シテモナイ話ニアル思フノアル（ノウ）（ノウ）（聲起ル）諸君申スマテモナク米ハ人類ノ最モ必要ナル生活資料デゴザイマスル、此生活資料ノ價ヲ高クスルト云フ――必要ナル生活資料ノ價ヲ高クスルト云フコトハ、取りモ直サズ人間ノ生活ニ向ツテ課稅ヲスルト同様デアル、私ハ此位劣悪ナル課稅ト云フモノハ他ニ其類ヲ見出スコトが出來ナインテアリマス、殊ニ一般ノ貧民ニ對シテ生活ノ資料ニ稅ヲ課スルト云フコトハ、最モ残酷ナル課稅アルト私ハ斷言スル、申セバ國民ノ糧道ヲ狹メルト云フコトニ相成ルノアル、私ハ此點ニ於テハ寧ロ此課稅ハ不正アルト断言シタク、一般國民ヲ苦メル點カラ申シマスレバ、寧ロ人道問題ヲ叫バナケレバナラヌト私ハ思フノアル、元來保護ノ極意ハ一般ノ國民ノ生活ヲ易クスルニアラネバナラヌ、人間ノ生活ノ基礎ニ向ツテ誅赤ヲ加ヘルト云フコトハ元來カラ云ハ保護ノ極意ニ反シテ居ルト言ハナケレバナラヌノアル、此ノ如キハ實ニ多數國民ヲ賊スルノ甚シキモノノアルカ、私ハ此米價ノ騰貴ト云フコトガ實ニ國家ノ經濟ニ對シテ大害ヲ與ヘルモノノアルト断言ヲシナケレバナラヌ、分リ切ツタル話デゴザリマシテ、米價ヲ騰貴、一般商品ノ騰貴ト云フコトニ相成シテ參リマスレバ、其商工業ノ社會ニ對スル弊害ト云フモノハ果シテ幾許デアルカ、私ハ此米價ノ騰貴ト云フコトガ實ニ國家ノ經濟ニ對シテ大シマスレバ、ソレガタメニ更ニ他ノ物價ノ騰貴ヲ招イ、貯銀ノ騰貴、生産費ノ騰貴、一般商品ノ騰貴ト云フコトニ相成シテ參リマスレバ、其商工業ノ社會ニ對スル弊害ト云フモノハ果シテ幾許デアルカ、私ハ此米價ノ騰貴ト云フコトガ實ニ國家ノ經濟ニ對シテ大害ヲ與ヘルモノノアルト断言ヲシナケレバナラヌ、分リ切ツタル話デゴザリマシテ、米價ヲ騰貴セシメテ勞働賃銀ヲ騰貴セシメ、生産費ヲ騰貴セシメ、一般ノ商品ノ價ヲ騰貴セシムルト云フコトニ相成リマスレバ、ソレガタメニ商工業社會ニ於ケルトコロノ打擊ハ固ヨリ少少ニアラズト言ハナケレバナラヌノアル、而シテ此ノ如ク國家ノ經濟ニ害スルモノ願ミズ、併ナガラ私ノ信ズルトコロヲ以テ致シマスレバ、此米價ノ騰貴ノタメニ利益スルモノ願ミズ、少數ノ農民ニ止マル（ノウ）（ト呼フ者アリ）單ニ農民ト申シマスガ、農民ノ中ニモ幾占メルノハ小農夫、小作人デゴザリマス、此小農夫、小作人ハ何レカト申シマスレバ即チヤハリ采ノ需用者アル（「大間違」ト呼フ者アリ）即チ米ヲ買ウテ喰ハナケレバナラヌト信ジテ居ルノテゴザリマス（ノウ）（ト呼フ者アリ）諸君、多數ノ農民ハ何レモ米ヲ買ウテ喰ハナケレバナラヌ、即チ米ノ需用者アル、申スマテモナク農民ノ中ニモ最モ多數ヲ占メルノハ小農夫、小作人デゴザリマス、此小農夫、小作人ハ何レカト申シマスレバ即チヤハリ采ノ需用者アル（「大間違」ト呼フ者アリ）即チ米ヲ買ウテ喰ハナケレバナラヌト信ジテ居ルノテゴザリマス（ノウ）（ト呼フ者アリ）諸君、多數ノ農民ハ何レモ米ヲ買ウテ喰ハナケレバナラヌ、即チ此小農コロノ地位ニ居ルトコロノモノテゴザリマスルカラ、米價ノ騰貴ト云フコトハ、即チ此小農夫、小作人ニ對シテハ更ニ生活上ノ打擊ヲ加ヘルモノノアルト申サナケレバナラヌノアル

ル、私ハ一般ノ農民が非常ニ疲弊ヲシテ居ルト云フコトハ之ヲ認メテ居ル、此疲弊ニ加フルニ一般農民ノ生活難ヲ以テスル、即チ米ノ價ヲ騰貴セシメテ、多數ノ農民ヲ苦メルト云フコトハ、私ハ實ニ此關稅增加論者か如何ニモ農民ニ對シテ殘酷アルト思フノデゴザリマス（ヒヤ／＼ト呼フ者アリ、拍手起ル）私ハ思フ、總テ物價ノ騰貴ト云フコトニ相成ラズ參リマスレバ、少數ノ地主ト雖モ或ハ不利益ヲ感ズルコトガアルカモ知レナイ、關稅ノタメニ農民ヲ保護スルト云フトコロノ諸君ハ、關稅ノタメニ却ア農民ヲ苦メルトヨロノ諸君テアルト私ハ斷言致シタイノデアル（ヒヤ／＼ノウ＼＼ト呼フ者アリ）要スルニ此米ノ稅ヲ増加スルト云フ議論ハ、國民ノ多數ヲ犠牲ニシテ國家經濟ノ危険ヲ招ク所以アル、實ニ百弊ノ淵源デゴザリマシテ、米ノ課稅ヲ増加スルト云フコトハ實ニ百弊アルト私ハ斷言致シタノ議論テアルト私ハ斷言スル（ソレハ君一人ノ論ダト呼フ者アリ）斯様ナ次第テゴザリマスルカラ、此輸入米ニ對スル課稅ハ單リ之ヲ増加スベカラザルノミナラズ、之ヲ全廢スルト云フコトガ即チ國家ノ利益アル——國家經濟ノ利益アル、而シテ多數ノ農民ノ利益モ亦之ニ外ナラズト私ハ信ズルノデゴザイマス、此十二三於ケル米及初ノ稅ハ全部之ヲ無稅トスルト云フコトヲ私ハ主張致スノアル、ソレカラ其他ノ穀類ニ對シマスル稅率ノ輕減モ、要スルニ一般ノ食料品タルベキ品物ニ向シテ重き稅率ヲ課スルノハ間違テ居ルト同シテ、之ヲ輕減スルノ必要ト云フ理由由下ニ、穀類ノ稅率モ輕減スペキモノデアルト云フ意見ヲ持テ居ルノアリマス、殊ニ豆類ノ大豆ヲ無稅トスルト云フコトハ、即チ此大豆ノ輸入ト云フモノハ日本ノ製造業ノタメニ之ヲ迎ヘナレバナラズト云フ意見カラ、私ハ此無稅論ヲ主張スルノアリマス、大豆ノ日本内地ニ於ケル消費高が非常ニ増加シテ参リマシタ今日ニ於テハ、大豆ノ消費高ト云フモノハ日々增加ラ致シテ居ルト云フ狀況デゴザイマス、從ツテ大豆ノ輸入ハ内地ノ製造業ノタメニ之ヲ迎ヘナレバナラズト云フ形勢ニナシテ居ル、ソレニモ拘ラズ、日本内地ニ於ケル大豆ノ生産ハ或ル一地方ニ限ラレテ、治ク需用ニ應ズルコトガ出來ナイト云フ現況ニナカテ居リマス、是ハ總テ製造ヲ獎勵スルタメ大豆ノ輸入ニ對シテハ重き稅ヲ課スルノハ經濟上不得策ト考ヘルノアル、ソレニ準シテ小豆モヤハリ大豆ヲ無稅ニスルト云フ同等ノ理由テ稅率ヲ輕減スルト云フコトガ一般國民ノタメニ利益アルト信ズルノデアル、以上ノ理由テ第二類ノ穀類竝ニ豆類ニ對シテ修正意見ヲ提出致シタノデゴザイマス、諸君ノ御贊成ラ希望致シマス

○議長（長谷場純孝君） 吉植庄一郎君

（吉植庄一郎君登壇）

○吉植庄一郎君 諸君、本問題ハ既ニ政友會多數ノ贊成スルトコロトナリ、又中央黨ノ諸君ノ贊成スルトコロトナリ、進歩黨諸君ノ贊成スルトコロトナリ、僅ニ殘骸ヲ止メテ居ル又新會諸君ノ極メテ少數ノ分子ニ反對ガアルダケアルノデ、最早是等ノ議論ニ耳ヲ藉スノ必要ハナイノデ、大勢既ニ定マリ、衆議院大多數ハ此案ヲ歓迎致シテ居ルノデアリマス、若シ或ル一部ノ人ノ如ク、同一ノ議論ヲ度ニ繰返スコトヲ能事トスルナラバ卒ザ知ラズ、行ハルト云フ以上ハ敢テ多言ノ必要ハナイノデアル、本員等ノ主張ハ幸ニ常ニ天下ノ多數ノ贊同ヲ得ルノ光榮ヲ有スルガタメ、饒舌多辯ヲ以テ名ヲ賣ルモノトハ選ヲ異ニスルノデアル、昨年ノ議會ニ一部ノ反對論者ノ列舉シタ反對理由ハ八箇條アリマシタ、其第一ハ本案ハ百姓黨、百姓論デアルト云フコト、第二ハ重農主義ハ陳腐テ、現世紀ノ商工主義ニ反スルト云フコト、第三ハ米價ノ騰貴ヲ來シ、更ニ勞銀ノ騰貴ヲ來シ、商工業ノ發展ヲ阻礙スルト云フコト、第四ハ是ト正反對ニ關稅ヲ引上ゲテモ米價ニハ影響ラシナイ、隨テ農民ヲ益セズト云フ唯今ノ議論ト同シデアル、第五ハ

米作ヲ保護シテモ將來發展ノ餘地ガナイト云フコト、第六ハ韓國ノ米作ヲ壓迫シ、其拓殖開發ヲ阻礙スルト云フコト、第七ハ内地凶作ノ場合ニ米價ノ暴騰スルノヲ防グコトが出來ナイト云フコト、第八ハ關稅政策ノ根本義トシテ保護主義ハ宜シクナイ、自由貿易主義ガ宜シトイト云フコトデアル、之ニ依リテ一日ノ論戰ヲ試ミラレタガ、之ニ對シテミナラズ、之ヲ全廢スルト云フコトガ即チ國家ノ利益アル——國家經濟ノ利益アル、而シテ多數ノ農民ノ利益モ亦之ニ外ナラズト私ハ信ズルノデゴザイマス、此十二三於ケル米及初ノ稅ハ全部之ヲ無稅トスルト云フコトヲ私ハ主張致スノアル、ソレカラ其他ノ穀類ニ對シマスル稅率ノ輕減モ、要スルニ一般ノ食料品タルベキ品物ニ向シテ重き稅率ヲ課スルノハ間違テ居ルト同シテ、之ヲ輕減スルノ必要ト云フ理由由下ニ、穀類ノ稅率モ輕減スペキモノデアルト云フ意見ヲ持テ居ルノアリマス、殊ニ豆類ノ大豆ヲ無稅トスルト云フコトハ、即チ此大豆ノ輸入ト云フモノハ日本ノ製造業ノタメニ之ヲ迎ヘナレバナラズト云フ意見カラ、私ハ此無稅論ヲ主張スルノアリマス、大豆ノ日本内地ニ於ケル消費高が非常ニ増加シテ参リマシタ今日ニ於テハ、大豆ノ消費高ト云フモノハ日々增加ラ致シテ居ルト云フ現況ニ對シテ修正意見ヲ提出致シタノデゴザイマス、諸君ノ御贊成ラ希望致シマス

○議長（長谷場純孝君） 吉植庄一郎君

（吉植庄一郎君登壇）

○吉植庄一郎君 諸君、本問題ハ既ニ政友會多數ノ贊成スルトコロトナリ、又中央黨ノ諸君ノ贊成スルトコロトナリ、進歩黨諸君ノ贊成スルトコロトナリ、僅ニ殘骸ヲ止メテ居ル又新會諸君ノ極メテ少數ノ分子ニ反對ガアルダケアルノデ、最早是等ノ議論ニ耳ヲ藉スノ必要ハナイノデ、大勢既ニ定マリ、衆議院大多數ハ此案ヲ歓迎致シテ居ルノデアリマス、若シ或ル一部ノ人ノ如ク、同一ノ議論ヲ度ニ繰返スコトヲ能事トスルナラバ卒ザ知ラズ、行ハルト云フ以上ハ敢テ多言ノ必要ハナイノデアル、本員等ノ主張ハ幸ニ常ニ天下ノ多數ノ贊同ヲ得ルノ光榮ヲ有スルガタメ、饒舌多辯ヲ以テ名ヲ賣ルモノトハ選ヲ異ニスルノデアル、昨年ノ議會ニ一部ノ反對論者ノ列舉シタ反對理由ハ八箇條アリマシタ、其第一ハ本案ハ百姓黨、百姓論デアルト云フコト、第二ハ重農主義ハ陳腐テ、現世紀ノ商工主義ニ反スルト云フコト、第三ハ米價ノ騰貴ヲ來シ、更ニ勞銀ノ騰貴ヲ來シ、商工業ノ發展ヲ阻礙スルト云フコト、第四ハ是ト正反對ニ關稅ヲ引上ゲテモ米價ニハ影響ラシナイ、隨テ農民ヲ益セズト云フ唯今ノ議論ト同シデアル、第五ハ

本員、竝ニ吾ニ同志ヨリ痛烈ナル反擊ヲ與ヘテ、其結果、昨年ハ本年程多數ノ贊成シテ説明——反對セラル、ニ、政府ハ慎重審議ノ上現在ノ稅率ヲ適當ト認メタ故ニ、引上ニハ反對スルト云フ、誠ニ簡單ナル辯明デアル、今日又此議場ニ於テ小村外相が答辯セラル、トコロモ亦前言ヲ繰返サル、ノテ、此重大ナル複雜ノ問題ニ向シテ反對ノ理由トシテ述ベラル、トコロガ實ニ此ノ如ク簡單ナモノデアル、若シ是ガ外交の修辭トシテ見マシタナラバ、正ニ小村君ノ答辯ハ三昧ニ入ッタモノノアリマセウ、併ナガラ苟モ此ノ如キ重大ノ關係アル問題ニ付テ、國民ト胸襟ヲ披イテ得失ヲ論ズルニ方ニテ、外交的辭令ヲ以テ不得要領ノ間ニ反對セラル、ト云フハ、立憲國ノ大臣トシテ甚ダ惜マザルヲ得ヌノアル、殊ニ此反對が單ニ小村外相一個ノ意見デアルナラバ、尙怒スペキアルガ、併シ此ノ如ク簡單ナル答辯以外ニ、反對スルコトヲ敢テシナイト云フ理由ハ、尙深キ處ニ伏在シテ居ルコトヲ認メルノテアル、即チ桂内閣が農業政策……全國ニ三千五百万ノ大多數ヲ持テ居ル農民ニ對スル政策が根本ニ於テ誤シテ居ル、其誤タル根本ヨリ出テタル關稅案デアリマス故ニ、之ニ對スル明白ノ答辯ヲ政府がナスコトが出來ナリ、此答辯ヲナスニ於テハ全國ニ三千五百万ノ農民ノ怨府トナルコトヲ恐テ、曖昧模棱ノ中ニ反對ヲスルモノト斷定セラル、ノテアル、決シテ本員ハ自己ノ想像ヲ以テクヲ言フノハナキ、政府が責任ヲ以テ提出シタコロノ案ヲ調ヘテ見マスルニ、本員ガ桂内閣ノ眞意ヲ疑フトコロノモノハ灼トシテ證據ガアル、第一ニハ桂内閣が稅法ノ整理ヲシテ國民負擔ノ均衡ヲ圖ルト稱シナガラ、最モ大切ナル地租輕減ヲ試ミズシテ、此負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ中カラ特ニ地租ト云フモノヲ除イテ、地租輕減ヲ圖ラカッタト云フコトハ、是ハ桂内閣が如何ニ辯解シテモ農民ニ對シテ誠意ノ無イト云フ動スベカラザル證據デアル、第二ニハ本年總テノ索ニ付テ國民負擔ノ輕減ヲ圖ルノ趣意ニ於テ諸案ヲ提出シテ拘ラズ、災害地ノ免租ノ法律案ニ於テ既得ノ農民ノ權利ヲ疎闊セントスルノ提案ヲ致シタノデアル、又地目變換ノ案ニ於テモ現狀ヨリハ尙多ク痛苦ヲ農民ニ與ヘントシテノデアル、第二ノ證據ハ今回此議場ノ問題トナシテ居ルトコロノ關稅案ニ於テ、我政府が我國ノ產業ト云フモノニ對シテハ殆ド有ラユルモノニ向シテ保護政策ヲ執テ、收入主義ト保護主義ヲ折衷シテ有ラユルモノニ向シテ内國產業ノ保護ヲ試ミテ居ル、而シテ些々タル食料品ノ如キモノマテモ、悉ク保護的ノ關稅率ヲ課シテ居ル、然ルニ單リ此保護主義、收入主義ヨリ農民ヲ除外シテ、農業者ノ生產スルトコロノ米麥其他ノ農產物ダケラズ外シタ云フニ至テハ、何ノ辭ヲ以テシテモ現内閣が農業者ニ對シテ全ク權兒扳ニシテ居ルト云フコトハ動カスベカラザル證據デアル、尙阿波ノ天然藍ノ如キニ至テモ、唯今政府ハ鱗寸輸出ノ原料ニ對シテ是非トモ工業ノ獎勵ノタメニ此無稅ハ飽マテモ主張シナケレバナラズト云フ口ニ於テ、日本ノ一大產業タル天然藍ニ對シテハ自

由競爭ノ下ニ自然ニ消滅セシムルトコロノ主義ヲ執テ居ルノデアル、是レ即チ農業者ノ利害ニ向テ全ク盲目ナルトコロノ證據アリマス、桂内閣が殊更ニ農業者ニ對シテ此ノ如ク不親切冷淡極マル所ノ提案ヲ敢テスル所以ノモノハ、抑原因ガアルト思フノアル、本員ハ豫算總會ニ於テ桂首相ニ質問スルニ方ッテ、桂内閣ノ公債政策ハ多大ノ犠牲ヲ拂フタリト云フコトヲ言ツテ置イタ、實ニ現内閣ハ公債整理ト云フコトヲ努メルタメニハ言フベカラザル多大ノ犠牲ヲ拂フテ居ルノデアル、此犠牲ヲ拂フマテモ何故ニ政府ガ此公債政策ニ腐心スルカ、此根本ノ誤レルコトハ一言致サナケレバ相成ラヌト思フノアリマス、此桂内閣ガ何故ニ此ノ如ク誤タル政策ヲ執テ來ダカト申シマスト、公債ノ騰貴、公債ノ整理、此問題ハ勢ヒ中央都會ニ住シテ居ルトコロノ銀行家、商工業者、此力ニ賴ラナケレバナラヌノデアル、地方ニ散在シテ居ル農民ノ零碎ナル財囊ヲ當テニスルコトハ出來ヌト云フコトガアル、是ニ於テ現内閣ノ政策ノ結果トシテハ、努メテ中央都會ニ住シテ居ル銀行家、實業家ノ歡心ヲ買ハナケレバナラヌト云フコトニナッテ來タノデアル、サウジア凡ソ物一方ニ偏スレバ一方ノ方ハカラアキニナッテ來ル、此公債政策ニ腐心スルノ結果、一部ノ實業家、一部ノ銀行業者ニ對シテ、即チ天下ノ富豪ニ結ブト云フコトニ力ガ入ルト同時ニ、天下多數ノ農民ノ利害ハ當面ノ急トシテ顧ミルコトが出來ナカッタノデアラウト思フ、又此當面ニ於ケル桂内閣ノ生命タル公債整理ノタメニ此ノ如キ必事が起ツタノミナラズ、更ニ進シテ桂卿ノ心事ヲ忖度スルナラバ、今ヤ松方、井上ノ二元老ハ老衰セラレテ、經濟界ニ於ケル所謂富豪連ノ中心點が漸ク他ニ移ランストルノ形勢ヲ生ジテ來タノデアル、桂卿ハ將來ノ地盤ヲ作ランガタメ、將來ノ政治的命運ヲ如何ナル處ニ扶植センカト云フコトニ付テ燐眼ナル桂卿ハ此所へ著目セラレタ、而シテ此松方、井上二侯ノ後ヲ繼イテ、富豪ノ中心トナシテ、茲ニ勢力ヲ扶植セントスル將來ノ計畫ニ對シテハ、又勢ヒ富豪ノ歡心ヲ買ハナケレバナラヌカラ、地方ニ居ル農民ヲ顧ミサルコトニナルノハ當然ノ結果デアルト思フノデアル、此桂内閣ガ執タロコノ方針ハ誤ルニモセヨ、誤ラザルニモセヨ、此結論トシテハ遂ニ地租ノ如キ、若クハ今回ノ關稅案ノ如キ、多數ノ農民ノ痛苦ヲ現状ノ間ヨリ救フコトヲ努メシテ、冷然トシテ之ヲ見テ居ルト云フコトハ、今申シタコロノ動機ヨリ生ジテ來タトコロノ產物デアルト思フノデアリマス、此政策ノ誤レルコトハ、即チ桂卿ガ政治家トシテ僅ニ公債整理ナル半面ノ眞理ヲ認識シタニ過ぎシテ、他ニ重大ナル農業ノ問題ヲ閑却シタカラニアル、是ハ所謂鹿ヲ逐フ獵師ノ山ヲ見ザルモノデアル、又凝ツテハ思案ニ能ハズアル、桂卿ノ聰明ニシテ公債政策ニ腐心スルノ結果ハ遂ニ尙大ナル問題ヲ忘レテシマジタノデアルト本員ハ認メルノデナル、之ガタメニ諸君ト吾々ハ、地租輕減ノ問題ニ付テ内閣ヲシテ賛成セシメタデハアリマセヌカ、是ハ即チ議會ガアズ初メテ是ガ出來タノデアル、政府ニハ寸毫モ此意思ガ無カツタノデアル、諸君、併ナガラ桂内閣が今申シクヤウナ理由ニ依ツテ之ニ反対スルノ理由ヲ有シテ居ルデアラウト思フ、ソレハ唯今ト部君カラ論セラレタトコロノ關稅ニ於テ、米ノ稅ヲ上ゲルトキニハ勞銀ノ騰貴ヲ來シ、延イテ商工業ノ發達ヲ阻礙スル、此理由ヲ以テ表面ノ金科玉條トセラレルモノニ相違ナシ、此以外ニ理由ヲ見出スコトが出來ナイ、然ラバ此一點ダケハ聊辯シテ置カナケレバナラヌト思フ、此關稅ヲ引上ゲレバ米ノ直段が上ル、上レバ勞銀が騰貴スル、勞銀ノ騰貴ハ商工業ノ發達ヲ阻礙スル、此單純ノ論理ハ誤ツテ居ラス、此通りテアル、唯今早速君ハ米ノ率ヲ上ゲテモ米價ハ騰貴シナイ、農民ヲ利益シナイト云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、之ヲ言フナラ反対シナクテモ宜イノデアル、上レコトヲ知ツテ居ルが故ニ、商工政策ニ非常ニ害ガアルト云ツテ絶叫サレタノデアル、是ハ至當ナル理窟ニアリマス、併ナガラ凡ソ政治上ノ問

題、經濟上ノ問題ハ絕對的ノ眞理、若クハ不眞理ト云フモノハナイ、必ず比較的ノモノデアル、雙對的ノモノデアル、絕對ニ之ヲ正、之ヲ邪ト云フガ如ク、明白ナル區分ハ決シテ政治上、若クハ經濟上ノ問題ニハナイ、殆ドナイト謂テ宜シイ、故ニ此議論モス、一部ノ眞理ハ含シテ居ルニ違ヒナイガ、更ニ實際ニ立入ツテ此影響ヲ顧ミナケレバナラヌ、大層聲ヲ大ニシテ論ゼラレマスルケレドモ、本案ニ付テ増加シタルトコロノ米ノ稅ハ僅三百斤ニ付テ三十六錢、是ハ一日一人ニ致シマスレハ一厘五毛ニアリマス、労働者一家ニ四八人ノ家族ヲ有スルト致シマシテモ、一日一錢ノ増加ニ過ギナインデアルガ、此腐心スルノ結果トシテ、即チ天下ノ富豪ニ結ブト云君、水ハ山ヲ覆ス、船ヲ覆没セシムル、非常ナル亂暴ヲ働くベキモノデアル、サウ云フ力ヲ持シテ居ルモノデアル、併ナガラ此一滴ノ水ハ硯水ニモ足ラヌデハアリマセヌカ、成程米價ガ一時三十圓モ十五圓モ一石ニ付テ騰貴シタナラバ、ソレハ大變ナ事デアルガ、此案ニ依ツテ僅ニ一日二厘五毛ノ増加ガアツタ致シマシテ、是ガドレ程經濟社會ニ反響ヲ及ボシマスカ、ドレ程勞銀ニ影響ヲ及ボシマスカ、一厘五毛ハ一厘五毛ニアリマセヌカ、之ヲデス、唯是ホドノ小ナル事實ヲ捉ヘ來テ商工業ノ發展ヲ阻礙スルモ凄マジイモノデアル、是ガ即チ又新會一派ノ空言ト申スモノデアリマセウト思ヒマス（拍手スル者アリ）諸君、獨逸ノ如キハ全人口ノ百分ノ四十三ハ農民デアリマス、即チ我百分ノ七十以上ニ對シテハ、獨逸ノ如キハ農民ノ數ハ百分ノ四十三ニ過ギナインデアル、又獨逸ガ商工業ヲ中心トシテ政策ヲ執ツテ居ルトコロノ國ニアル、此獨逸が日露戰爭ノ場合ニ於キマシテハ如策ヲ採ツテ、世界到ル處ニ自國ノ生産品ヲ賣付ケントシテ努力メツ、アルコトハ、是亦諸君ノ明カリトコロデアル、獨逸ハ必シモ重農主義ニ國ニハナイ、寧ロ商工業ヲ中心トシテ政策ヲ執ツテ居ルトコロノ國ニアル、此獨逸が日露戰爭ノ場合ニ於キマシテハ如ノ報酬トシテ露西亞ノ國境ノ防備ヲ減ズルト云フコトヲ條件トシテ、此下ニ多年露諾西亞ガ執ツテ屈セサルトコロノ關稅、世界ハ正ニ東洋ノ大禍亂ニ付テ驚心駭目シテ舉措ヲ失シツ、アルノ場合ニ於テ、燐眼ナル獨逸皇帝ハ露西亞ニ向シテ深厚ナル同情ヲ寄セ、而シテ多年ノ懸案トナッテ露獨ノ間ニ蟠ツテ居ツタコロノ關稅問題、露國ニ對スル厚意ノ報酬トシテ露西亞ノ國境ノ防備ヲ減ズルト云フコトヲ條件トシテ、此下ニ多年露諾西亞ガ執ツテ屈セサルトコロノ關稅、農產物及食料品、即チ歐露ニ於テ盛ニ產出スルトコロノ農產物及食料品ノ國境ヲ越ヘテ獨逸ニ入ツテ來ルモノニ向シテ、殆ド絕對的ノ禁止稅ヲ課シタ、非常ニ重稅ヲ課シテ、露西亞ノ國境ヨリ獨逸ノ國境ニ將來、是モ露西亞ノ農產物ノ入ルコトが出來ナイト云フガ如キ絕對ノ禁止ノ協約ヲ結シテ、是ト同時ニ左ノ手ニ於テハ自國ニ於テ生産スルトコロノ總アノ生產品、加工品、即チ商品ヲ無稅同様ニ露西亞ノ國境ニ侵入スルコトが出來得ベキ契約ヲ結シダノデアル、實ニ空論ヲ唱ヘテ喜シテ居ル時代ニ、彼ハ直ニ左ノ手ニ於テ實效實力アルノ協約ヲ結シテ居ルノデアリマス、諸君、獨逸ハ決シテ重農ノ國ニヤナイ、農業立國ヲ主義トシテ居ル國ニヤナイ、併ナガラ尙且自己ノ農業ヲ保護セシムガタメニハ此ノ如キ機會ヲ利用シテ電光石火ノ効ヲ爲シツ、其目的ヲ遂ゲテ居ルノデアリマス、小村外務大臣ノ如キハ不得意ナル關稅論ニ付テ御議論ナサルヨリモ、須ラク此獨逸ノ外交ニ學シテ可ナリト思フノアリマス、尙終ニ臨シテ國民黨ノ諸君子ニ一言シタイト思フ、今回國民黨ナルモノが出來ルサウデ、實ニ吾々純民黨ナルモノ、出來ルコトヲ非常ニ歡迎シテ居ルト同時ニ、此民黨ハ主義ノ結合デアル、主義綱領ノ下ニ集ルモノデアル然ルニ此產業政策ノ根本タル關稅ノ問題ニ對シテ、元ニ進歩黨ノ諸君ハ關稅增加ヲ可ナリトシ、又新會一部ノ諸君ハ是ハ絕對ニ廢サナケレバナラヌト云フ水火モ管ナラヌトコロノ反對ノ意見ヲ持シテ居ルノデアル、是ハ將來ニ於テ大ニ諸君ノ健全ナル發達ノタメニ大ナル障礙デアルト思ヒマスカラ、能ク分ラヌ人ニハ分ツタ人カラ言ウテ御聽カセナスシテ、サウ云フ間違ノ將來起ラザルヤウニ御注意アランコトヲ希望スル、是ハ諸君ノ健在ノタメニ言ウノデア

ル（拍手起立）

石橋爲之助君

○議長（長谷場純孝君） 石橋爲之助君

○石橋爲之助君 本員ハ此席カラ簡單ニ自分ノ意見ヲ述ベマス、本員ノ意見ハ米及
糀、茲ニ大豆ヲ無税ト爲スノ意見ニアリマス、其理由ハ詳シク述レバ早速君ノ説ト重
複スル所ガ多クアリマスカラ、已ニ辯明サレタ分ヲ除キマシテ、唯一點ヲ述ベルコトニ致シ
マス、此米ニ對シテ輸入税ヲ課シタ歷史上ノ事實カラ考ヘマシテ、彼ハ日露戰争ノ非常
ナル際ニ、非常特別稅トシテ地租ニ増加ヲ致シマシタ、其代リトシテ輸入稅ヲ課シタモ
ノデアルガ故ニ、此度地租ニ於テ多少ノ輕減ヲ致シマスナラバ、ヤハリ此稅ハ撤去致スベ
キガ至當デアラウト考ヘルノデアリマス、尙大豆ノ方ニ付テ一言ヲ加ヘマス、大豆ハ種々
ノ食料品トシテ用井ラル、ノデアリマスガ、今日大豆ノ代リニ豆粕ヲ以テ其代用ヲシテ居
ル部分ガ澤山ニアルノデアリマス、或ハ豆腐或ハ味噌、或ハ醬油、此ノ如キ日用品ヲ製
スルニ、牛馬ノ食料品タルトコロノ豆粕ヲ以テ製造シテ、之ヲ吾國民ニ喰ハシツ、ア
ル今日ノ狀態ニアリマス、是ハ實ニ日本國民ノ健康上、健康保全ノ上カラ申シテ決シ
テ輕々付スルコトガ出來ナノイテアル、若シ大豆ヲシテ安價ニ購入スルコトヲ得セシ
ムルナラバ、斯ル弊風ハ自ラ消滅スルニ至ルコト、思ヒマス、故ニ此大豆ヲ無税トシテ、
國民ノ健康保全ヲ圖ランコトヲ希望スルノデアリマス

〔討論終結〕採決「ト呼フ者アリ」

○内藤魯一君 議長

○議長（長谷場純孝君） アナタハマダ何カ御議論デスカ——アナタヨリ前ニ通告ガア
リマスカラ、マア御控ヘ下サイ 東武君

○東武君 私ハ演説ヲ止メマシテ、更ニ討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々「ト呼フ者アリ」〕

○議長（長谷場純孝君） 今東君ノ通告ガアリマスケレドモ、演説ヲ止メテ進ンテ討論
終結ノ動議ヲ提出サレマシテ、贊成ガアリマス、討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナイト認メマスカラ、即チ第二類ヨリ總テノ修正說ガ出テ居リマス
ス、ソコテ第一類ノ採決ニ付テ委員長ノ報告、及森田勇次郎君其他ノ修正案、ソレ
カラ早速整爾君其他ノ修正案ガ出テ居リマス、是ハ即チ修正案其モノニ付テ採決ヲ致
レマス、第二類中ノ十二、米及糀ヲ早速君其他ハ無税ニスルト云フ最モ原案ニ遠イ修
正デアリマスカラ、是ニ付テ採決ヲ致シマス、早速君ノ説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長（長谷場純孝君） 少數、森田君ニ此場合御諮詢致シマスガ、此米及糀ト云フ此十一ハ委員長ノ報告ニ他ハ

○議長（長谷場純孝君） ソレデハ即チ米及糀ト云フ此十一ハ委員長ノ報告ニ他ハ
御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○森田勇次郎君 異議ハゴザイマセヌ

○議長（長谷場純孝君） ソレデハ御異議ガナイト認メマス、其君ハ起立者少數

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナイト認メマスカラ委員長ノ報告通り決シマス、其君ハ起立者少數

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナイト認メマスカラ委員長ノ報告通り決シマス、其君ハ起立者少數

云フ修正ノ動議が出て居リマス、是ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長（長谷場純孝君） 少數——ソレカラ十二、十四、十六、二十一——一、二、
三、四、五、即チ之ヲ細カニ讀ミマスルト云フト、第二類中ノ十三、大麥毎百斤ヲ「〇、
一〇」十四「一、〇〇」十六「〇、四五」二十一「〇、豆類ト云フ此中ノ大豆ヲ無税、ソレカ
ラ一、小豆、每百斤「〇、三一三、蠶豆、「〇、三〇」四、綠豆「〇、三一」五、豌豆、
「〇、三〇」ト修正シタトイ云フ説が出て居リマス、是ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長（長谷場純孝君） 少數——委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長（長谷場純孝君） ソレデハ第二類ハ總テ委員長ノ報告通決シマス、第二類ヲ
議題ト致シマス

○議長（長谷場純孝君） 少數——起立者少數

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長（長谷場純孝君） ソレデハ第三類以下一括致シマシテ、修正意見ノアリマスモノハ一括シテ修正意見ヲ述ベテ、決ヲ採
ル場合ニ別々ニ採決スルト云フコトニナスッタラ、大議事ノ進行上都合が宜カラウト思ヒ
マスカラ、此動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々「ト呼フ者アリ」〕

○議長（長谷場純孝君） 今森田君ハ、即チ第三類ヨリ總テノ修正說ガ出テ居リマス
ガ——森田君ノ方ハ修正ハ少ナイガ早速君其他ノ修正ハナカニ澤山ノモノデアル、
之ヲズット一緒ニ述ベマスルトキハ却テ長クナルカトモ思ヒマス、併ナガラ諸君ガ一括シテ
此修正ノ説明ヲサレルト云フコトニ御同意ナレバ其通致シマス

〔贊成々々「ト呼フ者アリ」〕

○議長（長谷場純孝君） 今森田君ハ、即チ第三類ヨリ總テノ修正說ガ出テ居リマス
ガ——森田君ノ方ハ修正ハ少ナイガ早速君其他ノ修正ハナカニ澤山ノモノデアル、
之ヲズット一緒ニ述ベマスルトキハ却テ長クナルカトモ思ヒマス、併ナガラ諸君ガ一括シテ
此修正ノ説明ヲサレルト云フコトニ御同意ナレバ其通致シマス

〔贊成々々「ト呼フ者アリ」〕

○議長（長谷場純孝君） ソレデハ御異議ガナイト認メマス、森田勇次郎君

〔森田勇次郎君登壇〕

○森田勇次郎君 修正意見ヲ提出シテ置キマシタガ、詳シク數字ヲ申述ヘマシテハ却
テ煩苛ニ至リマスル故ニ、議長ノ手許ヘ數字ノコトハ詳シク書キ現ハシテゴザイマス、大
體ヲ重モナルコトニ付キマシテ修正說ノ大要ヲ申述ヘマス、我國ノ國情ニ照シマシテ、關
稅策ノ上三產業保護主義ヲ取ルト云フ事柄ハ、或ル程度マテハ誠ニ是ハ必要ナルコト、
思ヒマス、併ナガラ其保護ノ方法タルヤ餘程宜シキヲ得ナケレバナラヌト思フノハ、例へ
バ製造工業ノ原料ニ用ユキ原料品ノ製造者ガアル、此原料ヲ用井アリヨリノナル加
工ヲシ、即チ澤山ノ製造ヲ爲ス事業ガアル、原料ノ製造品、即チ少數者ヲ大ニ保護シ
テ、此原料ヲ用井テ多くの製造ヲシテ、貿易品ヲ造出ス方ノ側ニ迷惑ヲ掛け、又其商
品ヲ需用スルトコロノ多數ノ國民ニ重キ稅ヲ課スルト云フ事柄ハ、私ハ關稅策ノ宜シキヲ
得タルモノナイト思ヒマス、而シテ又總テノ品目ノ中ニ付キマシテ、食糧品ノ如キ、或
ハ唯今申述ベタル原料品ノ如キ、製造品ノ中テモ半製品ノ如キ、是ハ成ルベク低キ率
ヲ以テ成ベク良キ品目ヲ外國カラ輸入致シテ日本ノ産業ヲ進メル、發達ヲ促進セシムル
ト云フ主義ヲ取ル方が、私ハ關稅策ノ宜シキヲ得タルモノト思ヒマス、此大體ノ主義ヲ以
テ政府ノ提出セラレマシタル關稅策ヲ通覽致シマスルト、政府ハ總テノモノニ幾分カ、即
ガタメニ、此貿易品ヲ大ニ製作ヲ進メテ行クト云フ事柄ニ付キマシテ、隨分有害ナル結
果ヲ來スモノゴザイマス、又之ヲ修正セラレタル政友會ノ案ヲ見マスルト云フト、第四類ノ

中々此獸皮類、第六款ノ中テ沈香、白檀、第八類ノ野蠶絲、第十一類ノ印紙料紙ノ一部、第十四類ノ鐵ノ中ノ「ワイヤロット」是等ニ付テハ原案ヨリモ低減ヲ加へ、或ハ無稅ニセラレタルモノニアリマスガ、其他ハ政友會ノ修正案ハ皆原案ヨリモ増額ニナッテ居ルモノガ多ウゴザイマス、即チ保護主義ヲ政府案ヨリモ多ク加ヘラレタルモノガ多ウゴザイマス、私ノ提出シテ置キマシタ修正案ハ唯今問題ニナッテ居リマスル 第二類以下ニ於キマシテハ、唯龍腦及醋酸、此二ツノモノニ原案ヨリモ幾分増額ヲ致シマシタ外ハ悉ク原案ヨリモ削減致シテ居ルノアリマス、其理由ハ產業ノ保護ハ必要デアルケレドモ、一部少數ノ者ヲ保護シテ多數ノ者ニ害ヲ來ス、或ハ外國貿易ニ害ヲ及ボスト云フ事柄ハ誠ニ喜バシキコトデゴザイマセヌカラ、成ルベク此原料品ノ如キモノ、殊ニ機械類ノ如キモノハ廉ケシナケレバナラヌ、此趣意カラ低減說ヲ出シタノデゴザイマス、例ヘバ類ヲ舉ゲテ云ヒマスルト漆或ハ「ヴァニシユ」「ペーンント」斯様ナモノハ皆製造ノ原料品デアリマス、又鐵類、澤山三分ケラレテ居リマスル鐵類、是ハ製造工業ノ最モ大切ナル土臺デアリマスカラシテ、成ルベク低イ稅ヲ課スル方が當然デアラウト思ヒマスガ、是ハ政府ノ原案デハ高クナダテ居リマスカラ、鐵類ハ總テ五分減フ唱ヘテ修正案ヲ作リマシタノデゴザイマス、又機械類——總テノ機械類ニ付キマシテモ是ハ製造工業ノ活力ノ本デアリマスカラ、機械類ノ如キハ成ルベク廉ケ精巧ナル機械ヲ輸入致シテ、サウシテ日本ノ工業ヲ進メルト云フ事柄が當然デアラウト思ヒマスカラ、原案ヨリモ五分ヲ減ジタイト云フ希望デアルノデゴザイマス、船舶——船ニ付キマシテハ政府ハ機械力又ハ帆ヲ以テ運航スルモノハ每噸十五圓、其他ハ從價一割五分ト云フ事柄ニ原案ヲ提出セラレマシテ、政友會ノ修正ヲ加ヘラレマシタノデゴザイマスガ、私共ハ總テは從價ノ一割五分ト云フコトニ定メタ方が穩當デアラウト云フ修正說ヲ持持テ居ルノデゴザイマス、此政友會ノ修正案、並ニ原案ト、吾ニノ修正案トノ違テ、居リマスルトコロノ極メテ大體ノ理由ヲ説明致シマスルト、船舶ノ如キハ一艘ノ價ノ極メテ差額ノ多イモノデゴザイマス、一艘ノ價格三百五十圓乃至四百圓モ致サウト云フ位ナ良好ナル船モアレバ、一艘ノ價が僅ニ三十五圓若クハ四十圓ニ當ラナイト云フ船モアルノデゴザイマス、此三十五圓、若クハ四十圓シカシナイ船ト、三百五十圓、若クハ四百圓モ致スト云フ船ヲ一緒ニ致シテ從量稅ヲ課スルト云フノハ是ハ極メテ無理ナコト、思ヒマス、修正案ハ此點ニ考慮ヲ加ヘ付ケ得ルト云フコトハムカシイ、即チ年齡が長ケテ居リマシテモ一噸ニ付テ七十圓、百圓ノ船モアリマセウシ、或ハ又年齡が新シクテモ古イ船ヨリ廉イ船モアリマスカラ、唯船齡十年ト云フ事柄ヲ區劃トシテ此等差ヲ付ケルト云フ事柄ハ隨分困難デアラウト思ヒマス、ヤハリ從前ノ如ク從價一割五分ト云フコトニズルノガ、是ガ最モ良キ方法デアラウト思ヒマシテ、斯様ナ修正案ヲ提出シタノデゴザイマス、又政友會ノ提出セラレタル修正案ノ中テ野蠶絲ト云フモノガ無稅ニセラレテ居リマス、生絲ノ中ノ野蠶絲ト云フモノヲ——此野蠶絲ヲ無稅ニセラレタル理由ハ野蠶絲ヲ原料トシテ様ミナ工藝品、美

術品ヲ製作スル事業が進ンダ、故ニ此原料ヲ廉ク入レルト云フコロカラ野蠶絲ヲ無稅ニセラレタモノデアラウト思ヒマス、其主義ニ於テハ吾ミモ實ニ同感ノ點デアリマス、併ナガラ野蠶絲ヲ無稅ニシテ澤山ニ輸入スル結果ハ日本ノ重要物産タル生絲ニ影響スルコトハ頗ル多イノデアリマス、野蠶絲ヲ精白致シマシテ今日ハ立派ナ縮緬ヲ織ル絲ニ致スト云フ事柄モ進シテ居ルト云フヤウナ有様デアリ、又滿洲ニ於テノ野蠶絲ノ事業ト云フモノハ愈ニ發達致シテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ支那滿洲カラ無稅デ澤山ニ日本ニ輸入スルヤウニナリマスレバ、折角發達シタ日本ノ養蠶業、或ハ製絲業ト云フモノニ少ナカラヌ是ハ打擊ヲ受ケル事柄テゴザイマスカラ、野蠶絲ニヤハリ從價五分ノ稅ヲ課シテ置クト云フ事柄ガ當然デアラウト思フノデゴザイマス、原案ニハ野蠶絲ヲ從量ニ致シテ毎百斤二十一圓ト云フ從量稅ニナッテ居リマスガ、野蠶絲ヲ從量稅ニスルト云フコトハ頗ル困難、野蠶絲ノ中ニハ百斤ニ付キマシテ五百五十圓位ナモノモアルシ、或ハ又二百五十圓、三百圓位ナ廉イモノモアリマスルシ、野蠶絲ノ價ニ差等が多イ、既ニ從量稅ヲ課スル上云フ事柄ハ困難、寧口從價五分ト云フ事柄ニ致スコトが穩當ト思ヒマスガ、政友會ノ修正案ノ如ク無稅トスルト云フ事柄ハ諸君が農業保護ノ精神ヲ以テ米及糉、其他大豆、小麥等ノ關稅ヲ高メル、其御精神ニ照シテモ私ハ生絲養蠶業保護ト云フタメ野蠶絲ニ幾分ノ關稅ヲ存シテ置クが當然デアラウト思ヒマス、政友會ノ修正案中ニ殊ニ私が解釋ニ苦ミマスルノハ、第五類ノ九十五植物性揮發油ノ中芳香性ノモノト云フノヲ原案ハ無稅トアリマスルモノヲ、政友會諸君ハ之ニ一割ノ關稅ヲ課スルト云フ修正ヲナセラタ、此點ニ於キマシテハ甚々其理由ヲ解スルコトが出來ナインノデアリマス、此芳香性ノ揮發油ト云フノハ何ニ用井ルカト申シマスレバ、多クハ化粧品、香水、香油、齒磨、石鹼、斯様ナルモノニ加味致シマシテ、其造出シタコロノ化粧品、石鹼ノ如キモノハ多クハ滿洲支那方面ニ輸出シテ、サウシテ外國品ト非常ナル競爭ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、貿易表ヲ見マスルト四十年ニハ此種類ノモノガ二百六十二萬圓輸出シテ居リマス、又四十一一年ニハ二百三十六萬圓輸出シテ居リマス、夫等ノ原料トナルベキ芳香性揮發油ヲ政府ハ流石ニ貿易ノ實況ヲ能ク取調ベテ之ヲ無稅ト致シテ居リマシタモノヲ、政友會諸君ガ之ニ一割ノ稅ヲ課シテ、サウシテ今東洋方面ニ於テ外國品ト大ニ競爭シテ居ル是等化粧品等ノ其競爭力ヲバ弱メルヤウニナサルト云フ事柄ハ、私ノ御贊成致スコトノ出來ナイ點テアルノデゴザイマス、又第六類ノ「クロール」酸加里ニ付テ原案ハ無稅ト致シテ居ツタモノヲ政友會ハ五分課稅ヲスルト云フ事柄ニ極メラレタ、是ハ芳香性揮發油ニ課稅スルヨリモ尙一層理由が分ラヌノデアリマス、「クロール」酸加里ハ何ニ致スカト言ヘバ多クハ燐寸ノ原料デゴザイマシテ、燐寸ノ輸出——燐寸ハ一箱僅ニ三厘カ四厘シカ致サナイ、誠ニ微細ナルモノデアリマスケレドモ、此貿易品タルヤ一年一千萬圓ノ額ニ上テ居リマス、一千万圓ノ輸出アル燐寸ヲハ滿洲ヨリ支那方面ニ輸出シテ東洋一般ニ輸出シテ、獨逸品其外ノモノト大競爭ヲ試ミテ居リマス、御承知ノ通リ一箱僅ニ三厘カ五厘ノ品物デアリマスカラ極ク僅カナ原料品が高クナリマシテモ直ニ競爭力ヲ減殺サル、ノデアリマス、其重要ナル原料品ノ「クロール」酸加里、之ヲ政府ガ無稅品ト云フコトニシタノハ無論當然ノコトデ、外國貿易ノ上ニ於テ我品ノ競爭力ヲ極メルト云フコトニナルノデアル（拍手起立）此原料ノ「クロール」酸加里ヲ内地ニ造ツテ居ルカ居ナイカト云フコトヲ調べテ見マスト、大倉何某ノ設立シテ居ル化學工藝會社トカ申スノデ、近頃

試験的ニ製造ハ致シテ居ルト云フコトデアル、又政府委員三段々質問シテ見マシモ試験ハ成程致シタガ、商品トシテ賣出スマデニ是ハ生産シテ居ラヌ、其生産事業が進シテ居ルト云フ事柄ハ斷ジテナイト云フコトヲ政府委員ハ云ハレテ居ルノアリマス、内地デハ製造ハシテ居ラヌ、是カラ先大ニ保護シタナラバ出來ルカモ知ラスト云フ位ノ程度ノ「クロール」酸加里ヲシテ保護シテ、サウシテ此燐寸ノ貿易ノ競争力ヲ弱メヤウト云フ事柄ハ關稅政策トシテ甚ダ其當ヲ得タモノデナイト私ハ思フノアリマス、「政友會モ贊成シロ」ト呼フ者アリ)況シテヤ此「クロール」酸加里ヲ内地デ製造スルモノガ試験的ニモ製造スル者ガアルシマシタコロガ、一個人一會社ニ止マリ、決シテ多數ノモノテハナイ、燐寸ヲ造ル者ハ實ニ數百万人ノ女子供マテ集メテ女子供ヲ燐寸ノ工業ニ務メサセテ、サウシテ貧民ヲ救ウテ居ル事業デアル、此事業ヲ大ニ助ケルコトヲセズシテ、一富豪、一會社ノヤウナモノヲ保護スルト云フコトハ私ハ斷ジテ喜バナイノアル、(拍手起ル)第七類ノ中デ「アリザリン」染料、「アニリン」染料、是等モ亦政府案ヨリ修正案ハ高クナッテ居リマス、政府案ハ百斤四圓六十錢トアルヲ修正案ハ七圓ニ上ゲテアルガ、「アリザリン」染料「アニリン」染料ハ申スマテモナク木綿織物等ノ廉イ著物ノ染料デアリマス、其染料ノ高イカ廉イカハ直ニ此廉イ著物ヲ著ル、即チ貧民ノ被服料ニ是が加テ往クノアリマス、而シテ「アリザリン」染料ノ如キハ内地デ出來ルカト云フト、断ジテ是ハ造ル者ハナイノアリマス、造ル者ガナイモノヲ保護スル必要ハナイ、即チ之ニ課稅ヲ高メマスト人間ノ衣食住トシテ第一ニ數ヘルトコロノ衣類ノ價ヲ高メル、間接ニ幾分カ高メルト云フ傾キニナッテ來ルノデ、是ハ甚ダ喜バシクナイ課稅デアリマスカラ、私ハ寧ロ正案ハ甚ダ穩當ヲ缺クモノト思ヒマス、第十一類ニ於テ印刷料紙、其中ニハ様ミナ紙類ガゴザイマスルガ、私共ハ印刷料紙ノ如キ例ヘバ新聞、或ハ雑誌、或ハ又教科書ヲ始メトシテ、アラユル書籍、斯様ナルモノハ國民ノ知識ヲ運搬シ、國民ノ知識ヲ普及セシムモノ、國民ノ教育ヲ發達セシムル最モ大切ナル一ノ原料品デゴザイマス、故ニ斯ルモノハ出來ルナラバ無稅デ關稅ヲ課スルトシテモ成ルベク低イ關稅ヲ掛ケタインガ、吾ミノ希望デアル、政府案ハ單リ此新聞用紙ダケハ從前ノ協定稅率ノ儘据置イテゴザイマスガ、其外ノ印刷料紙、例ヘバ雑誌用ナリ、書籍用ニナリマスルモノテモ多クハ二倍、若クハ三倍ニ高メラレテアリマス、而シテ政友會諸君モ流石ニ幾分カノ輕減ヲ加ヘテ「アートペーパー」——三圓二十錢ト云フノヲ一圓四十錢、又其中ノ有色ノモノト云フノヲ一圓六十錢ヲ一圓二十錢ト云フコトニ輕減ヲセラレテ居リマスガ、此位ノコトデハ私ハマダ輕減ノ度合が少ナイト思フ、新聞用紙ハ從前ノ如ク据置イテ、サウシテ雑誌、其他ノ書籍用ノ印刷料紙ヲ高メルト云フ理由ハ更ニナインデアリマス、況シテヤ是ハ人民知識ノ啓發ノ道具トシテ成ルベク廉ク需用セシメルノガ當然ノコトデアリマスカラ、是ハ從前ノ通り悉ク据置ト云フ事柄ガ私ハ穩當ナ事柄デアラウト思ヒマス、其他私ノ提出シマシタ修正案ハ箇條モ多クゴザイマスガ、之ヲ要スルニ極メテ特殊ノ性質ノモノ、外ハ成ルベク原料、或ハ半製品ノ如キモノヲ廉ク輸入シテサウシテ我國ノ製造工業ヲ進ス、又外國貿易ヲ發達セシムルト云フコトガ最モ肝要ナ事柄デアラウト思ヒマス、内地ノ產業ヲ保護スルト云フ事柄ニ付テモ寒中ニ室ノ中デ牡丹ヲ咲カセルト云フヤウナ保護ノ仕方、或ハ日本ノ上野ノ動

物國ニ印度ノ熱帶ノ鷗ヲ連レテ來テ之ヲ生活セシメテ置クト云フヤウナ保護ノ仕方、成程保護ノ仕方ニ依リマシテハ塞中ニ櫻モ咲キマス、壯丹モ咲キマス、日本ハ寒帶カラ熱ルト云フ事柄ハ斷ジテナイト云フコトヲ政府委員ハ云ハレテ居ルノアリマス、内地デハ製造ハシテ居ラヌ、是カラ先大ニ保護シタナラバ出來ルカモ知ラスト云フ位ノ程度ノ「クロール」酸加里ヲシテ保護シテ、サウシテ此燐寸ノ貿易ノ競争力ヲ弱メヤウト云フ事柄ハ關稅政策トシテ甚ダ其當ヲ得タモノデナイト私ハ思フノアリマス、「政友會モ贊成シロ」ト呼フ者アリ)況シテヤ此「クロール」酸加里ヲ内地デ製造スルモノガ試験的ニモ製造スル者ガアルシマシタコロガ、一個人一會社ニ止マリ、決シテ多數ノモノテハナイ、燐寸ヲ造ル者ハ實ニ數百万人ノ女子供マテ集メテ女子供ヲ燐寸ノ工業ニ務メサセテ、本デ造ルコトが出來マス、併ナガラ此保護ハ極メテ少數ナル者ヲ保護スルガタメニ、大多數ノ者ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ事柄ハ、是ハ本當ノ保護主義デナイノデアリマスカラ、多數ヲ犠牲ニシテ少數ヲ保護スルノハ保護主義デナイノデゴザイマス、故ニ私共ハ成ルベクスルモノヲ廉クスルト云フ趣意ヲ以テ修正案ヲ提出シタ云フコトヲ諸君ノ前ニ言明シテ置クノデゴザイマス(拍手起ル)

(參照)

輸入稅表第一類ノ中

原案 修正案

圓

每頭 三、〇〇

一、五〇

二、三〇

一、二五

同 二割

從價 二割

從價 一割

同 二割

從價 一割

原案

五五 コンデンスドミルク

一一、一〇

四割

七一 豚皮

牛皮及水牛及ヲ無稅トス

每百斤〇、六四

玄米及糲

〇、六四

白米

一、〇〇

同第三類ノ中

原案 修正案

圓

一一、一〇

四割

五六 醋酸

原案

每百斤八圓

十圓

每百斤三圓

四割

二〇五 龍腦及艾片

三七、三〇

一五〇、〇〇

よ改む

二五六 漆

六、八〇

四、五〇

九、六〇

一〇、七五

八、六〇

九、一五〇

一一、九〇

第六類ノ中

原案 修正案

圓

一、一〇

四割

二六六 各種

總テ五分減トス

二七五 亞麻織絲單然ノモノ

每百斤

八、六〇

九、一五〇

一一、九〇

第八類ノ中

原案 修正案

圓

一、一〇

四割

乙 其ノ他

各種

總テ五分減トス

甲 生ノモノ

每百斤

八、六〇

九、一五〇

一一、九〇

二七七 草麻織絲及「次ニ大麻織絲ヲ挿入シラミー織絲ヲ除キ從價一割トア
ルヲ每百斤七圓五十錢ト改ム

二七八 織物削除ス

一七九 大麻織絲ヲ削除シラミー織絲トシ同一割トアルヲ百斤十五圓ト改ム

一八一 大麻絲ノ上ニ草麻絲ヲ加フ

一八一ノ次ニラミー絲ニシテ前項同様擦絲ノモノ毎百斤五十四圓トス

一八七 生絲

野蠺絲百斤三一、〇〇トアルヲ從價五分トス

二 其ノ他

第十一類ノ中 印刷料紙

原案 修正

一 アートベーパー

三二〇 一六〇 一六〇 〇・八〇

三 其ノ他

甲 有色ノモノ

乙 其ノ他

イ 一平方メートル重量五十モ原案通

ロ 一平方メートル重量五十五モ原案通

三七一 模造日本紙及チツシユベーパー

三七三 模造羊皮紙パラフィンベーパー及ワックスペーパー

右ハ共ニ從價一割トス

第十一類 寫真用バライタベーパー鷄卵紙及感光紙

一號ヨリ五號マテ通シテ一割ヲ減ス

第十二類ノ中 硝子板

四四四 各目ヲ通シテ五分減トス

第十四類ノ中 鐵類 各目ヲ通シテ五分減トシ原案ニ五分トアルハ無稅トシ

四六二 鐵類 各目ヲ通シテ五分減トシ原案ニ五分トアルハ無稅トシ

分五厘トアルハ五分トス

第十五類ノ中 鐵道建築用材料

四八二 鐵道建築用材料

四八三 電線支柱及電線支架用材料

四八四 家屋橋梁船舶等ノ建築材料

四八五 瓦斯ホールダーリボン及同部分品

右ハ通シテ五分減トス

第十六類ノ中 船舶

五六八 五番ニ至ルマテ 從價一割五分トス

五十九番ヨリ六〇五番ニ至ルマテ 通シテ五分減トス

六一〇 竹 以上

從價一割トアルヲ從價五分トス

○早速整爾君 私ノ提出致シ置キマシタル此修正案ノ理由ヲ大體説明ヲ致シマス、
○議長(長谷川純孝君) クレハアトデ……早速整爾君

(早速整爾君登壇)

○早速整爾君 私ノ提出致シ置キマシタル此修正案ノ理由ヲ大體説明ヲ致シマス、
數字ハ議長ノ手許ニ出テ居リマスル案ニ詳シク書イテゴザリマスル、煩雜ヲ省クタメニ殊
更ニ申上ケマセヌデ、大體ニ於テノ説明ダケヲ申述ベテ置カウト思ヒマス、(「簡単ニ願ヒ
マス」ト呼フ者アリ) 第三類ニ於キマシテ私ノ修正案ハ此飲食物ニ對シテ總テ稅率ヲ輕
減スルト云フコトニ相成テ居リマス、今日ノ此政府案ハ或ハ現行ノモノト同ジヤウナモノ
モゴザリマスルケレドモ、中ニハ現行ノ稅率ヲ輕減シタルモノガ數多イノデゴザリマス、私
共ノ意見ハ此飲食物ナドニ對シテ重キ稅ヲ課スルト云フコトハ誠ニ宜シクナイ、實ニ非
文明ノ舉アルトス様ニ信シテ居リマスル、一般ノ飲食物ノ課稅ハ成ルベク之ヲ低廉ニ
シタイト云フ意見ヨリ大體ニ瓦リマシテ此飲食物ノ稅率ヲ輕減フシタイト云フ此修正
案ヲ提出致シマシタ、政府ノ案ニ依リマスルト或物ハ殆ド禁止稅ニ等シキ重稅ヲ課シ
テ居ルモノガゴザイマス、之ヲ辨ズル者ハ或ハ此飲食物ハ主シテ外國人ノ口ニスル飲
食物デアルカラシテ此稅率ヲ高メ、其價ヲ騰貴セシメテモ少シモ差支ナイト云フヤウナコト
ヲ口ニセラレルノデゴザイマスルケレドモ、私共ハ此飲食物ノ需用ガ内外人何レニアルニ
拘ラズ、兔ニ角其稅率ヲ高キシテ、而シテ其價ヲ騰貴セシムルト云フコトハ今日ニ於テ
執ルベキ政策デナイト斯様ニ信シテ居ルノデゴザイマスル、尤モ此中ニ委員長ノ報告ノ
「コンデンスミルク」ノ稅率ヲ輕減セラレタノハ私共ノ意見ト相合シテ居ルノデゴザリマス
ル、其他ハ總テ政府案竝ニ委員長ノ報告ニ反對ヲ致シマシテ飲食物ハ概シテ之ヲ低
減ヲ致シタイト云フ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレカラ第五類ニ移リマシテ私ハ百十二ア
鑽油一、原油、此原油ノ稅率ニ修正ヲ加ヘタインデアル、原油ノ中ニテ甲乙丙丁戊己、
此六種ハ此改正案ノ稅率ヲ總テ半分ニ減ズルト云フノガ私ノ意見デゴザイマス、總テ
製造業ノ原料ハ成ルベク之ヲ低廉ニ輸入セシメタイト云フノガ私共ノ根本ノ意見デゴザイ
マス、此原料ノ中ニモ内地ニ於テ十分ニ製造スルコトノ出來ルモノハ別問題ト致シマ
シテ、内地ノ供給が普カラザル品物ニ對シテハ成ルベク此原料ノ稅率ヲ低廉ニ致シテ
價ヲ廉クシテ、日本ニ輸入スルコトノ出來ルヤウニ致シテ、而シテ其原料ニ依レル製造
業ヲ獎勵ヲ致シタイト云フノガ此關稅ニ關スル私共ノ考デゴザイマスル、丁度此原油ノ
稅率ヲ輕減ヲ致シタイト思ヒマスルノモ全ク其趣意ニ外ナラナイノデ、私が申スマデモナク、
今日日本ノ此石油——製造セラレル此石油ト云フモノハ、誠ニ其事業ト云フモノ
ガ段々發達シテ參シテ居ルト云フコトハ疑ナシ事實デゴザイマスケレドモ、併ナガラ今日ノ
石油事業者ノ製造セル品物が一般ノ需用ヲ充タスニ足ルカドウカト言ハ、固ヨリ之ヲ
充タスニ足ラザルノミナラズ、統計ノ上カラ申シマスレバ殆ド全般ノ消費額ノ七步マテ
ハ之ヲ海外ニ仰ガナケレバナラスト云フ状況ニ相成テ居ル、此故ニ此製油ノ事業ハ成
ルベクヲ獎勵シテ參シテ居ルト云フコトハ疑ナシ事實デゴザイマスケレドモ、併ナガラ今日ノ
石油事業者ノ製造セル品物が一般ノ需用ヲ充タスニ足ルカドウカト言ハ、固ヨリ之ヲ
充タスニ足ラザルノミナラズ、統計ノ上カラ申シマスレバ殆ド全般ノ消費額ノ七步マテ
ハ内地ノ一般ノ需用ニ應ズル上ニ於テハ最モ適當デアラウト考ヘテ居ル、日本ノ内地ニ
於キマスル原油ノ製造高ハ誠ニ少ナウゴザイマス、而シテ此石油ノ事業ハ追々發達スルト
申シマスケレドモ、併ナガラ近キ將來ニ於テ一般ノ需用ヲ充タスニ足ラナイト云フコトハ

亦明カナル事實ニゴザイマスル、殊ニ此機械油ノ如キハ外國ノ原油ニ依ラザレバ良好ノ品ヲ製造スルコトノ出來ナイモノモ澤山ニアル、イロイロノ理由ニ依リマシテ此原料タル原油ト云フモノハ成ルベク低廉ニ内地ニ之ヲ輸入セシムルト云フコトガ石油ノ製造ヲ獎勵スル上ニ付テ必要デゴザイマスカシテ、原油ノ輸入税ハ之ヲ輕減ヲスルト云フコトが適當デゴザイマスノデ、故ニ私ハ此原油輸入税ノ輕減ノ意見ヲ提出シタ理由デゴザイマス、ソレカラ第六類ニ移リマス、第六類ノ最初ニ掲ゲテゴザイマスル此藥材——賣藥ノ原料ニナルモノデゴザイマス、此原料品ノ税率ヲ總テ輕クスル、其理由ハ此原料ヲ輸入ヲ致シマシテ此原料ニ依ツテ製造セラレタル藥材ハ今日ニ於キマシテハ支那、朝鮮ニ於テ非常ニ需用ガアル、原料ヲ海外ヨリ輸入ヲ致シ、其輸入品ニ依ツテ製造セラレタル藥材ハ今日デハ支那、朝鮮ニ於テ殆ド日本ノ品物ト云フモノハ大ニ其販路ヲ發展シツ、アル際デゴザイマス、所謂賣藥ト雖モ此製造業ハ須ク之ヲ獎勵スベキ必要ガアルト信シテ居ル、即チ其製造ノ原料トナルベキ此藥材ハ成ルベク税率ヲ輕減ヲシテ、容易ニ内地ニ輸入スルコトノ出來ルヤウニスルト云フコトが内地ノ製造業ニ對シテノ大ナル利益デアルト信シマシテ此藥材ノ税率ト云フモノヲ輕減致シタイト思フノデゴザイマス、ソレカラ奇性曹達、其他曹達類ニ對スル税率モ之ヲ輕減ヲシタイト云フ意見テゴザイマスル、是ハ或物ハ藥用ト相成リ、或物ハ一般ノ工業ノ原料トナリ、誠ニ重要ナル工業ノ原料トナルモノガ多イノデゴザイマスルガ、併シ日本ノ内地ニ於キマシテハ此曹達類ノ中テ之ヲ製造スルコトノ出來ナイモノガアル、或ハ又製造スルコトが出來ルト致シマシテ、容易ニ内需用ヲ充スコトノ出來ナイモノモゴザイマス、且其品質於テ外國ノ品物敵對ヲスルコトノ出來ナイモノモゴザイマスル、一般ノ工業製造業ヲ獎勵スルト云フ上カラ申シマスレバ、此ノ如キ必要ナル工業ノ原料品ハ成ルベク之ヲ税率ノ低減ヲ致シマシテ、内地ニ之ヲ輸入ヲスル必要ガアラウト私共ハ確信ヲ致シテ居リマスル、此點モヤハリ製造ノ原料トナリキ品物デ、内地ニ於テ供給ノ豐カナラザルモノハ成ルベキ其税率ヲ輕減スルト云フ根本ノ主義ニ照シテ、此曹達類ノ税率ヲ輕減スルノ必要アリト認ムルノデゴザイマス、ソレカラ第十類ニ飛ビマス、之ハ餘リ大ナル問題デハゴザイマセヌガ、三百五十四ノ帽子及帽體、其乙ノ「フェルト」製モノ每打七圓五十錢トゴザイマスル、此帽子ト帽體トノ間ノ税率ノ定方が頗ル不權衡デアル、製造セラレタル全製品ノ帽子モ、ソレカラマダ帽子ニナラナイ帽體モ同シ税率ニ定メアルノガ政府案デゴザイマスルガ、是ハ甚ダ不權衡ヲ極メテ居ルモノト信シマシテ、私ハ唯權衡ヲ得ルタメニ帽子ト帽體トノ間ノ税率ニ等差ヲ付ケ、並三同シ帽體ノ中モ形シクリタルモノト然ラザルモノトノ間ニ、相當ノ懸隔ヲ置イテ此税率ヲ定ムルノ必要アリト信シマシテ、權衡ヲ得ルタメ私ハ此税率ニ變更ヲ要スルト云フ一ノ修正案ヲ提出致シタノデゴザイマス、ソレカラ第十一類ノ紙ノコトデゴザイマス、委員長ノ報告ヨリハ尙之ヲ低減シタイト云フノガ私共ノ修正案デゴザイマス、申マスデモゴザイマセヌ、新聞紙ヲ外ニ致シマシテモ或ハ筆記用紙ニセヨ、圖畫用紙ニセヨ、何レモ皆此教育學術ノ普及、所謂文明ノ普及ト云フコトニ付テ必要ナル品物デゴザイマス、文眞ベ之ニ對シテ高キ税率ヲ課スルト云フコトハ誠ニ不適當ノ甚シキモノト認メマス、文明

ノ普及ヲ希望スル上カラ申シマシテモ、此紙類ノ税率ト云フモノハ須ク之ヲ輕減スベシト云フ意見ニ依ツテ私共ノ輕減案ヲ提出シタ理由デゴザイマス、サウ致シマシテ唯今ノヤハリ十一類ニ於キマシテ、此製紙用ノ「バルブ」ト云フモノハ之ヲ無税ニスルト云フコトガ附加ハシテ居リマス、紙ノ税率ヲ廉クスル、紙ヲ製スル原料タル「バルブ」ハ之ヲ無税ニスル此紙ヲ製スル事業、製紙業保護ノ上カラ申シマシテモ、原料タル「バルブ」ヲ無税ニスルト云フコトハ誠ニ適當デアラウト信シマシテ、紙ノ税率ヲ減ズルト同時ニ原料ヲ無税ニスルト云フコトが附帶ヲ致シテ居リマス、ソレカラ第十四類ニ飛ビマス、此修正ハ先刻ノ森田君ノ修正案ト大體ハ同ジテアラウト信シテ居リマス、鐵ノ塊及錠、甲乙丙丁戊ニ至ルモノハ總テ之ヲ無税ニスルト云フ意見、一國ノ工業ノ生命トモ云フベキ此原料ノ鐵ハ固ヨリ其供給ヲ豐富ニスルノ必要ガゴザイマス、ドコマデモ此必要ナル鐵材ト云フモノヲ廉ク供給ヲシテ、而シテ此一般ノ製鐵事業ノ獎勵ニ資スルト云フコトハ、今日ニ於キマスル急務中ノ急務テアルト私共ハ信シテ居ルノデゴザイマス、悲イカナ日本ノ内地ニ於キマシテハ、ドウモ此製鐵ノ事業ト云フモノガ十分ニ發達ヲセズ、殊ニ此原料トナルベキ銑鐵ノ如キ其產出ト云フモノガ誠ニ少ナ、一方ニハ鐵ノ需用ト云フモノハ日ニ月ニ盛ニ相成ツテ參ルニ拘ラズ、製鐵ノ事業ハ進マズ、而シテ此鐵ノ原料タル銑鐵ノ產出ト云フモノガ誠ニ微々テゴザイマスルカラシテ、一國工業ノ基礎タル百般ノ工業製造ノ上ニハ、誠ニ大ナル不便ヲ感シテ居ルノガ今日ノ狀態デゴザイマス、今日ニスルト同時ニ其割合ニ於キマシテ税率ヲ總テ之ヲ輕減ヲ致シ、此輸入ヲ歡迎スベキ必要アリト信ジテ、私共ハ此原料鐵ヲ無税ニスルト云フ意見ヲ有シテ居ルノデゴザイマスナガラ日本ノ内地ノ鐵ノ需用ト云フモノハ實ニ七十萬噸以上ニ及シテ居ル、三分ノ二以上ハ之ヲ輸入ニ仰ガナケレバナラストト云フ狀態ニ相成ツテ居リマス、是故ニ此原料ノ鐵ト云フモノハ須ク海外ヨリノ輸入ヲ獎勵ヲ致シ、此輸入ヲ歡迎スベキ必要アリト信ジテ、私共ハ此原料鐵ヲ無税ニスルト云フ意見ヲ有シテ居ルノデゴザイマスサウ致シマシテ他ノ此鐵板、鐵線、總テ此鐵ニ關係ヲ致シマスルモノハ、原料ヲ無税ニスルト同時ニ其割合ニ於キマシテ税率ヲ總テ之ヲ輕減ヲスルト云フノガ、此第十四類ニ於ケル私ノ修正ノ大要デゴザイマス、ソレカラ第十五類ニモ修正ガゴザイマス、是ハ鐵道用建築材料、家屋、橋梁、船舶、船渠等ノ建築材料、此建築材料ノ輸入税率ヲ輕減スルト云フ意見デゴザイマス、是ハ全ク鐵ノ輸入稅ヲ——原鐵ノ輸入稅ヲ免除スルト云フ根本ノ意見デアルカラヤハリ之ニ及ビマスルノデ、鐵ノ稅ヲ無稅ニシ、或ハ之ヲ輕減メテ居ルモノト信シマシテ、私ハ唯權衡ヲ得ルタメニ帽子ト帽體トノ間ノ税率ニ等差ヲ付ケ、並三同シ帽體ノ中モ形シクリタルモノト然ラザルモノトノ間ニ、相當ノ懸隔ヲ置イテ此税率ヲ定ムルノ必要アリト信シマシテ、權衡ヲ得ルタメ私ハ此税率ニ變更ヲ要スルト云フ一ノ修正案ヲ提出致シタノデゴザイマス、ソレカラ第十六類ニ於キマシテ是ハ總テ機械類ハ澤山ニゴザイマスルケレドモ、總テノ機械類ノ稅率ノ輕減ヲスルト云フノガ一ツノ修正案デゴザイマス、森田君ノ修正ト大體ニ於テハ同ジテアラウト考ヘ居ルノデゴザイマスガ、張致スノデゴザイマス、四百八十二ノ電線支柱及電線支架用材料ト云フモノモヤハリ同一ノ理由デ此稅率ノ輕減ヲ希望致シマス、ソレカラ第十六類ニ於キマシテ是ハ總テ機械類ハ澤山ニゴザイマスルケレドモ、總テノ機械類ノ稅率ノ輕減ヲスルト云フノガ一ツノ修正案デゴザイマス、森田君ノ修正ト大體ニ於テハ同ジテアラウト考ヘ居ルノデゴザイマスガ、申スマデモ今日ニ於キマシテハ日本ノ此機械工業ト云フモノガ段々進歩發達シツ、アルト云フ狀況ハ疑フ容レヌトコロデゴザイマス、ケレドモ、併ナガラ此日本ノ技術ノ進歩ト云フモノハ尙未ダ海外ニ及ハザルモノガアル、總テノ此製造ノ機器開備ハラザルガタメニ或物ニ依リマシテハ機械ト云フモノハ是非トモ之ヲ海外ノ供給ヲ仰ガナケレバナラナイト云フモノガ、尙澤山存在ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、此故ニ此機械類ノ輸入稅ヲ輕減ヲ致シテ、文明ノ知識ニ依ツテ構造セラレタ、立派ナル機械類ヲ日本ニ輸入ヲスルト云フ

コトガ、日本ノ製造工業ノタメニハ利益ニアラウト云フ私共ノ意見デアル、中ニハ日本ノ機械工業モ段々發達シ來リタル今日デゴザイマスルカラ、日本ノ機械工業ヲ保護スルタメニ外國ノ此機械ノ輸入ニ對シテハ税率ヲ高クスル方ガ宜シトイ云フ議論ヲ唱製造業ノ資本ト云フモノヲ多ク費サシムル所以デゴザイマシテ、根本カラ日本ノ百般ノフルモノモアルノデゴザイマスケレドモ、機械ノ輸入税ヲ高クスルト云フコトハ即チ機械ノ價ヲ高クスルト云フノデ、機械ノ價ヲ高クスルト云フコトハ日本内地ノ百般ノ此製造業ノ資本ト云フモノヲ多ク費サシムル所以デゴザイマシテ、根本カラ日本ノ百般ノヨリ輸入スル新發明ノ新知識ノ機械ト云フモノハ、マダ日本ノ内地ニ於テ十分之ヲ製造スルコトノ出來ナイ今日ノ狀況デゴザイマスルカラシテ、文明ヲ輸入スル新知識ヲ輸入スル新發明ヲ輸入スルト云フ點カラ申シマシテモ、精良ナル機械ト云フモノハ日本ノ内地ニ於テ大ニ之ヲ歡迎シナケレバナラヌト私ハ思テ居ルノデアリマスル、此點ニ於キマシテ百般ノ機械類ノ此税率ハ之ヲ輕減スルノ必要アリト認メテ原案ニ對シテ總テ輕減ノ修正意見ヲ提出致シテ置イタノデアリマス、ソレカラ此十六類ノ中ノ第五百四十二號ノ「アンペアーマー」及「ヴォルトマー」第五百四十四ノ「ワットメーター」ト此一ツハ原案ニ於キマシテ從量稅ニ相成テ居ルノデアリマスガ、別ニ深イ理由ハゴザイマセヌガ、其價ニ等差ガアル、品物ニ依シテ價ノ差ノ甚シイモノデゴザイマスルカラシテ、之ヲ從價稅ニシタガ適當デアラウト云フ意見ノ下ニ此二ツノモノニ對シマシテハ何レモ從量稅ヲ廢メテ從價一割ト云フコトニ修正ヲ致シタイト云フ意見デアリマス、ソレカラ船舶ニ付キマシテハ委員會ノ修正意見モゴザイマスルガ、是ハヤハリ價ノ差ノ甚シイモノモゴザイマスルシ、一率ノ此下ニ從量稅、噸稅ニ依シテ之ヲ課スルト云フコトハ洵ニ不適當デアルト認メマシテ、私共ハヤハリ此現行ニ於ケル稅率ト同シク從價稅ト致シテ從價一割ト云フコトニスレハ即チ適當デアラウ、船舶ニ對シテ高イ稅ヲ課スルト云フコトが不當デアルト云フコトハ今更申シマセスケレドモ、船ノ種類ニ依シテ價ノ等差ノ甚シキモノヲ一率ノ下ニ支配ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、日本ノ航海業ニ對シテ惡影響ヲ及ボマスルカラ、私ハ大體ヲ申述ヘタニ止マルノデゴザイマス、先づ私ノ修正意見ハ大體ニ於スコトハ洵ニ少ナカラスト考ヘマス、即チ之ヲ從價稅ニ改メルト云フコトハ日本ノ今日ノ航海業ヲ發達セシムルト云フ、目的ノ上カラ致シテマシテモ、先づ是が適當デアラウト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、詳シク申述ヘマスレバ餘り數が多くゴザイマシテ煩雜ヲ加ヘマスルカラ、私ハ大體ヲ申述ヘタニ止マルノデゴザイマス、先づ私ノ修正意見ハ大體ニ於テ斯ヤウデゴザイマス、其外ニ「贊成ガ減ル、餘り長イ」ト呼フ者アリ此委員會ノ決定ニ付キマシテ私共ガ同意ヲ表シテ居ル點ダケラ茲ニ舉ゲテ置キマス、第四類ニ「簡單簡單」ト呼フ者アリ獸皮ニ關シテ修正ガゴザイマシタガ、私共ノ同意ヲ致シテ居ル點デ生絲トハ別デゴザイマス、生絲トハ其性質ヲ異ニシテ居ルト云フコトハ明カデアリマスカラ、森田君ノ憂慮セラル、如ク生絲ニ對シテ影響ヲ有ツト云フコトハ全ク杞憂ニ屬スルノデアリマス、此點ハ森田君ト意見ヲ異ニシテ、日本ノ一種ノ織物業競勵ノタメ此野蠶絲ヲ無稅ニスルト云フ委員會ノ意見ニ同意ヲ致シマス、其外「クロール」酸加里ノ稅率ヲ是反無稅デアッタモノニ課稅ヲスルト云フ委員會ノ意見ハ私ハ森田君ト同様ノ精神ニ於テ此委員會ノ修正ニ反對致シマス（同意デモ同意ナクテモ宜イ）ト呼フ者アリ又此藍ニ對スル稅率ヲ増加セシメタル委員會ノ意見ハヤハリ私共反對スルコロデアル、日本ノ織物ノ業ヲ獎勵スル上カラ申シマシテモ織物ヲ消費スルト云フ一般ノ國民ノ利

參照

四八二 鐵道建築用材料 第十五類 金屬製品	十三 屑及故 レール	甲ノ一 ハロイ	甲ノ二 ハロイ	甲 ハロイ	十 線索及燃合線	十一 バー・ブトツ・ワライスト・ワイヤ	十二 筒及管	九 バラ・ゴン・ワイヤ	八 帶 リボン	七 乙 ロイ	六 乙 ロイ	五 甲 ロイ	乙 ノ二 ロイ	乙 ノ三 ロイ	乙 ノ一 ロイ	乙 ノ二 ロイ	乙 ノ三 ロイ	乙 ノ一 ロイ	乙 ノ一 ハロイ
每百斤	每百斤	同 從價 無稅	同 從價 無稅	同 從價 無稅	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	同 從價 每百斤	
○、六〇	一割五分 ○、八〇	一九〇	一八〇	一七五	一五五	一五五	一六二	一五二	一五分 一七五	一七五	一七〇	一七〇	一六四	一六四	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇

二	ポータブルレール	同	四八三	電線支柱及電線支架用材料	同	二割
ターンテーブル及同部分品	斐вшュニアート、ダイ	同	五	其他	同	一五〇
ブレード及スリーパー	五七六	同	一	電線支柱及同部分品	同	〇・八五
五七五	五七一	同	二	家屋橋梁船舶渠等ノ建築材料	同	三三五
五七四	五七〇	同	三	第十六類時計學術品銳砲、車輛、船舶及機械類	同	一一〇
五七三	五六九	同	四	アンペアメーター及ヴォルトメーター	同	一五〇
五七二	五六八	同	五	ワットメーター	同	二割
五七一	五六七	同	六	鐵道車輛	同	同
一	船舶	同	七	鐵道機關車部分品、鐵道機關車用炭水車部分品	同	同
二	汽罐	同	八	其他	同	同
三	汽罐部分品同附屬品	同	九	鐵道機關車用炭水車部分品	同	同
一	機關車	同	一〇	其他	同	同
二	炭水車	同	一一	鐵道車輛部分	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	一二	一割五分	同	同
一	機關車	同	一三	一八〇	同	同
二	炭水車	同	一四	一七五	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	一五	一六〇	同	同
一	機關車	同	一六	一五五	同	同
二	炭水車	同	一七	一五〇	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	一八	一四〇	同	同
一	機關車	同	一九	一三〇	同	同
二	炭水車	同	二〇	一二〇	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	二一	一一〇	同	同
一	機關車	同	二二	一〇〇	同	同
二	炭水車	同	二三	九〇	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	二四	八〇	同	同
一	機關車	同	二五	七〇	同	同
二	炭水車	同	二六	六〇	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	二七	五〇	同	同
一	機關車	同	二八	四〇	同	同
二	炭水車	同	二九	三〇	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	三〇	二〇	同	同
一	機關車	同	三一	一〇	同	同
二	炭水車	同	三二	九〇	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	三三	八〇	同	同
一	機關車	同	三四	七〇	同	同
二	炭水車	同	三四	六〇	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	三四	五〇	同	同
一	機關車	同	三四	四〇	同	同
二	炭水車	同	三四	三〇	同	同
三	鐵道汽罐車及鐵道機關車用炭水車	同	三四	二〇	同	同
一	機關車	同	三四	一〇	同	同
二	炭水車	同	三四	〇〇	同	同

五七九	一	二三四五六七八九	發電機、電動機、變壓機、變流機及發電子
五八〇	一	原動力機ト結合シタル發電機	八

六〇五

機械部分品目

トハ甚ダ輕微ノコトノヤウニ一見思ハレマスガ、實ハ千万圓以上ノ輸出ガアル帝國ノ製造ノ燐寸ガ清國、印度、新嘉坡邊マテ輸出セラレド、サウシテ獨逸、其他ノ有力ナル諸強國ト競争シテ居ル其主タル製造業ノ原料デアルトコロノ「クロール」酸加里ニ稅ヲ課スルト云フコトハ甚ダ經濟上、又關稅政策上、所謂製造業ガ帝國ニ於テ大ニ發展ノ見込アル諸外國ト競争ヲセンナラストコロノ其原料ニ稅ヲ課スルト云フコトハ甚ダ當得ヌト信ズル、故ニ賢明ナル政友會諸君ハ此帝國ノ一大產業デアル燐寸ノ原料ヲ無稅デアツタ政府案ニ修正ヲ加ヘラレテ五分ノ稅ヲ課セラレルト云フコトハ須ク改メラレタイト希望スルノデアリマス、是ダケガ私ノ意見デアリマス

現行法									
修正案									
修正説									
同	四	三	同	四	四	五	四	四	五
割	割	割	割	割	割	割	割	割	割
每百斤	同	同	每百箇	從	從	從	從	從	改
四 一 割 五 分	五 八 六 〇	六 〇 三 五	〇 六 〇	量	量	量	量	量	正
同	四	三	同	四	四	五	四	四	五
割	割	割	割	割	割	割	割	割	修
ノ	六	五	四	三	二	一	ノ	二	六
ノ	七	八	ノ	九	十	十一	ノ	三	五
石(機械用ノモノ)	ウオッヂグラス	其ノ他	文字板	鬚撥條	撥條	ムーヴメント	金製又ハ白金製ノモノ	銀製又ハ鍍金製ノモノ	懷中時計部品
						(著セサルモフ含ム)	(著セサルモフ含ム)	(著セサルモフ含ム)	懷中時計

○議長（長谷場純孝君） 武藤金吉君

〔武藤金吉君登壇〕

○武藤金吉君 本員ハ此關稅定率改正ノ委員長ノ報告ニ贊成ヲ致シマスル者ニアリマス、而シテ唯今進歩黨ノ代表者森田君マタ又新會ノ早速君カラ更ニ修正ノ意見が出居リマスガ、此關稅ノ改正ハ我が國民ガ幾多首ヲ延バシテ此關稅ノ議定權ヲ得ンガタメニ今日マテ待ツテ居ツタ案ニゴザイマス、吾ミハ本院ノ委託ニ從ヒマシテ十分ニ審査ヲ致シタモノアリマス、而シテ進歩黨、並ニ又新會ノ諸君カラ唯今御修正ニナック點ヲ拜聽致シマスレバ、其審査ノ杜撰ニシテ數字上ニ瓦ラサル點ガアル等ハ吾ノ甚大遺憾トスルノデアリマス、是等意見ヲ異ニスル點ニ付キマシテハ一ミ數字ヲ以テ争ハウト思フノデアリマス、（藏原惟郭君「モウ大體デ措ケ」ト云フ）然リ大體デアリマス、既ニ委員會ノ決定ニ對シマシテ同意見ノ點ハ意見ヲ述ブルノ必要ガナイノアリマス、故ニ意見ヲ異ニスル點ニ對シマシテ本員ノ意見ヲ述ベタイト思フノテアリマス、此第五類ノ芳香性ノモノ、油課稅ヲスルコトニナッタノデアリマス、此油ニ付テ森田君カラシテ痛切ナルトコロノ攻擊ガアリマシカ、此油ハ御承知ノ如ク石鹼ノ原料、香水ノ原料トナルモノニアリマシテ、又日本ニ輸入ニナリマシテ更ニ清國、朝鮮、若クハ濱邊マテ輸出ニナルモノアル、サウデアリマス、是等ハ實ニ一滴落シタナフバ其原料ニナルモノアツテ、實ニ贊澤物ニ屬スルモノアル、贊澤物ニ屬スルモノヲ無稅ニスル必要ハナイ、是等ノモノヲ無稅ニスルトサナキダニ「ハイカラ」ガ多クナッテ困ルノデアリマス、テ吾ミ委員會ハ此ノ如キモノハ一割ノ課稅ヲスルノハ相當デアルトシテ課稅ヲシタノデアリマス、ソレカラ次ハ第六類ノ議論ノ一番多い「クロール」酸加里ニアリマス、「クロール」酸加里ハ即チ鹽酸加里デアリマス、其原料ハ海岸カラ海藻草ヲ採シテ製造スルモノアツテ、即チ燐寸ノ原料ヲアル、爆發物デアル、而シテ政府ハ此「クロール」酸加里ニハ極メテ強キ反對ヲナセラテ居リマスガ、政府ノ御考モ未ダ此「クロール」酸加里ガ日本デ出來ルト云フコトノ研究ガ足ラナノイノアラウト思フノデアリマス、諸君此「クロール」酸加里ハ唯今燐寸ノ製造高ハドレケデアルカト言ヘバ、日本ノ内地デ使フトコロノモト外國ニ輸出スルモノト合セマスレバ一千萬圓アル、而シテ此「クロール」酸加里ノ使用高ハ委員會ニ於キマシテモ段々政府委員ニ質問ヲ致シマシタガ百万圓以内アル、又燐寸ノ外ニ其他ニドウ云フトコロニ使ハレルカト申シマスレバ、其他ニ使ハレルトコロノモノモ明カデナイノアリマス、免ニ角是ハ燐寸ノ原料トシテ有用ナ材料アルノデアリマス、而シテ此輸入スルトコロハ外國ノ「トラスト」ガ其全權ヲ有ツテ居シテ、日本デ是が出來ナイトスレバ其相場ヲ常ニ上上下下グラ致シマシテ、現在ノ相場ハ一斤十七錢デアリマスケレドモ、現ニ三四年前ニハ三十三錢マテ上ツタノデアリマス、若シ日本ニ此燐寸ハ大ナル間違アル、委員會ハ進歩黨ノ森田君ノ攻撃セラレタルガニモ上ゲルコトハ必定アル、然ルニ今此材料ガ我海岸ニアツテサウシテ持ヘルトスレバ、是ハ十一錢デ出來ルノデアリマス、此ノ如キ計算が出来ルニ拘ラズ、唯是ハ日本デ出来ナイト断定スルニハ大ナル間違アル、委員會ハ進歩黨ノ森田君ノ攻撃セラレタルガ如ク、或ル豪商ヲ保護スルトカ、豪商ト結託ヲスルガ如キトコロノ言葉ヲ以テ反對ヲセラレタノデアリマスガ、特別委員會ハ豪商ト何等ノ關係ハナリ、又政友會モ尙更何等ノ關係ガ無イノアル、唯我邦ノ產業ノ上カラ燐寸事業が大切ナル事業ナルが故ニ、此案ヲ鄭重ニ審査ヲシテ決定ヲシナケレバナラヌノアル、然ルニ何事ゾ此數字モ舉げズシテ漫リニ揣摩憶測ヲ逞ウスルト云フコトハ、實ニ森田君ノタメニ取ラザルノミナラズ、本員ハ斷ジテ此說ヲ容レヌノデアリマス、諸君、今試ミニ此燐寸ガドレダケ掛ルト云フコト

ヲ説明ヲ致シマスレバ、燐寸一頓ニ付テ「クロール」酸加里ハ一貫三百目乃至一貫四十匁マテ使フノアリマス、此價ガ一圓七十四錢乃至一圓九十三錢掛ル、假ニ一割課稅スルトスレバ十七錢乃至十九錢、是等意見ヲ付キマシテハ一圓七十四錢ニアリマス、委員會ノ課稅ハ五分ノ課稅デアル、燐寸一頓ガ八錢七厘ニ當ルノアリマス、其「クロール」酸加里ヲ以テ安全燐寸一頓ヲ造リマスレバ、其代價ハ十五錢乃至十八錢ニナルノアリマス、シタナラバ、掠ヘタ一頓ノ燐寸代金ニ對シマスレバ四毛五絲乃至五毛ニ當ルノデアリマス、何カ是が國家ノ營業ヲ害スル、此ノ如キトコロマテ研究ヲシナイテ、淺薄ノ議論ヲ以テ反對セラルルガ如キコトハ實ニ人民黨ヲ以テ任ズルトコロノ又シタナラバ、掠ヘタ一頓ノ燐寸代金ニ對シマスレバ四毛五絲乃至五毛ニ當ルノデアリマス、何カ是が國家ノ營業ヲ害スル、此ノ如キトコロマテ研究ヲシナイテ、シタナラバ、掠ヘタ一頓ノ燐寸代金ニ對シマスレバ四毛五絲乃至五毛ニ當ルノデアリマス、近來此文明ノ進歩ト共ニ此化學ノ作用ガ發達ヲ致シマシテ、天然藍及「アリザリン」染料ハ殆ド世界ノ染色業ニ普及シテ居リマスケレドモ、日本ニハ獨特ノ人造藍ガアリマシテ今日ト雖モ此人造藍ハ決シテ無用ノモノニアリマス、此單リ德島縣ノ產物デハナイ、三十餘縣到ル處藍ノ烟ノナイ處ハナリアリマス、然ルニ此藍製造業者ハ昨今ノ狀態ハ此輸入關稅ノタメニ人造藍ト「アリザリン」染料ノタメニ權衡が取レズシテ、稍衰微ノ兆來シテ居ルノアリマス、此點ハ内地ノ產業ニ鑑ミテサウシテ此稅率ヲ査定シタノアリマシテ、反對論者ノ言ハレルが如ク此染料ヲ值上グラシタナラバ染色業者ノミナラズ、此機業者ガ甚ダ迷惑ヲスルト云フガ如キハ是亦皮相ノ見ニアリマス、諸君、此織物業組合カラ屢々電報ガ來タガ、是ハ東京ニ居ルトコロノ染料商ガ、現行法律デ人造藍ノ率ハ三割ニナツテ居ル、而シテ此十二圓九十五錢ニ厘ニナツテ居リマスモ、二十三圓七十錢ニ上リマシタカラ、非常ニ上ツヤウデアリマスケレドノ如キ、又新會ノ如キガ織物業者ノ御機嫌ヲ取シテモ三稅廢止ト同様テ御無用デアラウト思フノアル、是等ニ付シハ深ク辯ズルマテモナク、政府モ反對ヲ致セラテ居リマス、諸君、此織物業組合カラ屢々電報ガ來タガ、是ハ東京ニ居ルトコロノ染料商ガ、反對ヲスルニ過ギシテ、決シテ是ハ織物業組合ノ意見デハナイ、今日ニ於テ進歩黨モ、現行率ノ規定ハ三割ニナツテ居ルノアリマス、是等ハ委員會ニ於キマシテモ其大部分ハ贊成デアリマシテ、又政府原案ヲ維持スルモノガアリ、又中央俱樂部ノ如キハ三割減ヲ主張シタノアル、黨派カラ申シマスレバ我黨ハ其中ノ中ラ採リマシテ一割六分モ、現行率ノ規定ハ三割ニナツテ居ルノアリマス、是等ハ委員會ニ於キマシテモ其大部分ハ贊成デアリマシテ、又政府原案ヲ維持スルモノガアリ、又中央俱樂部ノ如キハ三割減ヲ主張シタノアル、黨派カラ申シマスレバ我黨ハ其中ノ中ラ採リマシテ一割六分モ、現行率ノ規定ハ三割ニナツテ居ルノアリマス、是ハ公平ナ見地カラ之ヲシタノアリマス、ソレカラ其次ハ野蠶絲ゴザイマス、野蠶絲ハ又新會ノ早速君カラ贊成ノ光榮ヲ有シテ居ルノアリマシテ、大體ニ付キマシテハ早速君カラ御辯明ニナツテ居リマスカラ敢テ私が申ス必要ハナリノアリマス、ナインアリマスガ此山納ノ輸入ヲシテ此製造ハドウシテモ出來ナイ、政府當局ノ中殊ニ農商務省ハ是ハ出來ルト云フコトノ政府委員カラ屢々説明ニナリマシテケレドモ、ドウシテモ此野蠶絲ハ此氣候ノ差異、總テノ經濟ノ點男工、女工ノ相違カラシテ政府ノ説明スルガ如キモノアリマス、殊ニ是等ニ付キマシテハ此近來ノ發達ニアリマスカラシテ總ア調査研究付キマシテハ、御緩クリナセラテ居ルトコロノ政府當局者ハマグ此點ニ氣が付カレタノデアリマス、是等ハ當業者カラ其事實等ヲ吾ミハ親シク聽キ、又書イタモノアリマス、是ハ進歩黨ノ森田君ニ御スル方ガ確カアラウト云フコトニヨリアリマス、是ハ進歩黨ノ森田君ニ御

答ラ致スノデアリマス、其次が印刷料紙デアリマス、印刷料紙ニ付キマシテハ是ハ新聞用紙ニ付キマシテハ政府が新聞ニ御祝儀ヲ申上ゲタト云フ風説ヲ承ッテ居リマス、又雑誌、其他書籍等ノ陳情總アノ說ヲ聽キマシテ吾ミハ委員長ノ報告通り直スノガ此新聞用紙ハ均衡ヲ得タルモノアル、計算ノ上ニ於テ穩當ナルモノデアルシテ、斯ウ直シタノデアリマス、テ出來ナイノヲ知リツ、ニ漫リニ價格ヲ下グテ吾ミガヤレバモト低クシタト云フが如キトコロノ御機嫌ヲ取ルノハ、或ル極左黨ノ慣用ノ手段ト言ツテモ差支ナイ、（拍手起ル「モウ止メ給へ」ト呼フ者アリ）マダカレ、ソレカラ今度ハ此船舶ノコトハ論シマス、此船舶ノコトニ付キマシテハ森田君、早速君カラ御議論がゴザイマシタガ、是ハ船舶ニ關シマシテ兩君ノ意見トモ其船舶ニ付テノ論據ノ薄弱ナルニ驚クノテアリマス、諸君、此船舶ハ單リ我邦ノ運輸交通ノ便ヲ爲スノミナラズ國防ノ點ニ於テ思フ及ボサレナイト云フコトハ甚ダ殘念アリマス、諸君、近頃ノ新聞紙ニ依ツテ見マスレバ即チ又新會、進歩黨ノ聯合新政黨ハ其政綱ノニ軍備ニ付キマシテ掲ゲフレテ居ル、アノ政綱ハ強テ私が解釋スル必要モナイガ、如何ニ解釋フシタラ宜ノイデアルカ近日ニ分ルデアリマセウガ、軍備ノ充實ヲ期スルノテアリマスカ、以前ノ如ク消極的方針ヲ執ラレルノテアリマスカ、諸君、此船舶ガ我邦ノ大問題アルニモ拘ラズ、唯船ノ價が廉イノ高イノト云フ枝葉ノ議論ヲ以テ此修正案ニ反対ヲスルガ如キハ即チ龍車ニ螳螂が當ルが如キモノト同シテアラウト思フ、（「其議論ハ淺薄ナリ」ト呼フ者アリ）諸君日露ノ戰役ニ於キマシテハ此客船デナイトコロノ保護ヲ受ケテナイトコロノ船ガドレ位デアルト云フコトヲ調ベテ見マスレバ、實二百七十四隻ニアリマス、其噸數ハ三十八万七千八百十一噸デアリマス、唯今森田君ノ如キハ一噸ノ價ト一隻ノ價ヲ値段ヲ問違ヘテ論ジテ居ル、是ハ實ニ淺薄アル（拍手起リ笑聲起ル「御名論」ト呼フ者アリ）筆記ヲ御覽ナサイ、此ノ如ク一噸ノ價モ一隻ノ價モ知ラナイ代表者が此演壇テ船舶ノ議論ヲスルト云フが如キハ實ニ笑フニ堪エタルモノアル、（拍手起ル「水ヲ一杯飲メ」「其議論淺薄ナリ」ト呼フ者アリ）ソレデ此修正案ノ年限ヲ極メマシタニ付キマシテハ船ノ價ヲ論ズルモノデアリマセヌ、又政府カ此原案ヲ出シマシテ總噸數——每噸數ニ對シテ一圓ヲ課税スル趣意ハ委員會ニ説明スルトコロニ依レバ、是ハ老朽船ヲ澤山入レナイト云フ方針デアル、委員會ニ於キマシテモ御同様老朽船ガ澤山アルト云コトハイケナイ、唯其運輸交通ノ便ニ於テバカリテハナイ、國防ノ上ニ於テモ老朽船ヲ入レタクナイト云フノガ、一國民ガ舉シテ期待スルトコロデハアリマセヌカ、然ルニ此船ヲ唯輸入スルニ噸數ニバカリ依ツテスルト云コトハ甚ダ宜シクナインデアル、殊ニ此客船ト貨物船ノ區別ト云フコトニ付テモ研究シナケレバナラヌ、諸君、此一噸ノ十五圓ハ——政府案ノ一噸ニ付テノ十五圓ハ貨物船ニ付テハ是ハ苦痛税アリマス、禁止税アリマス、併ナガラ此老朽船ニ至リマシテハ、老朽船ノ價ヲ見マスレバ一噸ニ付キマシテ極ク廉イ船ハ一噸が三十圓乃至五十圓テ買ヘル船モアル、又新造船ハ二百圓乃至五百圓ノモノアリマス、テ此修正ヲ致シマシタ精神ハ此老朽船ヲ澤山入レタクナイ、故ニ十年ヲ超エザルモノハ十年經タト雖モ新造船ト同様アルカラ、政府ニ於テ毎噸十五圓ヲ取ツテノアル、其以上ノモノハ此十圓ト規定ヲ致シタノデアリマス、サウシテ此總アノ運輸交通、並ニ國防ニ對シ此老朽船ガ澤山入ラヌコトニナツテ、サウシテ此總アノ運輸交通、並ニ國防ニ對シモ多ナルトコロノ利益ガアルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ政府當局者ニ質問ヲ致シマシテ、海陸兩省ニ於キマシテハ吾ミノ満足スル答辯ヲ與ヘラレナイデアリマス、サウ致シマスレバ我邦ニモ、要スルニ此船舶ニ付キマシテハ或ル會社ヤ造船所ヲ保護スルノ精神デナク、委員會ハ十分ニ查察致シマシテ、此查定ヲ致シタノデアリマス、諸君政府ハ果シテ此船舶ニ

付テ如何ナル方針ヲ執ッタカ、政府ガ老朽船ヲ國內ニ置カナイト云フトコロノ點ハ政府ニ同意デアリマスケレドモ、政府が或ル造船會社ト結託ヲ致シテ外國船ヲ絕對ニ入レナイト云フコトハ宣シクナイ、諸君ニ菱造船所ノ如キ、川崎造船所ノ如キ、果シテ政府ト如何ナル關係ガアルカト云フコトハ論及スル必要ハナイガ、此日露戰爭ニ於テモ日清戦争ニ於テモ其運輸ノ便ヲ助ケ、交戰ノ利便ヲ助ケタノハ此郵船會社、東洋汽船會社、大阪汽船會社ト云フ國家ノ保護ヲ何年トナク多大ニ貢シテ居ルトコロノ會社ヨリモ、寧ロ保護ヲ貢シテ居ラストコロノ社外船ガ大ナル効ヲ爲シタト云フコトハ御承知アリマセウ、（「贊成」ト呼フ者アリ）果シテ然ラバ此ニ菱造船所、川崎造船所ヲ助ケルタメニ一方ニ禁止稅ヲ置クト云フコトハ宣クナイ、故ニ我黨ハ絕對ニ之ヲ断々乎トシテ、此ウガ、軍備ノ充實ヲ期スルノテアリマスカ、以前ノ如ク消極的方針ヲ執ラレルノテアリマスカ、諸君、此船舶ガ我邦ノ大問題アルニモ拘ラズ、唯船ノ價が廉イノ高イノト云フ枝葉ノ議論ヲ以テ此修正案ニ反対ヲスルガ如キモノト同シテアラウト思フ、（「其議論ハ淺薄ナリ」ト呼フ者アリ）諸君日露ノ戰役ニ於キマシテハ此客船デナイトコロノ保護ヲ受ケテナイトコロノ船ガドレ位デアルト云フコトヲ調ベテ見マスレバ、實ニ此反対派ノ論ズルトコロト、我黨ノ論ズルトコロトハ宣シク我國民ハ御覽ニナシテ御判斷下サツナツバ、自然ニ分ルト思フノテアリマス、其他ヘ別ニ駁撃スベキ——又其外ニ早速君カラ澤山ノ修正ガ出テ居リマスケレドモ、此又新會ノ御提案ニ付テハ貴重ノ時間ヲ割イテ論駁スルノ必要ナシト思ヒマスカラ、是デ此委員長報告ノ題意ニ贊成ヲ致ス演説ヲシタノテアリマス

〔「討論終結」ノ聲起ル〕

○伊藤大八君（「贊成」ノ聲起ル）

○議長（長谷場純孝君） 關稅案ノ全部ニ付テノ討論終結ノ動議ト看テ宜ウゴザイマスカ

○伊藤大八君 サウデス

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ討論ハ終結サレマシタ、——採決ハ斯ウシヤウト思ヒマス、多數ノ修正ガ出テ居リマス、清水市太郎君ハ第一項ニアリマスガ、ツレカラ鈴木總兵衛君、ツレカラ森田勇次郎君、就中早速整爾君ノ修正ハ四十箇條ニ亘スルモノデアリマス、之ヲ一々採決スルモ甚ダ手敵ヲ要スルコトデアルノミナラズ、諸君ハ既ニ修正著ノ演説ニ於テ能ク御承知ノコト、思ヒマスカラ、先以テ此修正案ヲ提出シテアルモノヲ全部書記ヲシテ朝讀致サセマシテ、ソレニ付テ採決シャウト思ヒマス

〔「朗讀ノ必要ナシ」「名前デ澤山ダ」ト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 議長カラ宣告シマス、諸君が朗讀スルノ必要ナシト、殊ニ此案ニ賛成ノ御方ノ中ヨリモ一々朗讀スルノ必要ナシト云フヤウナ聲モ聞エタノテアリマスカラ、ツレデハ朗讀ヲ省略致シテ、サウシテ鈴木總兵衛君が提出セラレタノハ鈴木案、森田勇次郎君其他ノ諸君ノ提出セラレタノハ早速案、斯ウシテ採決シテ御異議アリマセスカ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ其通り決シマス、無論此御提出来ニナシテ案ハ悉ク本日ノ速記録ニ載セテ置キマス
〔「ヒヤ」ノ聲起ル〕

○議長（長谷場純孝君） 先ダ一番小サナ——小サナデヤナイ、少イ修正案、即チ清

水市太郎君ノ第百七十六「クロール」酸加里是ニ修正ノ意見が出て居リマス——清水森田案ニ同意ノ諸君ノ起立

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 定規ノ贊成ガアリマセヌ、次ニ鈴木案ヲ採決致シマス——皆サン御著席ヲ請ヒマス——即チ鈴木案ノ第十六類ノ修正ニ贊成ノ諸君ノ起立

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 定規ノ贊成ガアリマセヌ、次ニ森田君其他ノ修正案、即チ森田案ニ同意ノ諸君ノ起立

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數——次ニ早速整爾君其他提出ノ修正案ニ同意ノ諸君ノ起立

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數——其他總テ關稅定率法案ハ委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、即チ第二讀會ハ是ニテ委員長ノ報告通リ決シマス

(拍手起ル)

○伊藤大八君 讀會ヲ省略シテ確定ニ至ランコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議、本案ノ讀會ヲ省略シテ確定スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 讀會ヲ省略シ本案ハ是ニテ確定致シマス

確定議

○議長(長谷場純孝君) 日程第九、製鹽地整理ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長佐竹作太郎君

第九 製鹽地整理ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(佐竹作太郎君登壇)

○佐竹作太郎君 製鹽地整理ニ關スル委員會ノ經過ト結果ヲ報告致シマス、委員會ハ委員中ヨリ特別委員ヲ選ビマシテ調査ヲ付託シ、又數回委員會ヲ開キマシテ慎重審議致シマシタ結果、本案ニ修正ヲ加ヘマシテ多數ヲ以テ可決致シタノアリマス、修正正ノ簡條ニ付テ申上ゲマス、本案第七條中ニ「其裁定ニ不服アルトキハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトヲ未ニ加ヘタノアリマス、又第八條第一項、三百四十萬圓トアルノヨニ三百二十萬圓ニ改メタノアリマス、二十萬圓ヲ減少シタル理由由ハ、製鹽地ノ中ニ機械デ製造スル製鹽地ガアリマシテ、其分モ三百四十萬圓ノ計上シテアルコトアリマスガ、能ク質シテ見マスト、政府モ機械製鹽者ニ對シテハ賠償ヲスルノ要ガナカラ

ウト云フコトニアリマシタカラ、彼此ヲ參酌シテ公債額ヲ一十万圓減少シタ次第デゴザマス、右ノ修正ニ對シテハ政府モ絕對ニ不同意ハ主張セヌト云フコトニアリマス、尙本案提出ノ理由、又本案ニ對シテ委員會ニ於テ贊否ノ意見ガアリマシタガ、其詳細ハ速記録デ御覽ヲ願フコト、シテ此ニ報告ヲ省略致シマス

○議長(長谷場純孝君) 高木正年君

(高木正年君登壇)

○高木正年君 私ハ唯今佐竹委員長ヨリ報告セラマシタ製鹽地整理案ナルモノ、委員長ノ報告ニ反対スルモノアリマス、委員長ノ報告ニ反対スルノハ據テ本案ニ對スル反対ニナルノアリマス、唯今委員長ハ此整理法案ノ實體ニ付テ話サレタヤウデアリマスガ、如何ニモ低聲ニシテ聽クコトガ出來ナカッタ、私ハ反対ノ理由ヲ申ス前ニ先づ此法案ノ實體ヲ申シテ置カケレバナラヌ、政府ノ云フコトヨリ依ルト、内地製鹽地ノ千九百町歩ヲ整理シア、之ニ對シテ二百四十萬圓ノ金額ヲ賠償金トシテ與ヘ、此整理セラレタル鹽田ヨリ生ズル製鹽一億一千万斤ヲ減ズルト同時ニ、満洲及臺灣ヨリ是ト同額ノ鹽ヲ輸入シテ、是等ノ間ニ於ケル差金百斤ニ付テ三十七錢、此差金ハ一億一千万斤ノ上ニ於テ四十一萬圓ニナル、此差金ニ依シテ四十一萬圓ノ利益トル上ニ、五十六箇所ノ專賣局出張所ニ要スル俸給、諸給、廳費二十萬圓ヲ減ゼラル、カラ、之ヲ併セテ六十萬圓ノ金額ヲ以テ内地ノ輸送費ヲ減ジヤウトスルトコロノ案デアリマス、此ノ如ク申シマスト、此法案ハ聊鹽ノ需用者ニ取ツテ利益アル案ノ如クデアリマスガ、頗ル政府ノ云フ提出来ノ理由ナルモノニ付テハ疑ノアルモノアリマス、有體ニ此法案ノ實質ヲ暴露致シマシタナラバ、實ハ四十一年、四十一年ノ製鹽ノ豐作ニ依シテ所謂生產過剩ヲ來シタタメニ、政府ハ專賣法ニ依シテ勢ヒ出來タダケノ鹽ヲ買ハナケレバナラヌカラ、之ヲ買ヘバ國庫ノ中ニ製鹽が充満シテ、終ニ之ヲ處分スルコトが出來ヌト云フ運命ヲ來シタノデ、現ニ四十三年ニ持越シタ鹽ハ幾許デアルカト云フニ一億九千万斤デ、之ニ即チ苦シニ居ルノデアル、果シテ政府ノ云フが如ク内地鹽田ノ千九百町歩ヲ整理シ、之ヲ賠償シ、之ヲ轉業セシメテ、之ニ代ル一億一千万斤ヲ滿洲、臺灣ヨリ輸入スルコトが出來ルヤ否ヤト云フニ、若シ、本年ニ於テ再び製鹽ノ豐作ヲ來シタナラバ恐ラク此目的ハ達シナイデアラウト思フ、一體此法案ハ鹽ノ賣價ヲ廉クスル、國民ノ日用品タル鹽ノ價ヲ廉クスル上ニ於テ仕組シング案ニハ相違ナイガ、其内容ハ專賣法ノ不備ナル上ヨリ、所謂生產過剩ノタメニムナクスル法案ヲ編出サレタルモノト云ウテ誤ラヌノデアル、若シ政府ガ誠實ニ鹽ノ價ヲ廉クスルト云フナラバ、何ヲ苦シテ此ノ如キ法案ヲ出スカ、思フニ今日ノ鹽ノ價位凡く高イモノハナイ、是ハ決シテ所謂專賣率ノ高キタメニアラズ、政府が殊更ニ鹽ノ買上價格ヲ増加シテ、而モ之ニ對シテ何等ノ注意モ拂ハナイデ、鹽其モノ、價格ヲ高クシツ、アルカラデアル、試ミニ三十八、九年ノ專賣法實施當時ノ買上價格ハ幾ラデアルカト云フニ、百斤ニ付テ七十六錢デアル、是ガ今日ハ九十六錢、四十一一年ニハ一圓ト云フコトガアッタ、是ハ總テ五等鹽ニ付テアリマス、鹽ノ價ナルモノハ何ヨリ生ズベキカ、鹽ノ價ニ於テ加算スベキ重ナル分子ハ何デアルカト云ヘバ、一ハ燃料、一ハ人ノ雇料デアル、燃料ハ三十八、九年ヨリモ今日ニ於テハ一割以上モ下落シテ居ル、殊ニ製鹽地ニ於テ用ユル石炭ノ如キハ泥交リノ粉炭デアル、是ガ戰時需用ノ多イ工業モ、今日ヨリカ盛アルトキト今日トハ其間ニ相違ノアルコトハ云フマデモナイコトニアリマス、又雇人ノ賃料ハ何ヲ重モナル分子トスルカト云フニ、所謂穀物ノ價デアル、第一米ノ價ニ於テ三十八、九年ト今日ト比較スレバ今日ハ三割以上モ下落シテ居ル、然ルニ物價ノ標準ヨリ、若シ鹽ノ價が生ズルモノトセバ、三十八年ニ於テ七十六錢デアッタモノハ、

今日テハ其以下ニ下落スルが當リ前デアルニ、之ニ反シテ今日ハ九十六錢ノ高價ニ政府ハ買收シテ居ルノデアリマス、若シ政府が是等ノ間ニ於テ十分ニ其價ノ公平ヲ保ツコトニ注意セラレタナラバ、少ナクトモ此價ノ上ニ於テ十錢乃至十五錢ヲ減ズルハ容易ノ業デアルト私ハ信ズルノデアリマス、鹽ノ價ノ高イト云フ上ニ付テノ一例 證トシテ見ルベキハ鹽田ノ利益ノ増大シタルコトデアリマス、鹽田ノ利益ノ増大シタルハ即チ鹽田ノ價ノ増加シタルコトガ其最モ好キ證據アルノデアリマス、營テ專賣法ノ行ハレザリシ以前ニ在テ、一町五段ノ鹽田ハ僅ニ四千五百圓乃至五千圓内外ノ價ヲ持ツテ居ツダガ、昨年以來此價ノ比較ヲ調ヘテ見ルト、最モ高キハ一万二千圓、乃至九千圓、一万一千圓、殆ド三倍若クハ一倍半ノ間ニ此鹽田ノ價ノ増加シテ居ルト云フコトハ、即チ鹽ノ買上價格ノ如何ニモ不相當ニシテ、鹽田主が非常ナ暴利ヲ貪リツ、アルト云フコトが此間ニ説明サレルノデアリマス、サレハ若シ政府ニ於テ買上價格ノ中ニ於テ物價ノ標準ヨリ假三十錢ヲ減ズルトスト、内地鹽ノ產出額九億七千万斤ニ對シテ九十七萬圓ノ金額ハ、三百四十萬圓ノ公債ヲ出シテ一年六十万圓ノ利益ヲ得ルト云フガ如キ迂闊ナ手段ヲ執ラズシテ、國民ハ已ニ總テノ需用ノ上ニ十錢廉ク鹽ヲ買得フレルノデハゴザイマセヌカ、若シ十五錢ヲ減ズルトストレバ、一年ノ之ニ對スルトコロノ鹽ノ廉カルベキ高ハ百四十五万五千圓トナルノデアリマス、私共が製鹽地整理法ニ反對スル重モナル理由ハ、單リ此提出理由ノ不明ナルノミデハナインデアリマス、政府ハ一千九百町歩ノ鹽田ヲ整理スレバ、海外ヨリ廉キトコロノ鹽が買得ラレルト、斯様ニ申スノデアリマス、且委員會ニ於ケル政府ノ答辯ニ依テ見ルト、滿洲ニ於テハ一年約四五百町歩ゲ、ノ鹽田が開ヶシ、アル、臺灣ニ於テモ同様デアル、若シ此言ノ如クナリセバ、臺灣ニ於ケル、滿洲ニ於ケル鹽田ノ開發ハ日一日トシテ多クナッテ來ル、此時ニ於テハ更ニ再ビ内地ノ鹽田ヲ整理シテ更ニ二千町歩ヲ賠償シ、更ニ三千町歩ヲ賠償スルト云フコトニ歸著スルノデアリマス、是ハドウデアリマセウカ、決シテ製鹽地整理法案ハ直ニ三百四十萬圓ノ金額ヲ以テ打留メルト云フコトヲ承知セバナラヌノデアリマス、殊ニ私共ハ最モ此案ニ反對スル理由ヲ更ニ今ニ一ヶヲ加ヘテ居ルノハ何デアルカト云ヘ、鹽專賣ナルモノハ今年ノ議會ニ於テハ不幸ニモ其法案ニ對シ否決セラレタノデアリマス、併ナガラ鹽專賣法案ハ本年ニ於テ否決セラレタリト雖モ、尙ニニ對スル廢止ノ未來ヲ有シテ居ルノデアリマス、若シ唯今申ス如ク、製鹽地整理法ニ依シテ鹽田ノ運命ヲ國家が荷フモノトナリマシクナラバ、永遠ニ鹽專賣ノ廢止ノ前途ヲ暗黒ナラシムルモノト云ハネバナラヌノデアリマス、鹽專賣ノ廢止ヲ打切ルモノト云ハネバナラヌノデアリマス、產業ノ發展、實業ノ獎勵ハ是非トセネラヌト云フコトハ、屢々諸君が此議場ニ於テ仰セラレバ、トコロニアリマス、私共諸君ト共ニ同一ナル叫びヲ爲サントスルノデアリマスガ、如何ナルコトが最モ此産業發展ノ根據デアルト云ハ、悲ムベシ我國ニ於テハ資本が豊富アナイ、材料が豊富デナリ、唯一ノ顧ミトナズベキトコロハ、即チ勞働賃ノ廉價ナルノデアリマス、私ハ想フ、若シ我國ニ於テ今日ノ如ク消費稅が日ニ益々增加シテ、國民生活ニ困難ヲ唱フル其極度ハ、遂ニ我國ノ工業ヲ舉ゲ、農業ヲ舉ゲ、總テ廢滅スル機運ヲ招クヤ否ヤト云フコトニ付テ深ク憂慮ヲ懷イテ居ルノデアリマス、今日ハ支那ノ國民が未ダ工業國タル國民トナラヌノ幸デアルノデアリマス、若シ一朝彼ノ國人ニシテ工業ニ手ヲ染メテ一度工

業國タルトコロノ光ヲ發スルトキニハ、我國ノ勞働者ノ位置ハ如何ナルベキカト云フコトハ、豫メ今日ニ於テ考ヘ置カネバナラヌノデアリマス、看ヨ滿洲ニ於ケル支那勞働者ノ貨銀ハ幾何デアル、嘗テ私ハ南滿鐵道ノ工事目論見書ヲ讀ンデ、彼ノ工夫ノ價一日四十錢ト云フ廉キニ驚イタノデアルガ、更ニ之ヲ滿洲在住ノ我邦人ニ尋ねテ見マスルト、山東省ヨリ來テ満洲デ農業ニ從事スル彼ノ苦力ノ如キハ一日僅ニ二十錢、而モ彼レ一日費ストコロノ生活費ナルモノハ、一食ニ一椀ノ高粱、其價ハ僅ニ二錢夏ノ如キハ夜多クハ野ニ寢ルト云フ有様アルカラ、一日十錢ヲ以テ彼等勞働者ハ生活ヲ爲シ得ルト云フコトヲ聞イタノデアリマス、「十錢ノ勞銀モ彼等ハ其半ヲ殘シテ冬ニナレバ山東省ニ歸ルト云フコトハ満洲ニ於ケル事實ノ狀態アルノデアリマス、斯様ニ考來リマスト、寧ロ我國民ハ此ノ如キ消費ニ關スル租稅ノ掛ラザル支那國民ヲ羨マネバナラヌノデアリマス、產業發展ヲ講ズル上ニ於テハ是非トモ生產費ヲ減殺セバナラヌ、農業ニマレ、工業ニマレ、最モ生活ニ必要ナル鹽ノ如キモノニ付テ重稅ヲ課シ、而モ之ヲ以テ國家ノ收入ト爲スト云フガ如キハ、文明國トシテ愧ヅベキ舉動アルト私ハ言フコト憚ラヌノデアリマス、ソレガ故ニ此專賣法廢止ヲ打切ルトコロノ製鹽地整理法案ニハ勢ヒ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、嘗テ專賣法廢止ニ付テ幾多ノ反對ガタタナレドモ、是ハ專賣法廢止ニ反對ニアラズシテ財源ノ如何、即チ時期ノ問題題ニ在ルノデアリマス、嘗テ茲ニ議場ニ居ラル、トコロノ大政黨諸君モ鹽專賣廢止ノ建議ヲセラレタコトガアルノデアリマス、鹽專賣ノ廢止ナルモノハ今日ノ輿論アツテ、而モ其輿論ナルモノハ未來ニ於テハ大ナル望ヲ有スルノデアリマス、私共ハ國民ニ忠實ナル諸君ノ立場トシテ、何故ニ此案ニ對シテ政府ニ贊助セラル、カヲ疑フノデアリマス、私ハ幸ニ此議場ニ立テ此法案ニ反對スル自由ヲ有スルノ喜びノデアリマス、諸君、願クハ多年御主張ニ於テ尙其御記憶ニ存スルナラバ、願クハ私ト同様、此法案ニ對シテ反對ノ意思ヲ表白スルニ躊躇セラレザランコトヲ深ク熱望スルノデアリマス(拍手起ル)

(吉植庄一郎君登壇)

○吉植庄一郎君 政府ノ支出シタ案ニハ餘リ贊成シタイト思フ案ハ少ナイガ、此案ダケハ絕對ニ贊成デアリマス、唯今反對ノ高木君ヨリ縷々御演說ガゴザイマシテ、實ハ高木君ニ對スル敬意トシテ、成ルベク高木君ノ御演說ニハ餘リ觸レバニ本員ノ主張ヲ述ベヤウト思ヒマス、反對ノ要點ハ此案ヲ通過セシムレバ鹽專賣ノ打切ニナル、鹽專賣廢止論ノ打切ニナル、是が甚ダ遺憾アルト云フコトガ反對論者ノ議論ノ根據アル、本員ノ見ルトコロニ於キマシテハ、此案ハ諸君が多年渴望ラシテ居ルトコロノ鹽專賣ヲ廢止スル第一ノ手段、第一ノ階梯アルト確信スルノデアリマス、何ヲ以テ之ヲ言フカ、元來鹽專賣制度ナルモノニ付テハ此成立ノ歴史ヲ顧ミナケレバナラヌ、現在ニ行ハレテ居ル鹽ノ專賣制度ナルモノハニツノ目的ヲ有シテ居ルノデアル、第一ニハ内地鹽田ノ保護第二ニハ增稅、國庫ハ收入ヲ圖ルト云フ以上ニ二ツノ目的ニ依テ、現在ノ制度ト云フモノハ抑立テラレタモノデアリマス、故ニ反對ノ諸君が年々歲々此鹽專賣廢止ノ議論ヲ御絶考ヘリコトハ即チ經綸デアリマス、此手段トシテハ第一ノ目的ニナツテ居ルトコロノ内地鹽田ノ保護ヲ必要ナリスルガ、内地ノ製鹽ハ實費ニ於テ三等鹽、四等鹽デ、一圓以

上ノ高キ費用ヲ要スルノデアル、而シテ關東州、臺灣等ノ鹽ハ五十錢ヨリ六十錢ノ間ヲ上下シテ居ルノデアル、即チ百斤ニ付テ四十錢以上ノ差額ガアルノデアリマス、此故ニ自由競争ノ下ニ置キマシタナラバ、日本ノ鹽田ナルモノハ立所ニ潰レテシマフノデアル、四千町歩ノ鹽田、十萬ノ就業者ガ、外鹽ノタメニ忽チ其產業ヲ失フトコロノ慘状ヲ呈スルノデアリマス、之ガタメニ一方ニ於テハ鹽ノ輸入ヲ制限スルノ目的ニ於テ、鹽ノ專賣ヲ必要ナリトシタノデアル、又一方ニ於テハ當時日露戰爭ノ際テアッテ、非常特別稅ヲ起ス場合デアッタルガ故ニ、增收ノ目的ヲ之ニ加味シタノデアル、即チ此二ツノ目的ヲ有シテ居ルノデアルカラ、之ヲ廢セントスルナラバ、先づ其方法トシテハ第一ニ此内地鹽田ノ始末ヲシナケレバナラヌ、又新會ノ諸君が委員會ニ於テ御論シニナルトコロヲ聽キマスルト、此ノ如ク經濟上ノ競爭ニ於テ自然ニ負ケルトコロノモノハ自然ニ放任シテ置イテ宜シイ、國家ガシテ保護スルノ必要ナイデハナイカト云フ御論ガアリマシタケレドモ、是ハ實ニ意外千萬、國民ノタメニ常ニ國民ノ利益ヲ絶叫セラル、又新會ノ諸君トシテハ、此ノ如ク國民ニ不忠實ナル御議論ハナシ管テアルト私ハ思フノデアル、苟モ國家ト云フモノが存在スケレバ他ニ用方ノ殆ド無イモノデアリマス、大部分ハ荒廢ニ屬セネバナラヌモノデアリマス、此國民ノ一部ノ產業ヲ絕對ニ廢滅スルコトヲ傍観シテ宜シカ、十萬ノ專業者が道途ニ如キ壓迫ヲ被ルノデアリマシテ、而モ轉業スルコトノ出來ナイモノデアル、桑ヲ茶ニ換ヘル、若クハ小豆ヲ大豆ニ換ヘルト云フが如キ簡単ナルモノニアラズシテ、鹽田ハ鹽ヲ捨ヘナシテモ顧ミルニ足ラスト云フが如キコトハ、苟モ忠貞ナル國民ニ對スルノ禮デナイト思フ（少數ノ國民ノミヲ保護スル勿レト呼フ者アリ）諸君ハ常ニ少數黨ノタメニ氣ヲ吐イテ居ルテハゴザイマセヌカ、而シテ此主意カラ申シマスト、内地鹽田ノ整理ヲスルコトハ、鹽專賣ノ制度ヲ漸次ニ廢滅セシメテ行クトコロノ捷徑デアル、今回提案ニナシタトコロノモノハ、即チ此主意ニ於テ先づ日本ニ於ケル最劣等ノ鹽田ヲ整理シ、之ニ依シテ鹽價ノ低廉ヲ圖ルト云フノデアル、何が惡ルイ、實ニ政府ハ諸君ノ目的ニ最モ適フヤウニ此案ヲ出シテ來タノデアル、政府ノ説明ニ何デモ宜シイ、吾々ガ之ヲ審査致シテ、如何ニモ是ハ將來鹽ノ高キ價ヲ低減スルニ於テ最も便利ナル方法アル、此處ニ行カナケレバナラヌ方法デアルト云フコトヲ見出ス以上ハ、之ヲ贊成スルニ何カアラン、殊ニ内地ノ鹽業ト云フモノハ今申上ゲマシタ通り、百斤ニ付テ外鹽ニ比較致シマシテハ四十錢以上ノ高キ費用ヲ要サケレバ出來ヌトコロノモノデアリマス、此經濟上ノ不自然ナル狀態ハ、到底人爲ヲ以テ長ク保護スルコトハ出來ナインデアリマスルガ故ニ、今回ノ整理ヲ一著負擔スレバ、内地鹽田ノ保護ト云フモノハ絶對ニ、永遠ニ、問題ニナラナクナシテシマフノデアリマス、而シテ其結果ハドウナルカ、此内地ノ鹽田ヲ廢シテ悉ク外鹽ヲ輸入スルト云四十錢以上ノ差額が生ジマスガ故ニ、一箇年ニ於テ國民ノ利益スルトコロハ即チ五百萬圓以上ニナルノデアリマス、現在仕拂テ居リマスト、此ニ五百萬圓ノ金ハ五朱ノ利ヲ掛ケルト、百七十五万圓バカリ年タ拂ヘバ、日本ノ内地鹽田ノ整理ハ全部出來上ルノデアリマス、此鹽田ノ整理ノ結果トシテ、茲ニ年額僅ニ百七十五万圓ノ利息ヲ國民が負擔スレバ、内地鹽田ノ保護ト云フモノハ絶對ニ、永遠ニ、問題ニナラナクナシテシマフノデアリマス、而シテ其結果ハドウナルカ、此内地ノ鹽田ヲ廢シテ悉ク外鹽ヲ輸入スルト云四十錢以上ニナルノデアリマス、現在仕拂テ居リマストコロノモノハ、更ニ鹽專賣ノタメニ増稅が掛ケテ居リマスガ故ニ、尙大キノデアリマスケレドモ、其正味ノ計算ニ於テ一箇年ニ五百萬圓以上ノ利益ヲ國民が得ル、即チソレダケノ價ハ鹽ニ於テ廉クナルノデアリ

マスケレドモ、此鹽田ノ整理悉ク終シテ、而シテ更ニ一方ニ於テ政府ノ增收ノ點ヲ漸次ニ地租ヲ輕減致シタル如ク、財政ノ許ス限リ、財源ノ生ジタルトキニ於テ、漸次ニ此收入ヲ廢シテ鹽價ヲ低落シテ行キマシタナラバ、結局ノトコロハ此鹽專賣法ヲ實施致シタル時代ヨリモ、即チ其當時百斤一圓六錢以上テ買ツテ居ツタ鹽ガ、愈々此整理ヲ終シタ後ニナリマスルト云フト、百斤五十錢内外ノ鹽ヲ國民が使フコトが出來ルト云フコトニナルノデアル、此ノ如キ良法ガ諸君ノ前ニ幸ニ茲ニ示セラレテ居ルニモ拘ハラス、鹽專賣廢止ヲ唱ヘル諸君ガ、之ニ反對スルノハ何ノ理由デアルカ、實ニ諸君ノ反對スルトコロノ理由ヲ吾々ハ發見スルコトニ苦ムノデアリマス、此理由ニ依リマシテ本員ハ、此提案ハ第一ニ鹽ノ價格ヲ下ゲルモノデアル、第二ニハ内地鹽田ノ整理ヲスルトコロノ第一步デアル、第三ニハ鹽專賣ノ制度ニ依シテ、鹽價ノ非常ニ高イト云フコトヲ根本的ニ覆ストコロノ計畫ノ是が第一ノ階段デアル、此理由ニ依シテ本案ニ對シテ贊成ヲ表スルモノデアリマス○長晴登君 チヨット質問ガアリマス、總理大臣が御出席ニナシテ居リマスカラシテ、此所ニ言明セラル、トコロニ依レバ、略々其意ノアルトコロハ分シテ居リマスケレドモ、尙新シク會ハ到來セズシテ居リマシタガ、今度ノ整理案ヲ見ルニ、此鹽政、即チ鹽ノ政策ニ對スルニノ紀元ヲ加ヘタモノト私ハ存シマス、ソレハドウテアルカト言ヘバ、委員會等ニ於テ政府ノ言明セラル、トコロニ依レバ、略々其意ノアルトコロハ分シテ居リマスケレドモ、尙新シク此所ニ言明セラル、此鹽專賣政策ハ將來ニ於テハツマリ收入主義ヲ取ラズシテ、機會ノアル毎ニ鹽價ヲ引下ゲテ、而シテ鹽價ノ全國ニ於ケル均一ヲ圖シテ、國民ニ便宜ヲ與ヘル方針ヲ採シテ往ク、斯ウ云フ點ニ付テ御明言ヲ此際御願ヒシタイ、其點ガ明カニナレバ隨シテ吾々が贊否ノ考モ違フノデアル

（内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇）

○内閣總理大臣（侯爵桂太郎君） 唯今此議場ノ議題ト相成シテ居リマス鹽田整理案ニ付キマシテ先刻ヨリ種々反對、若クハ贊成ノ御演說ヲ拜聽致シタノデアリマス、唯ニモ是ハ將來鹽ノ高キ價ヲ低減スルニ於テ最も便利ナル方法アル、此處ニ行カナケレバナラヌ方法デアルト云フコトヲ見出ス以上ハ、之ヲ贊成スルニ何カアラン、殊ニ内地ノ鹽業ト云フモノハ今申上ゲマシタ通り、百斤ニ付テ外鹽ニ比較致シマシテハ四十錢以上ノ高キ費用ヲ要サケレバ出來ヌトコロノモノデアリマス、此經濟上ノ不自然ナル狀態ハ、到底人爲ヲ以テ長ク保護スルコトハ出來ナインデアリマスルガ故ニ、今回ノ整理ヲ一著負担スレバ、漸次ニ全國ニ散在スル鹽田ヲ買收シテ、而シテ之ニ賠償金等ヲ交付スルナラバ、此ノモハ即チ足ルノデアリマス、此ニ五百萬圓ノ金ハ五朱ノ利ヲ掛ケルト、百七十五万圓バカリ年タ拂ヘバ、日本ノ内地鹽田ノ整理ハ全部出來上ルノデアリマス、此鹽田ノ整理ノ結果トシテ、茲ニ年額僅ニ百七十五万圓ノ利息ヲ國民が負擔スレバ、内地鹽田ノ保護ト云フモノハ絶對ニ、永遠ニ、問題ニナラナクナシテシマフノデアリマス、而シテ其結果ハドウナルカ、此内地ノ鹽田ヲ廢シテ悉ク外鹽ヲ輸入スルト云四十錢以上ニナルノデアリマス、現在仕拂テ居リマスト、此ニ五百萬圓ノ金ハ五朱ノ利ヲ掛ケルト、百七十五万圓バカリ年タ拂ヘバ、日本ノ内地鹽田ノ整理ハ全部出來上ルノデアリマスガ故ニ、尙大キノデアリマスケレドモ、其正味ノ計算ニ於テ一箇年ニ五百萬圓以上ノ利益ヲ國民が得ル、即チソレダケノ價ハ鹽ニ於テ廉クナルノデアリ

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通リ……

○議長（長谷川純孝君） マダ通告ガアリマスガ、討論終結ノ動議デスカ

〔討論終結「贊成々々」ト呼フ者アリ「公平ニ發言ヲ御許シニナシテハドウデスカ〕ト呼フ者アリ

○伊藤大八君 討論終結ノ動議ヲ出シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通リ……

○議長（長谷川純孝君） マダ通告ガアリマスガ、討論終結ノ動議デスカ

〔討論終結「贊成々々」ト呼フ者アリ「公平ニ發言ヲ御許シニナシテハドウデスカ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 討論終結ノ動議が出て賛成ガアリマスカラ採決致シマス、討論終結ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアレバ採決致シマス、討論終結ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者

○議長(長谷場純孝君) 多數ニ依フテ討論ヲ終結致シマス

○伊藤大八君 (義三述ヘタ通りノコトヲ希望致シマス)

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り決シタ云フ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス、委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ下呼フ者アリ)

製鹽地整理ニ關スル法律案

(異議ナシ異議ナシ下呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ、本案ハ是ニテ確定致シマス、

日程第十乃至第十一ノ議案ハ同種類ニシテ、提出者モ同一ナルニ依ツテ、一括シテ議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ下呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ市制中改正法律案外一件ノ

第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、提出者村上先君

第十一 市制中改正法律案(村上先君提出)
第一讀會

確定議

市制中改正法律案(村上先君提出)

第一讀會

但一級ノ數五名以下ナルトキハ其次ノ納額最多キ者ヨリ順次繰入レ五名

トス

第一十四條第一項ヲ削ル

第五十五條第一項中「第四項」ノ下ニ「第五項」ヲ加フ

同條第二項中「第五項」ヲ「第六項」ニ改ム

町村制中改正法律案

町村制中左ノ通改正ス

但一級ノ數五名以下ナルトキハ其次ノ納額最多キ者ヨリ順次繰入レ五名

トス

致ス、斯ウ云フ意味デス、ソレカラ市ノタメニ請負ヲ爲ス者、或ハ請負ヲ爲ストコロ、出人、是等ハ情實ノ關係ヲ有シテ居リマスカラシテ、固ヨリ其市町村議員ニナルコトハ出

來ナイン、アリマスニモ拘ラズ、今日マデハ是等ノモノハヤハリ議員トシテ當選ニナシテ居リマスカラシテ、此度ノ改正案ニ於テ此情弊ヲ救フガタメニ此ノ如キモノハ一切市町村會議員ニナルコトハ出來ナイト云フ規定ヲ設ケタ次第ニアリマス、ソレカラ唯今ノ市町村

制ノ選舉ハ皆サン御承知ノ如ク投票ヲ封シテ出スノテ、而シテ是ハ他ノ郡制、府縣制ナドノヤウデアリマセバ、自書シマセヌデ宜シイノデス、他人ニ書イテ貴シテ封狀ヲ以テ出シ

マスレバ宜シイ規定ニナシテ居リマスノテ、此タメニ非常弊害が起ル、又其タメニ訴願或ハ行政裁判ノ訴訟等ハ澤山アリマスノテ、是等ノモノハヤハリ衆議院議員ノ選舉、ソレカラ府縣制ノ選舉、郡制ノ選舉同様ニ一定ノ用紙ニ記載ヲ致シマシテ投票シ、又自

ラ被選舉人ノ姓名ヲ書クコトが出來ナイ者ハ、之ニ選舉權ヲ與ヘナイト云フコトニ致シマスレバ、頗ル各選舉ニ於ケル系統ガ一貫致シマシテ、大層好都合ニアラウト思フノアリマス、其外ノ一三箇條ハ甚ダ簡單ナモノアリマスカラ、是ハ委員會デ詳シク説明致シマス、要スルニ此本員ノ提出ニ於テハ市町村制、百四十箇條ニ對シマスルト云フト殆ド大海ノ一滴ト申シテ可ナルモノアリマスカ、併ナガラ此大海ノ一滴タルトコロノモノニハ頗ル妙味ヲ持テ居リマスカラ、是非第二十六議會ニ於テ、兩院ヲ通過致シマシテ、此改正案が法律トナツテ現ハレルコトヲ、切ニ希望スル次第ニアリマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス（拍手起ル）

○伊藤大八君（兩案ハ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託セシコトヲ望ミマス）

○議長（長谷場純孝君）（日程第十、十一ノ兩案ハ一括シテ、議長指名ノ委員九名ニ付託ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）
○議長（長谷場純孝君）（御異議ナイト認メマスカラ、其通り決シマス、日程第十一、鑛業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、提出者安東敏之君外二名—安東敏之君

○議長（長谷場純孝君）（御異議ナイト認メマスカラ、其通り決シマス、日程第十一、鑛業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、提出者安東敏之君外二名—安東敏之君

第十二 鑛業法中改正法律案（安東敏之君外二名提 出）

鑛業法中改正法律案

第八十一條第二項中「及鐵鑛」ヲ「鐵鑛及亞炭」ニ改ム

第八十三條中「採掘ニ付テハ四十錢トス」ヲ「採掘ニ付テハ四十錢トシ亞炭ハ其ノ三分ノ一トス」ニ改ム

○安東敏之君（當席カラ申述ベマス（登壇ニ及バヌ）ト呼フ者アリ）此席カラ述べマス、而シテ最モ本案ハ地方ノ一部ニ限レル極メテ小ナル問題アリマスカラ、殊ニ此光景ノ場合ニ於テ長ニシク理由ノ説明ヲ致シマセヌ、要ハ添付シテゴザイマスル理由書ニ、其説明ノ概要が盡シテアリマス、之ニ付テ御覽ヲ願ヒタイ、而シテ此ノ如ク説明ヲ簡單ニ致シマスルノハ、決シテ提出シタル議案ヲ提出者、自ラが輕蔑スルノデモ不忠實ニ坂フノモアリマセヌ、事情が御覽ノ通リノ事情アリマスカラ、特ニ御洞察ヲ願

フト云フニ過ギヌノアリマス、幸ニ御贊成ヲ願ヒマス

○伊藤大八君（本案ハ曩ニ選定セラレタル、鑛業法ノ委員ニ付託セシコトヲ望ミマス）

○議長（長谷場純孝君）（本案ハ前ニ選定セラレタ鑛業法ノ委員ニ付託ト云フコトニ御

異議ハアリマセヌカ
（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君）（御異議ナイト認メマスカラ其通り決シマス、日程第十二、鑛業法中改正法律案、第一讀會ノ續）

（報告）

○中倉万次郎君（案（小泉又次郎君外七名提出））（時間が切迫シテ居リマスカラ、此席カラ簡單ニ報告シマス、吾々委員ニ付託セラレマシタ衆議院議員選舉法中改正法律案ハ神奈川縣ノ横須賀市、長崎縣ノ佐世保市、廣島縣ノ吳市、此三市ノ獨立ヲ認メ、又現行法律ノ別表ノ末項ニ

「本表ハ選舉區ノ人口ニ増減ヲ生スルモ少ナクトモ十箇年間ハ之ヲ更正セス」ト云フ未項ガアリマスノヲ削除スル、ソレカラ本法ハ次ノ總選舉ヨリ施行スルト云フ案アリマシタ、之ヲ委員會ヲ開キマシタコロガ、修正案が出マシテ結果ハ此修正案ヲ全會一致

「本表ハ選舉區ノ人口ニ増減ヲ生スルモ少ナクトモ十箇年間ハ之ヲ更正セス」ト云フ未項ガアリマスノヲ削除スル、ソレカラ本法ハ次ノ總選舉ヨリ施行スルト云フ案アリマシタコトニナリマシタ、御手許ニ配付シテアリマスケレドモ、便利上一應成案トナリマシタコロノ修正可決ノ案ヲ朝讀致シマス（衆議院議員選舉法別表中左ノ通り

改正ス、神奈川縣横濱市ノ次ニ横須賀市一人、長崎縣長崎市ノ次ニ、佐世保市一人、新潟縣新潟市ノ次ニ、長岡市一人、三重縣四日市市ノ次ニ、宇治山田市一人、愛知縣名古屋市ノ次ニ、豐橋市一人、長野縣長野市ノ次ニ、松本市一人、福島縣若松市ノ次ニ、福島市一人、廣島縣尾道市ノ次ニ、吳市一人」ヲ加ヘマシテ、沖繩縣ヲ一人ト云フコトニ修正シマス、ソレカラ先刻申上ゲタ通り末項ヲ削ル、「本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス、斯ウ云フ修正が成立致シマシタノゴザイマス、之ニ付テ少シタ此經過ヲ極ク簡單ニ申上ゲナケレバナラズ（必要ナシト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君）（六時ノ時間が來マシタカラ、時間ヲ延バシテ會議ヲ續ケマス）

（異議ナシト呼フ者アリ）

○中倉万次郎君（委員會ハ三回開キマシテ、提出者ノ意見モ聞キマスルシ、政府委員ニ於キマシテモ之ニ付テハ強テ反對デハナシ、併ナガラ此別表ノ但書ノ明文ニ依テ形式ニ於テハ何分同意スルコトニ施行ス、斯ウ云フ修正が成立致シマシタノゴザイマス、之ニ付テ

「本表ハ選舉區ノ人口ニ増減ヲ生スルモ少ナクトモ十箇年間ハ之ヲ更正セス」ト云フ未項ガアルカ其儘ニシテ置イテ貴ヒタイト云フ話モアツタ、併ナガラ修正案ノ趣旨ハ御承認ノ出席ヲ求メマシテ、尚意見ヲ質スコトニナリマシテ、内務大臣が出席セラレマシテ、懇意がアルカラ其儘ニシテ置イテ認ムルト云フノデハナクシテ、特ニ市ノ形式ヲ

該當スルモノハナシテ、内務大臣が出席セラレマシテ、内務大臣ノ出席カラ其儘ニシテ置イテ認ムルト云フコトナシテ、是非トモ

此際此案ニ同意シテ、次ノ選舉ヨリ實行シテ貴ヒタイト云フヤウナコトヲ、内務大臣ノ出席カラ其儘ニシテ置イテ認ムルト云フコトナシテ、内務大臣ノ出席セラレマシテ、内務大臣ノ

提出者ヨリ提出ノ理由ヲ述ベマシテ、政府ノ意思ノアル所ヲ聞キマシタガ、ヤハリ相變ラズ

内務大臣ニ於テモ是ハ目下調査シツ、アルノデアルカラ、先づ何時ト云フコトハ明言スルコトハ出來ナイ、ケレモ近キ將來ニ於テ調査ノ結果ニ依テ出スト云フコトデアツテ、委員會アハ此次ノ議會カ、又次ノ議會カ、即チ四十四年ノ議會マヂニ改正案ヲ出スト云

（報告）

「コトノ明言が出來ルナラバ、此法律案モ形式ヲ變ヘテ出シテモ宜イト云フ話モアリマシタ

タガ、ドウシテモ表面ノ形式ニ同意スルコトが出來ナイト云フノデ、速記モ止メマシテ懇談

會ニ移シテ懇談ヲ遂ゲマシタ、併シ懇談會ノコトハ私ハ德義ヲ守シテ此席デハ申シマセヌ、推測スル所ニ依ルト、次ノ總選舉ニハ必ズ改正案ヲ出スト云フ意思ガアルコト推測スルコトが出來タノデアリマスガ、何分形式ニ同意スルコトが出來メト云フノデ、已ムヲ得ズ委員會ハ満場一致ヲ以テ此改正案ヲ可決シタ次第アリマス。

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定セラレントコトヲ希望シマス
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○議長(長谷場純孝君) 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シ、委員長報告通り確定ト云フコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシノ聲起ル〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

衆議院議員選舉法中改正法律案

確定議

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議ガナイト認メマスカラ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定致シマス、日程第十四、拘留科料ニ關スル裁判法案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ト部喜太郎君

第十四 拘留科料ニ關スル裁判法案(松田源治君)

第一讀會ノ續(委員長) (報告)

○ト部喜太郎君 簡單ニアリマシタカラ此席ヨリ報告致シマス、配付セラレタル報告書原案ニ拘留科料ニ關スル裁判法案トアリマシタモノヲ、拘留又ハ科料ニト云フ又ハ科料ト云フ四字ヲ削リマテ、第一條ノ區裁判所ニ於テ拘留又ハ科料ニト云フ又ハ科料ト云フ四字ヲ削リマシテ「但裁判所ニ於テ口頭審理ヲ必要ト認ムル時ハ直ニ正式ノ裁判ヲ爲スコトヲ得」トシテ警察署長及分署長又ハ其代理タル官吏ニ於テ科料ノ刑ヲ適用スベキモノト認メタル時ハ違警罪即決例ニ依ルト云フノガ、新ニ加ヘタ第二條デアリマス、第三條ノ前條ト云フ文字ヲ第一條ト改メマシタ――チヨット間違ヒマシタ、第二條ヲ第三條ト致シマシテ、サウシテ前條ト云フ文字ヲ第一條ト修正致シマシタ、第三條ヲ第四條ト改メマシタ、附則ニ「明治十八年九月第十三號布告違警罪即決例ハ之ヲ廢止ス」トアリマス分ヲ「違警罪即決例ハ拘留ニ處スヘキ罪ニ關シテハ之ヲ適用セス」、斯ウ訂正致シマシテ、第九條ハ之ヲ削除スル、斯ウ云フコトニ修正ニナリマシテ、満場一致ヲ以テ可決致シマシタ、修正案ノ大體ノ意味ハ科料ニ關スル分ニ付テハ、從來ノ違警罪即決例ニ依ルコトニ致シマシテ、拘留ニ處スベキ分ニ限シテ裁判所ノ方デ裁判ラスル、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シタノアリマス、政府ハ此修正案ニマテ反對テアッタノアリマスル、此委員會ニ於ケル政府委員トノ問答等ニ付テハ、巨細ノ事柄ハ總ニ委員會ノ速記錄ニ譲シテ、此處ニ再ビ申シマセス、若モ修正スベキ箇條ガゴザイマシタナラバ、十分ニ御修正ノ上、本案ヲ可決セラレントコトヲ望ミマス

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
〔贊成ノ聲起ル〕
○議長(長谷場純孝君) 本案ハ直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕
○松田源治君 修正意見アリマス、末文ニ五條ヲ設ケマシテ「本法ニ規定ナキ事項ニ付テハ刑事訴訟法ヲ準用ス」ト云フ此規定ヲ加ヘタトイ思フノアリマス、其理由ハ之ヲ加ヘナイト云フト、刑ノ執行ハ検事がスルガ、時效中斷ハドウスルカ、書類ノ送達ハドウスルカト云フコトノ疑問ガ起リマス、尤モ本案ハ特別法アリマスカラ、特別法ニ無イモノハ刑事訴訟法ノ一般ノ原則ニ依ルコトハ當然アリマスケレドモ、本法が法律トナツテ運用スル場合ニ、少シモ疑問ガ起ルト云フコトハ頗ル遺憾アリマスカラ、尙完全ヲ期スルタメ今ノ規定ヲ加ヘタイと思ヒマスカラ、諸君ノ御賛成ラ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 第五條ハ「本法ニ規定ナキ事項ニ付テハ刑事訴訟法ヲ準用ス」ト云フノズカ
○松田源治君 サウデス
○議長(長谷場純孝君) 是ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシノ聲起ル〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、即チ此修正案ニ決シマス、他ノ部分ハ委員長ノ報告通り御異議アリマセヌカ
〔異議ナシノ聲起ル〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、他ハ委員長ノ報告通り決シマス
○長晴登君 直ニ二讀會ヲ開キ、本案ハ確定セラレントコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開キ、確定スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシノ聲起ル〕
○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス
〔異議ナシノ聲起ル〕
○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

○松田源治君 〔異議ナシノ聲起ル〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、一讀會ノ決議通り確定致シマス、日程第十五、商法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長庄野金十郎君
○議長(長谷場純孝君) 松田源治君
〔異議ナシノ聲起ル〕
○松田源治君 委員長モ理事モ差支ガアリマスカラ、特別委員タル本員カラ報告シテ宜シウザイマスカ
月停止スルタメニ、會社ノ合併ニ關スル規定ハ商法中ニアレドモナキガ如キ有様ヲ呈シテ

テ居ルノデゴザイマスル、因テ記名株ノ讓渡ヲ停止スル條文ヲ削除スルノガ本案デゴザイマス、政府ハ本案ノ二百二十三條ノ第一項ニ付テハ、適用ガナイカラ第一項ハ不必要デアル、第二項ハ是ハ立法上必要ノナイ規定デアルカラ、一項モ一項モ削除スルト云フニ付テハ差支ナシ、案ノ立案ニ付テモ結構アルト云フコトデ、案ノ内容ニ付テハ全然贊成ノ意ヲ表サレタノデアリマス、委員會ハ全會一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ、ドウカ諸君モ満場一致ヲ以テ可決アランコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り確定センコトヲ望ミマス

○議長(長谷川場純孝君) 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ委員長代理ノ報告通り、確定シテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷川場純孝君) 御異議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

商法中改正法律案

確定議

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷川場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、委員長代理報告通り二讀會ヲ省略シテ、本案ヲ確定致シマス——諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

登録稅法中改正法律案

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

裁判所構成法中改正法律案

提出者

中村 啓次郎君

江原 節君
向坂 弘君
加瀬 禧逸君
高木 益太郎君

辯護士法中改正法律案

提出者

岡田 泰藏君

松田 源治君
阿部 德三郎君
稻村 長次郎君
清鑑 太郎君

石田 仁太郎君

江原 節君
向坂 弘君
加瀬 禧逸君
高木 益太郎君

齋藤 一郎君

松田 源治君
阿部 德三郎君
稻村 長次郎君
清鑑 太郎君

午後六時三十分散會

○議長(長谷川場純孝君) 議長ニ委託セラレタル特別委員ノ指名ハ、公報ヲ以テ御通知致シマス、次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會